SII POS for .NET Service Object
アプリケーションプログラマーズガイド

Rev.01

[対象製品]

MP-B21Lシリーズ

MP-B30Lシリーズ

MP-B30シリーズ

セイコーインスツル株式会社

Rev.01　　2024年　11月

©セイコーインスツル株式会社　2024
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書及び本書に記載された製品の利用によって発生した
損害及びその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いかねます。
本書を第三者に無断で頒布することを禁じます。
Microsoft®及びWindows®は米国Microsoft Corporationの米国、日本及びその他の国における登録商標です。
Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

はじめに

本書は、セイコーインスツル株式会社（以降：SII）が提供する「SII POS for .NET Service Object」（以降：本ソフトウェア）について説明します。

対象製品

本書の対象製品について下記に記載します。

	デバイス名	本書での記載
PosPrinter	MP-B21L MP-B30L MP-B30	プリンター

本ソフトウェアの利用にあたっては下記も併せて参照してください。

・「OpenPOS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第1.12 版」
・「OpenPOS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第1.14.1 版」
以降、共通の場合はOPOS APGと称します。個別の場合はOPOS APGの後ろにバージョンを記載します。

・「Microsoft Point of Service for .NET – POS for .NET v1.12 SDK Documentation」*1
・「Microsoft Point of Service for .NET – POS for .NET v1.14.1 SDK Documentation」

*1: MP-B21L はサポートしていません。

本書の表記

本書の表記について説明します。

操作と表示

本書は原則、下記の条件に基づき記載します。

- Windows 10の画面及び表示構成
- マウス及びキーボードによる操作方法

用語一覧

本書で使用する用語について下記の通りに定義します。

用語	内容
OPOS APG	MP-B21L 「OpenPOS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第1.14.1 版」 MP-B30L、MP-B30 「OpenPOS Application Programmer's Guide 日本版仕様書 第1.12 版」
設定プログラム	本ソフトウェアで提供する、PosPrinterデバイスの追加・設定変更を行うプログラム。 本ソフトウェアをインストールすると、コンピューターには[SIIPOSforNETSettingUtility]としてインストールされます。
初期値	使用可能条件を満たした直後の値。
改行量	印刷行の高さ（印字行の高さと行間スペースの合計値）。
技術説明書	下記の技術説明書。 ・MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・MP-B30Lシリーズ サーマルプリンタ 技術説明書 ・MP-B30シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書
取扱説明書	下記の取扱説明書。 ・MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・MP-B30Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書 ・MP-B30シリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書
プリンターコマンド	「技術説明書」に記載されている、プリンターを制御するための命令。

目次

1 章 概要 1-1

1.1 構成 1-1
1.1.1 構造図 1-1
1.2 プリンターの設定 1-2
1.3 制限事項 1-4
1.3.1 共通 1-4
1.3.2 PosPrinter 1-4

2 章 インストール 2-1

3 章 設定プログラムの操作方法 3-1

3.1 画面構成 3-2
3.1.1 メニューバー 3-2
3.1.2 デバイスビュー 3-3
3.1.3 設定ビュー 3-3
3.2 機能 3-10
3.2.1 デバイスの追加 3-10
3.2.2 デバイスの設定変更 3-20
3.2.3 デバイスの削除 3-21
3.2.4 デバイスの対話テスト 3-22
3.2.5 プリンターのメモリ設定（PrinterUtility） 3-24

4 章 プロパティ・メソッド・イベント 4-1

4.1 PosPrinter 4-1
4.1.1 一覧 4-1
4.1.2 印字データとエスケープシーケンス 4-8
4.1.3 共通プロパティ 4-12
CapCompareFirmwareVersion プロパティ 4-12
CapPowerReporting プロパティ 4-12
CapStatisticsReporting プロパティ 4-12
CapUpdateFirmware プロパティ 4-13
CapUpdateStatistics プロパティ 4-13
CheckHealthText プロパティ 4-13
Claimed プロパティ 4-14
DeviceDescription プロパティ 4-14
DeviceEnabled プロパティ R/W 4-14
DeviceName プロパティ 4-15
FreezeEvents プロパティ R/W 4-15
OutputId プロパティ 4-15
PowerNotify プロパティ R/W 4-16

PowerState プロパティ 4-16
ServiceObjectDescription プロパティ 4-17
ServiceObjectVersion プロパティ 4-17
State プロパティ 4-17
SynchronizingObject プロパティ 4-18
4.1.4 専用プロパティ 4-19
AsyncMode プロパティ R/W 4-19
CapCharacterSet プロパティ 4-19
CapCoverSensor プロパティ 4-19
CapMapCharacterSet プロパティ 4-20
CapRec2Color プロパティ 4-20
CapRecBarCode プロパティ 4-20
CapRecBitmap プロパティ 4-21
CapRecBold プロパティ 4-21
CapRecCartridgeSensor プロパティ 4-21
CapRecColor プロパティ 4-21
CapRecDHigh プロパティ 4-22
CapRecDWide プロパティ 4-22
CapRecDWideDHigh プロパティ 4-22
CapRecEmptySensor プロパティ 4-23
CapRecItalic プロパティ 4-23
CapRecLeft90 プロパティ 4-23
CapRecMarkFeed プロパティ 4-24
CapRecNearEndSensor プロパティ 4-24
CapRecPageMode プロパティ 4-24
CapRecPaperCut プロパティ 4-25
CapRecPresent プロパティ 4-25
CapRecRight90 プロパティ 4-25
CapRecRotate180 プロパティ 4-25
CapRecStamp プロパティ 4-26
CapRecUnderline プロパティ 4-26
CapTransaction プロパティ 4-26
CartridgeNotify プロパティ R/W 4-27
CharacterSet プロパティ R/W 4-27
CharacterSetList プロパティ 4-28
CoverOpen プロパティ 4-28
ErrorLevel プロパティ 4-28
ErrorStation プロパティ 4-29
ErrorString プロパティ 4-29
FlagWhenIdle プロパティ R/W 4-30
FontTypefaceList プロパティ 4-30
MapCharacterSet プロパティ R/W 4-30
MapMode プロパティ R/W 4-31
PageModeArea プロパティ 4-32
PageModeDescriptor プロパティ 4-33
PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W 4-33
PageModePrintArea プロパティ R/W 4-34
PageModePrintDirection プロパティ R/W 4-35

PageModeStation プロパティ R/W 4-37
PageModeVerticalPosition プロパティ R/W 4-37
RecBarCodeRotationList プロパティ 4-38
RecBitmapRotationList プロパティ 4-39
RecCartridgeState プロパティ 4-39
RecCurrentCartridge プロパティ R/W 4-39
RecEmpty プロパティ 4-40
RecLetterQuality プロパティ R/W 4-40
RecLineChars プロパティ R/W 4-41
RecLineCharsList プロパティ 4-48
RecLineHeight プロパティ R/W 4-49
RecLineSpacing プロパティ R/W 4-49
RecLinesToPaperCut プロパティ 4-50
RecLineWidth プロパティ 4-50
RecNearEnd プロパティ 4-52
RecSidewaysMaxChars プロパティ 4-52
RecSidewaysMaxLines プロパティ 4-52
RotateSpecial プロパティ R/W 4-53
4.1.5 共通メソッド 4-54
CheckHealth メソッド 4-54
Claim メソッド 4-54
ClearOutput メソッド 4-55
Close メソッド 4-55
CompareFirmwareVersion メソッド 4-55
DirectIO メソッド 4-55
Open メソッド 4-57
Release メソッド 4-57
ResetStatistic(string) メソッド 4-57
ResetStatistics() メソッド 4-57
ResetStatistics(StatisticCategories) メソッド 4-57
ResetStatistics(string[]) メソッド 4-58
RetrieveStatistic(string) メソッド 4-58
RetrieveStatistics() メソッド 4-58
RetrieveStatistics(StatisticCategories) メソッド 4-58
RetrieveStatistics(string[]) メソッド 4-58
UpdateFirmware メソッド 4-59
UpdateStatistic メソッド 4-59
UpdateStatistics(Statistic[]) メソッド 4-59
UpdateStatistics(StatisticCategories, Object) メソッド 4-59
4.1.6 専用メソッド 4-60
ClearPrintArea メソッド 4-60
MarkFeed メソッド 4-60
PageModePrint メソッド 4-63
PrintBarCode メソッド 4-65
PrintBitmap メソッド 4-77
PrintImmediate メソッド 4-79
PrintMemoryBitmap メソッド 4-79
PrintNormal メソッド 4-80

RotatePrint メソッド 4-81
SetBitmap メソッド 4-82
SetLogo メソッド 4-83
TransactionPrint メソッド 4-83
ValidateData メソッド 4-84
4.1.7 イベント 4-85
DirectIOEvent イベント 4-85
ErrorEvent イベント 4-85
OutputCompleteEvent イベント 4-85
StatusUpdateEvent イベント 4-86

付録 A 例外 A-1

A.1 PosPrinter 例外エラー一覧 A-1

付録 B Statistics B-1

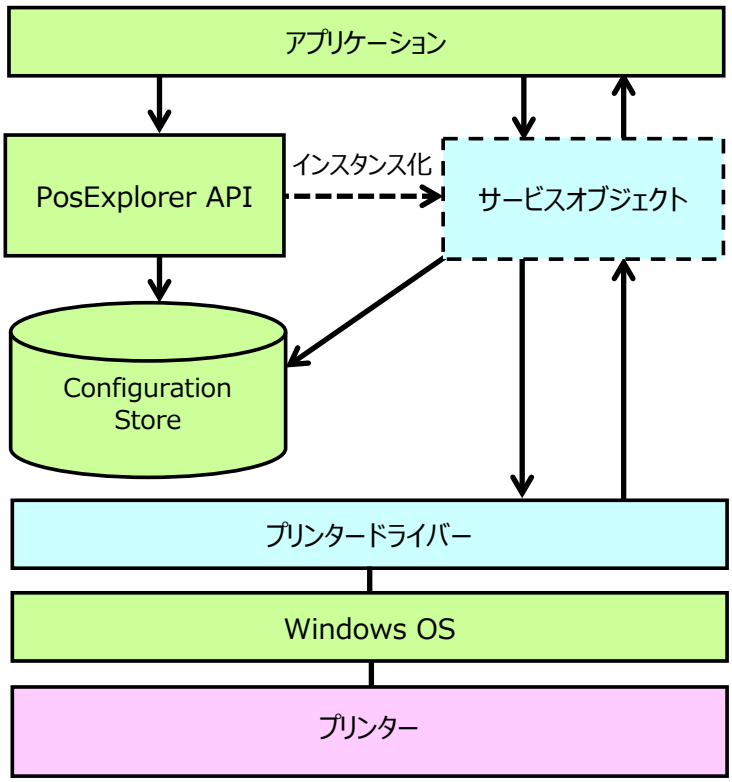
1章　概要

本章では本ソフトウェアの概要について説明します。

1.1　構成

1.1.1　構造図

本ソフトウェアの構成を示し、本書の対象範囲を破線で示します。



1.2 プリンターの設定

本ソフトウェア利用時には、プリンターのメモリスイッチが**Claim**の実行で強制的に下記の[値]に設定されます。
メモリスイッチの詳細については、「取扱説明書」を参照してください。

- **MP-B21L、MP-B30L**

MS	機能	値	備考
1-2	マーク・ギャップモード選択 (Mark/Gap Mode)	0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムの[MarkMode]により左記のどちらかの[値]に設定できます。
1-3 ～ 1-5	コマンド体系選択 (Command System)	000B : ESC/POS	-
1-6	エラー時データ破棄選択 (Error Through)	MP-B21L 0 : 有効	-
		MP-B30L 0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムのデバイス追加時にPrinterDriverを指定した場合は「1：無効」、それ以外を指定した場合は「0：有効」に設定されます。
1-8	出力バッファフル時データ破棄選択 (Response Data Discarding)	1 : 無効	-
2-2	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	0 : 有効	
2-3 ～ 2-4	印字品質選択 (Print Quality)	01B : 品質2 10B : 品質1 11B : 標準	設定プログラムの[PrintSpeed]により左記のいずれかの[値]に設定できます。
3-1 ～ 3-8	印字幅 (Print Width)	MP-B21L 00010101B : 21mm/168dots 00010110B : 22mm/176dots 00011000B : 24mm/192dots 00011010B : 26mm/208dots 00011100B : 28mm/224dots 00011110B : 30mm/240dots 00100000B : 32mm/256dots 00100010B : 34mm/272dots 00100100B : 36mm/288dots 00100110B : 38mm/304dots 00101000B : 40mm/320dots 00101010B : 42mm/336dots 00101100B : 44mm/352dots 00101101B : 45mm/360dots 00101110B : 46mm/368dots 00110000B : 48mm/384dots	設定プログラムの[Number of Effective Dots(dots)]により左記のいずれかの[値]に設定できます。

MS	機能	値	備考
3-1 ～ 3-8	印字幅 (Print Width)	MP-B30L 00101101B : 45mm/360dots 00101110B : 46mm/368dots 00110000B : 48mm/384dots 00110010B : 50mm/400dots 00110100B : 52mm/416dots 00110110B : 54mm/432dots 00111000B : 56mm/448dots 00111010B : 58mm/464dots 00111100B : 60mm/480dots 00111110B : 62mm/496dots 01000000B : 64mm/512dots 01000010B : 66mm/528dots 01000100B : 68mm/544dots 01000110B : 70mm/560dots 01001000B : 72mm/576dots	設定プログラムの[Number of Effective Dots(dots)]により左記のいずれかの[値]に設定できます。
9-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	0 : 有効	-
9-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	0 : 有効	

参考

- MP-B21Lの場合は、使用する用紙に合わせてプリンターのメモリスイッチMS2-8(用紙幅)を正しく設定してください。メモリスイッチの詳細については、「MP-B21Lシリーズ サーマルプリンタ 取扱説明書」を参照してください。

- **MP-B30**

MS	機能	値	備考
1-2	マークモード選択 (Mark Mode)	0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムの[MarkMode]により左記のどちらかの[値]に設定できます。
1-6	エラー時データ破棄選択 (Error Through)	0 : 有効 1 : 無効	設定プログラムのデバイス追加時にPrinterDriverを指定した場合は「1：無効」、それ以外を指定した場合は「0：有効」に設定されます。
1-8	出力バッファフル時データ破棄選択 (Response Data Discarding)	1 : 無効	-
2-2	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	0 : 有効	
2-3 ～ 2-4	印字品質選択 (Print Quality)	01B : 品質2 10B : 品質1 11B : 標準	設定プログラムの[PrintSpeed]により左記のいずれかの[値]に設定できます。

MS	機能	値	備考
9-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	0 ： 有効	－
9-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	0 ： 有効	

1.3 制限事項

本ソフトウェアの制限事項について説明します。

1.3.1 共通

TCP/IP接続で複数のコンピュータから1台のプリンターを同時に利用する場合は、**TransactionPrint**を使用して他のコンピュータからの印字データが割り込まないようにしてください。

1.3.2 PosPrinter

本ソフトウェアはUnifiedPOS Specification Version 1.14.1（MP-B21L）または1.12（MP-B30L、MP-B30）に準拠しており、PosPrinterデバイスのすべてのインターフェイスが提供されますが、下記の制限があります。

① ジャーナル及びスリップ印刷に関するメソッド及びプロパティ設定はサポートしていません。

② 下記の機能はサポートしていません。

- 用紙カット
- フィードと用紙カット
- フィードとカットとスタンプ印刷
- スタンプ印刷
- 逆フィード
- 罫線印刷
- フォントタイプ指定
- イタリック
- カスタムカラー
- 赤色
- 網掛け文字
- 色指定
- サブ スクリプト
- スーパー スクリプト
- 取り消し線

③ 下記のメソッドはイネーブル後にいずれも必ず*ErrorCode.Illegal*を返します。

- **BeginInsertion**
- **BeginRemoval**
- **ChangePrintSide**
- **CutPaper**
- **EndInsertion**
- **EndRemoval**
- **PrintTwoNormal**

④ **DirectIOEvent**（デバイス固有イベント）はサポートしていません。

⑤ 設定プログラムにおいて、[ProcessCompletionTiming]が「Printed」に設定されている場合、プリンターコマンド「実行応答リクエスト」は印字動作の制御用に本ソフトウェア内部で使用されます。そのため「埋め込みデータの送信」エスケープシーケンス（ESC|[*]#E）で、プリンターコマンド「実行応答リクエスト」を送信すると予期せぬ動作をする場合があります。

⑥ エラー状態となった場合、PosPrinterからプリンターコマンド「ハードウェアリセット」を送信してプリンターの印字を中止しますが、PosPrinterがプリンターの印字を中止する前に多少印字が行われる場合があります。

⑦ Bluetooth接続の場合、印字中にデバイスが復帰可能エラーになると、エラーの解除から正常状態に復帰するまでに時間がかかることがあります。エラー解除後の最初の処理はエラー解除から10秒程度おいてから実施してください。

2章　インストール

インストールについては、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

3章　設定プログラムの操作方法

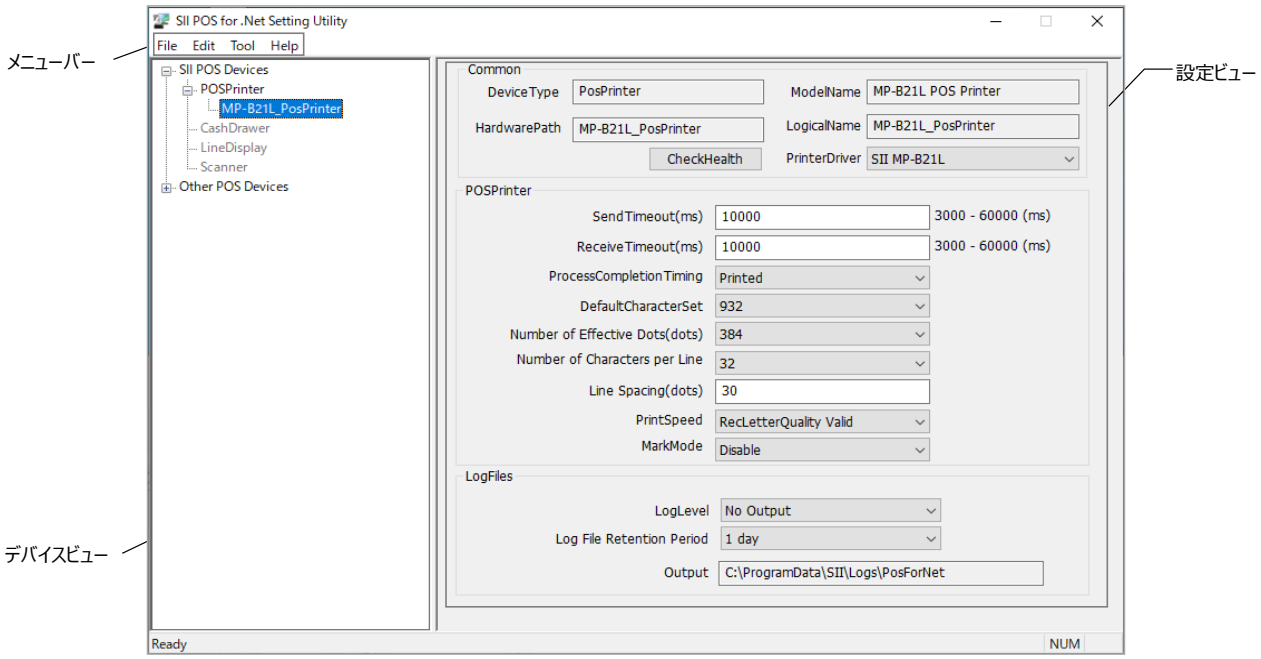
本章では本ソフトウェアで提供する設定プログラムについて説明します。

注意

◆ 本ソフトウェアの使用にはコンピューターの管理者権限が必要です。

3.1 画面構成

設定プログラムの画面構成について説明します。



項目	説明
メニューバー	設定プログラムのメニューバーです。 メニューバーの項目については、「3.1.1 メニューバー」を参照してください。
デバイスビュー	システムに登録されたデバイスのデバイスタイプ、デバイス名及び論理デバイス名をツリーで表示します。
設定ビュー	「デバイスビュー」で選択されたデバイスの設定内容を表示します。 各デバイスの項目については、「3.1.3(1) POSPrinter」を参照してください。

3.1.1 メニューバー

項目		説明
File	Exit	設定プログラムを終了します。
Edit	Add Device...	新しいデバイスを追加します。
	Delete	選択中のデバイスを削除します。
Tool	CheckHealth	選択中のデバイスに対して対話テストを実行します。
Help	About Utility...	設定プログラムのバージョン情報を表示します。

3.1.2　デバイスビュー

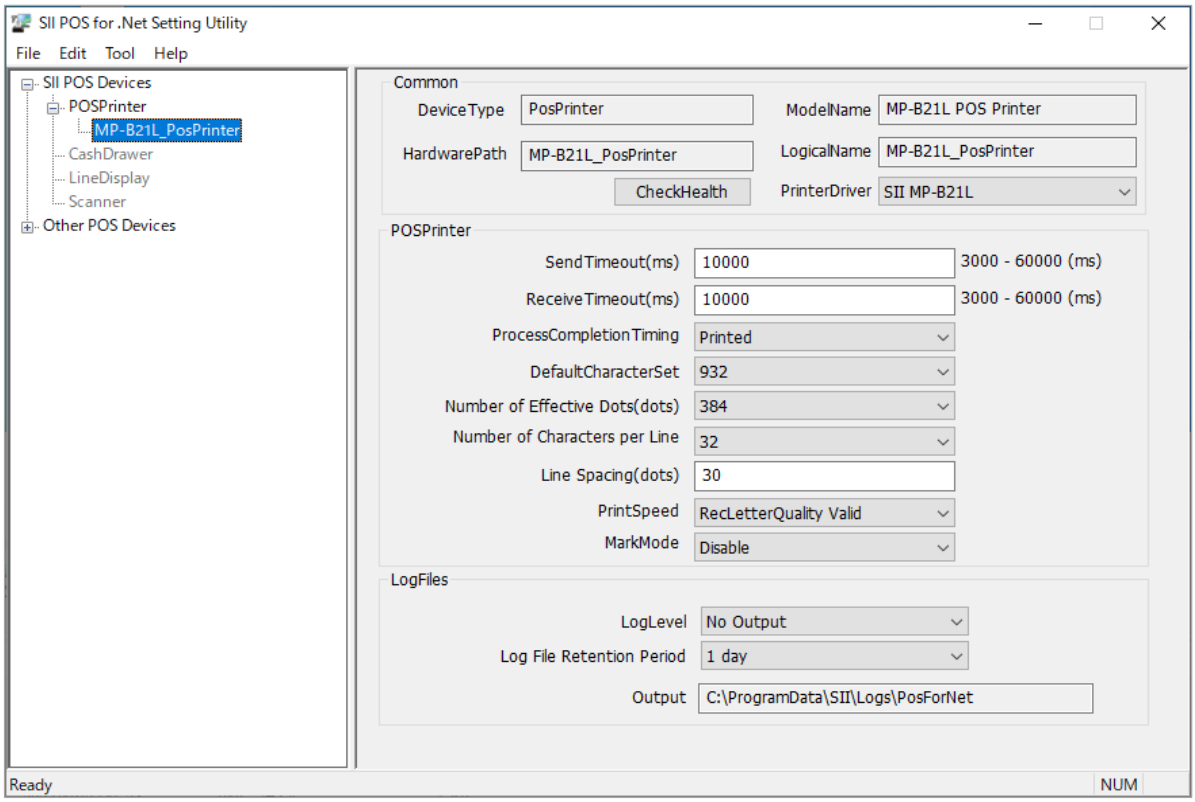
名称	説明
SII POS Devices	SII製のデバイスを表示します。 「デバイスビュー」でデバイス名が選択されている場合、デバイスの削除及び論理デバイス名の追加ができます。
Other POS Devices	SII製以外のデバイスを表示します。 デバイスの設定変更はできません。

3.1.3　設定ビュー

(1) POSPrinter

- プリンタードライバー選択時の設定項目

デバイスを追加した際に、プリンタードライバーを選択した場合に表示される「設定ビュー」の項目と設定内容について下記に説明します。
図は初期状態でMP-B21Lを選択した場合です。



項目	説明	設定内容（" " ： 初期値）
Common		
DeviceType	デバイスの種類	[PosPrinter]
ModelName	モデル名	MP-B21L：MP-B21L POS Printer MP-B30L：MP-B30L POS Printer MP-B30： MP-B30 POS Printer
HardwarePath	自動で設定されます。	-

項目		説明	設定内容（″ ″：初期値）
	LogicalName	論理名	-
	PrinterDriver	プリンタードライバー名	-
	CheckHealth	選択中のデバイスに対する対話テストの実行	
PosPrinter			
	Send Timeout(ms)	プリンターとの通信における送信タイムアウト値(ミリ秒)	3000 ～ 60000（10000）
	Receive Timeout(ms)	プリンターとの通信における受信タイムアウト値(ミリ秒)	3000 ～ 60000（10000）
	ProcessCompletion Timing	メソッド完了のタイミング	Data Transmitted(データ送信の完了) Printed(印字の完了)
	DefaultCharacterSet	文字セットの種類 **CharacterSet**はこの値で初期化されます。 詳細は**CharacterSet**を参照してください。	437 737 850 852 855 857 858 860 863 865 866 932[*1] 999[*2] 1250 1251 1252 1253 1254
	Number of Effective Dots(dots)	一行あたりの有効ドット数 **RecLineWidth**はこの値で初期化されます。	MP-B21L 168 176 192 208 224 240 256 272 288 304 320 336 352 360 368 384

項目	説明	設定内容（" " : 初期値）
Number of Effective Dots(dots)	一行あたりの有効ドット数 **RecLineWidth**はこの値で初期化されます。	MP-B30L 360 368 384 400 416 432 448 464 480 496 512 528 544 560 576
Number of Characters per Line	一行あたりの半角文字数 **RecLineChars**はこの値で初期化されます。	MP-B21L 168 dots / 10,12,14,16,18,21 176 dots / 11,12,13,14,17,19,22 192 dots / 12,13,14,16,19,21,24 208 dots / 13,14,16,17,20,23,26 224 dots / 14,16,17,18,22,24,28 240 dots / 14,16,17,18,24,26,30 256 dots / 16,18,19,21,25,28,32 272 dots / 17,19,20,22,27,30,34 288 dots / 18,20,22,24,28,32,36 304 dots / 19,21,23,25,30,33,38 320 dots / 20,22,24,26,32,35,40 336 dots / 21,24,25,28,33,37,42 352 dots / 22,25,27,30,35,39,44 360 dots / 22,25,27,30,36,40,45 368 dots / 23,26,28,30,36,40,46 384 dots / 24,27,29,32,38,42,48
		MP-B30L 360 dots / 22,25,27,30,36,40,45 368 dots / 23,26,28,30,36,40,46 384 dots / 24,27,29,32,38,42,48 400 dots / 25,28,30,33,40,44,50 416 dots / 26,29,32,34,41,46,52 432 dots / 27,30,33,36,43,48,54 448 dots / 28,32,34,37,44,49,56 464 dots / 29,33,35,38,46,51,58 480 dots / 30,34,36,40,48,53,60 496 dots / 31,35,38,41,49,55,62 512 dots / 32,36,39,42,51,56,64 528 dots / 33,37,40,44,52,58,66 544 dots / 34,38,41,45,54,60,68 560 dots / 35,40,43,46,56,62,70 576 dots / 36,41,44,48,57,64,72
		MP-B30 576 dots / 36,41,44,48,57,64,72

項目	説明	設定内容（″ ″：初期値）
Line Spacing(dots)	一行あたりの改行量 設定可能範囲： 選択された印字桁数の値によって設定できる最小値が異なります。 **RecLineSpacing**はこの値で初期化されます。	MP-B21L 設定可能範囲：24 ～ 255 (30) 有効ドット数/印字桁数 168 dots / 10,12,14 176 dots / 11,12,13,14 192 dots / 12,13,14,16 208 dots / 13,14,16,17 224 dots / 14,16,17,18 240 dots / 14,16,17,18 256 dots / 16,18,19,21 272 dots / 17,19,20,22 288 dots / 18,20,22,24 304 dots / 19,21,23,25 320 dots / 20,22,24,26 336 dots / 21,24,25,28 352 dots / 22,25,27,30 360 dots / 22,25,27,30 368 dots / 23,26,28,30 384 dots / 24,27,29,32 設定可能範囲：16 ～ 255 有効ドット数/印字桁数 168 dots / 16,18,21 176 dots / 17,19,22 192 dots / 19,21,24 208 dots / 20,23,26 224 dots / 22,24,28 240 dots / 24,26,30 256 dots / 25,28,32 272 dots / 27,30,34 288 dots / 28,32,36 304 dots / 30,33,38 320 dots / 32,35,40 336 dots / 33,37,42 352 dots / 35,39,44 360 dots / 36,40,45 368 dots / 36,40,46 384 dots / 38,42,48

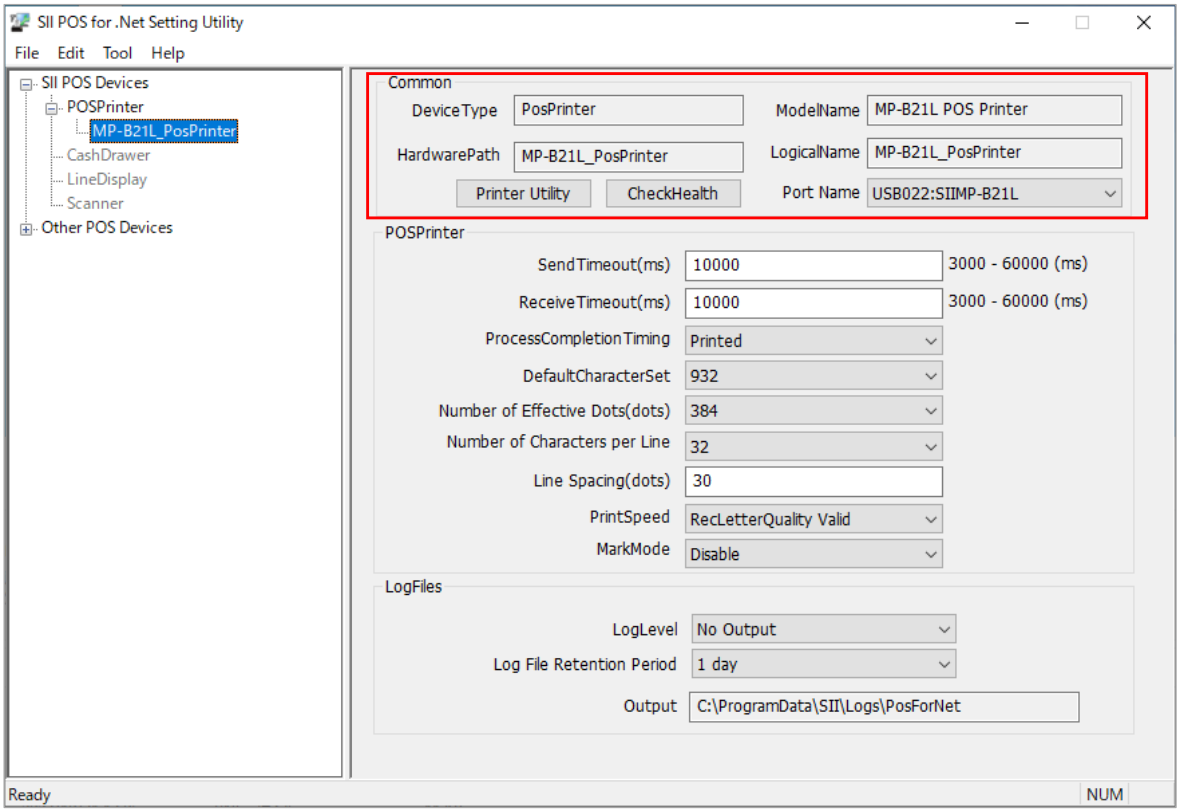
項目	説明	設定内容（″ ″：初期値）
Line Spacing(dots)	一行あたりの改行量 設定可能範囲： 選択された印字桁数の値によって設定できる最小値が異なります。 **RecLineSpacing**はこの値で初期化されます。	MP-B30L 設定可能範囲：24 ～ 255（30） 有効ドット数/印字桁数 360 dots / 22,25,27,30 368 dots / 23,26,28,30 384 dots / 24,27,29,32 400 dots / 25,28,30,33 416 dots / 26,29,32,34 432 dots / 27,30,33,36 448 dots / 28,32,34,37 464 dots / 29,33,35,38 480 dots / 30,34,36,40 496 dots / 31,35,38,41 512 dots / 32,36,39,42 528 dots / 33,37,40,44 544 dots / 34,38,41,45 560 dots / 35,40,43,46 576 dots / 36,41,44,48 設定可能範囲：16 ～ 255 有効ドット数/印字桁数 360 dots / 36,40,45 368 dots / 36,40,46 384 dots / 38,42,48 400 dots / 40,44,50 416 dots / 41,46,52 432 dots / 43,48,54 448 dots / 44,49,56 464 dots / 46,51,58 480 dots / 48,53,60 496 dots / 49,55,62 512 dots / 51,56,64 528 dots / 52,58,66 544 dots / 54,60,68 560 dots / 56,62,70 576 dots / 57,64,72 MP-B30 設定可能範囲：24 ～ 255（30） 有効ドット数/印字桁数 576 dots / 36,41,44,48 設定可能範囲：16 ～ 255 有効ドット数/印字桁数 576 dots / 57,64,72
PrintSpeed	プリンターの印字速度設定 RecLetterQuality Valid有効を選択すると、**RecLetterQuality**により決定されます。	RecLetterQuality Valid（**RecLetterQuality**有効） Standard*3（標準） Quality 1*3（品質1） Quality 2*3（品質2）
MarkMode	マーク検出モード マーク検出を有効にするか、無効にするかを選択します。	Disable：マーク検出無効 Enable： マーク検出有効

項目	説明	設定内容（″　″：初期値）
LogFiles		
LogLevel	ログの出力レベル	None： ログを出力しません Error： 実行時エラーのログを出力します Info： 実行時エラー及び注目すべき事象のログを出力します Debug： 実行時エラー、注目すべき事象及びデバック用のより詳細な情報を出力します
Log File Retention Period	ログファイルの保存期間 保存期間を過ぎたログファイルは、ログの出力時に消去されます。 実際の保存期間は、最大一日分長くなる可能性があります。	1 day　：　1日分 3 days　：　3日分 10 days　：　10日分 30 days　：　30日分 90 days　：　90日分
Output	ログの出力先（固定） ログの出力先、及びファイル名は下記の通りです。 出力先： <システムドライブ>:¥ProgramData¥SII¥Logs¥PosForNet 出力先の変更はできません。 ファイル名： <yyyyMMdd>.log ログファイルの最大サイズは32MBです。ログファイルが最大サイズを超えた場合は、ファイル名を<yyyyMMdd_hhmmssfff)>.logに変更し、新たに<yyyyMMdd>.logを作成します。*4	

*1: 日本語の場合の初期値
*2: 英語の場合の初期値
*3: 設定内容についての詳細は、「取扱説明書」を参照してください。
*4: ファイル名に使用される記号の意味を下記に説明します。各値はWindowsのシステムクロックに由来します。
yyyy ： 年
MM ： 月
dd ： 日
hh ： 時
mm ： 分
ss ： 秒
fff ： ミリ秒

- ポート選択時の設定項目

デバイスを追加した際に、ポートを選択した場合に表示される「設定ビュー」の項目と設定内容について下記に説明します。



ポートを選択した場合の「設定ビュー」における設定内容とプリンタードライバーを選択した際に表示される設定項目の違いはCommonのみです。
Commonの項目と設定内容について説明します。

項目	説明	設定内容（" " ： 初期値）
Common		
DeviceType	デバイスの種類	[PosPrinter]
ModelName	モデル名	MP-B21L：MP-B21L POS Printer MP-B30L：MP-B30L POS Printer MP-B30： MP-B30 POS Printer
HardwarePath	自動で設定されます。	-
LogicalName	論理名	-
Port Name	選択中のデバイスに対するポート名	-
Printer Utility	設定プログラム	-
CheckHealth	選択中のデバイスに対する対話テストの実行	

3.2 機能

設定プログラムの機能について説明します。手順はMP-B21Lを例に説明します。

3.2.1 デバイスの追加

デバイスの追加手順について説明します。

本ソフトウェアをインストールした直後に設定プログラムを起動した場合、デバイスが追加されていないためデバイスを追加する必要があります。

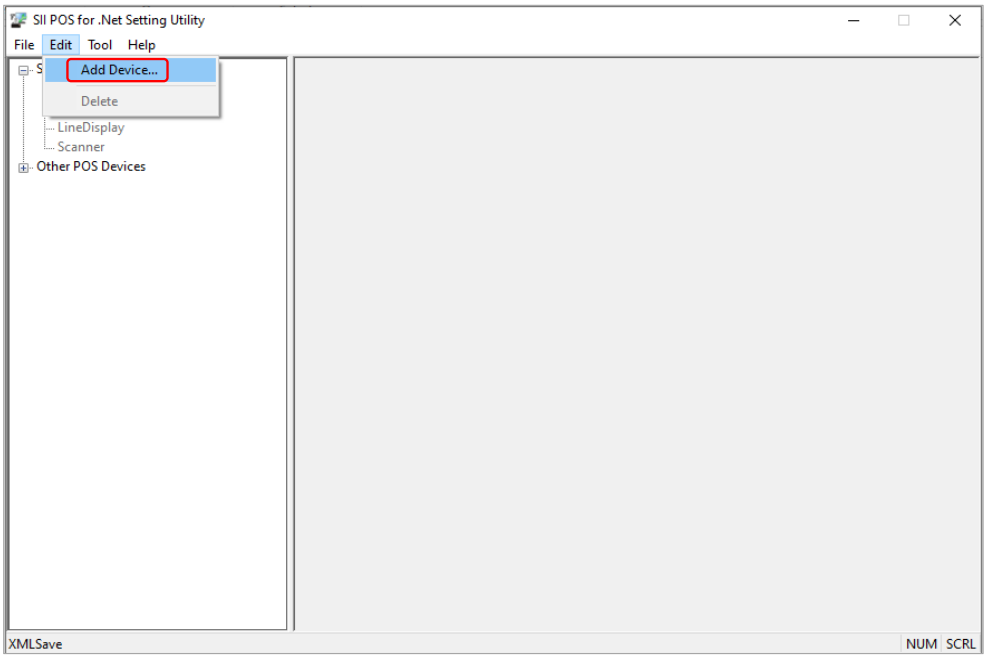
プリンターは最大8台まで追加できます。

注意

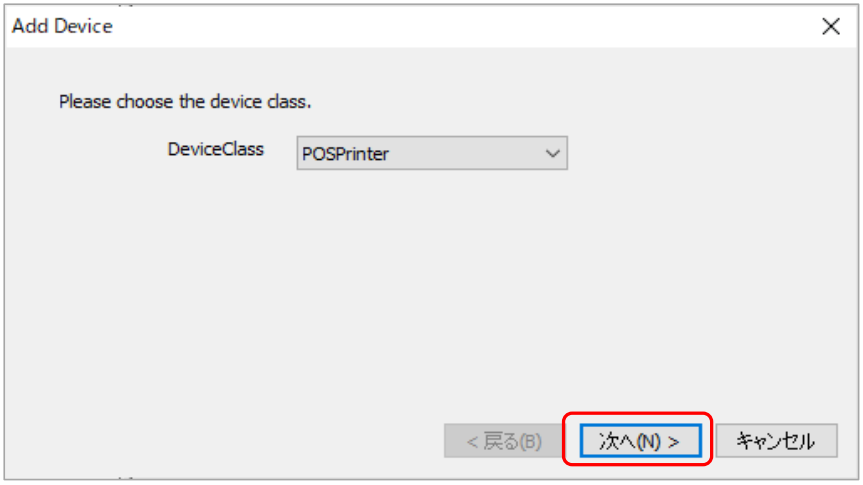
- ◆ インターフェイスでUSBを選択する場合は、あらかじめポートに接続してから設定プログラムを起動してください。
- ◆ インターフェイスでBluetoothを選択する場合は、あらかじめペアリングをしてから設定プログラムを起動してください。
- ◆ インターフェイスでLAN/WLANを選択する場合は、あらかじめLANポートを作成してから設定プログラムを起動してください。
- ◆ PrinterDriverを選択する場合は、プリンタードライバーのインストールが必要です。
  プリンタードライバーのインストールは、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。

(1) プリンターの追加

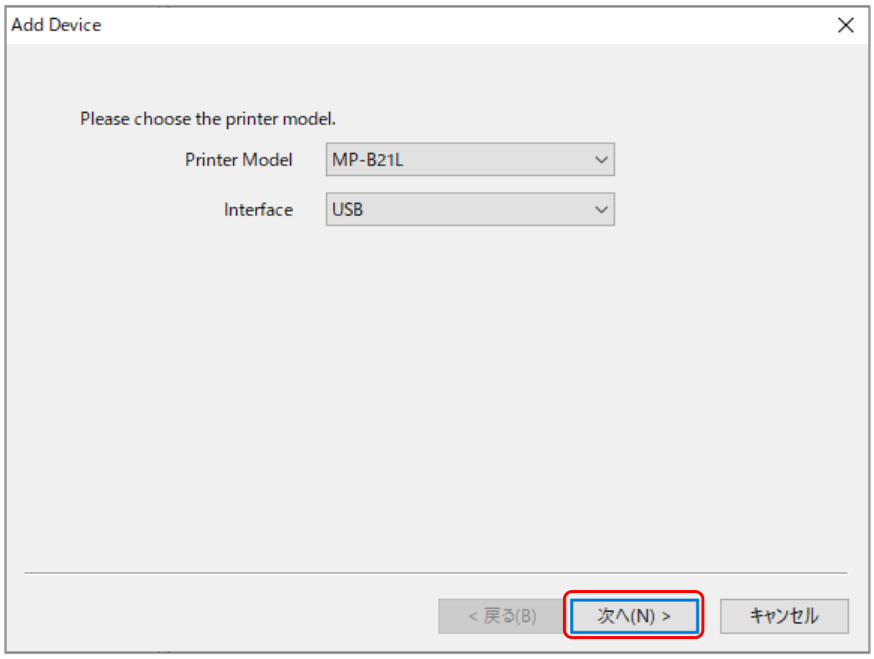
① 設定プログラムを起動すると、下記の画面が表示されます。「メニューバー」から[Edit] – [Add Device...]を選択してください。

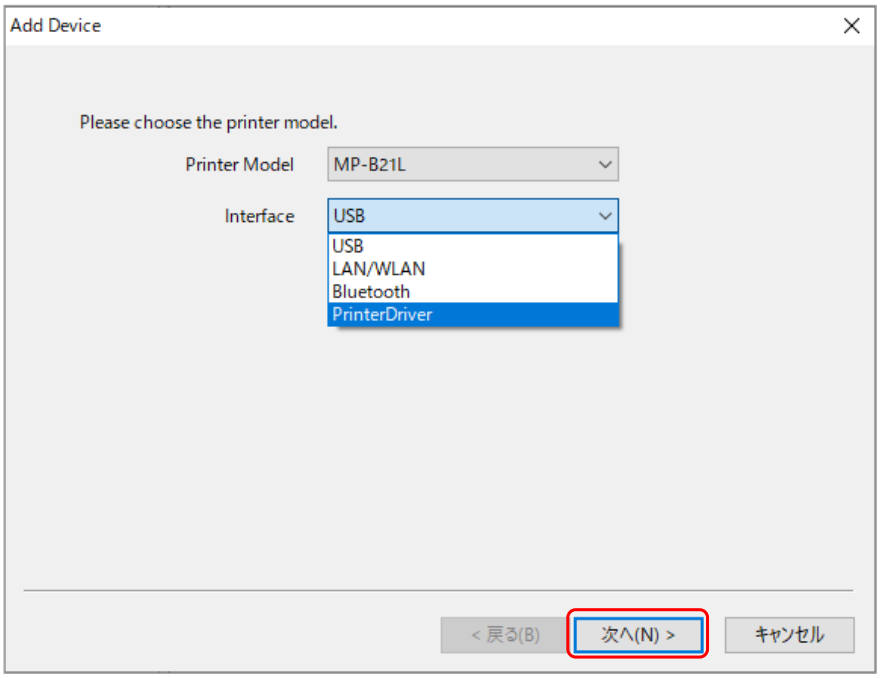


② [DeviceClass]で「POSPrinter」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



③　[Printer Model]から追加するプリンターを選択してください。
[Interface]からプリンタードライバーまたはインターフェイスを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



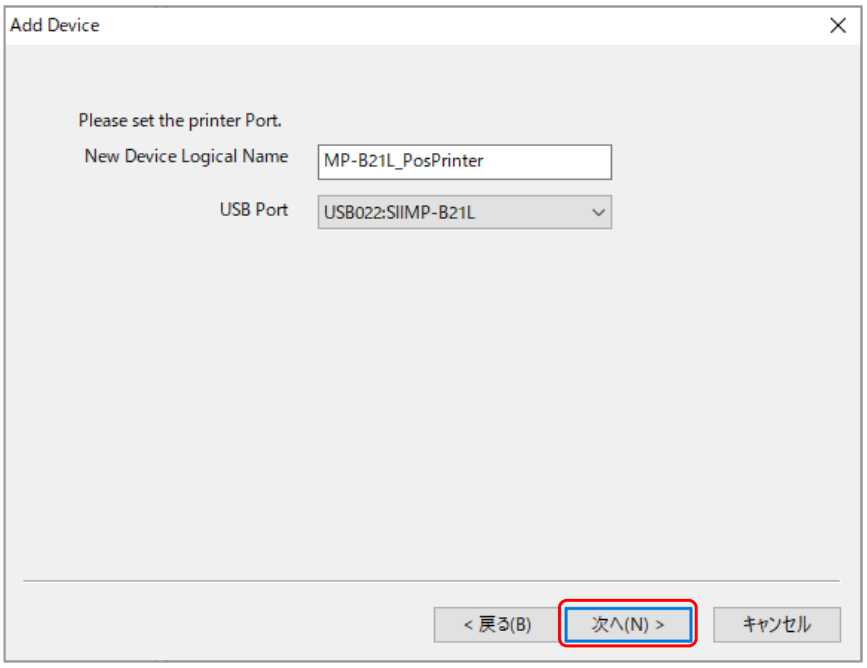


以降の手順については[Interface]の選択により異なります。

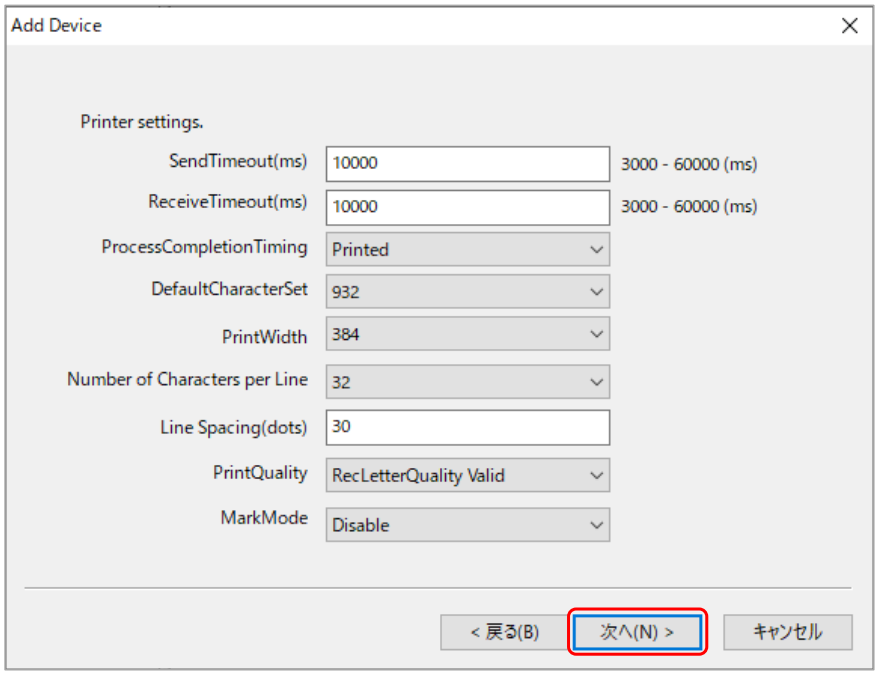
- USBを選択 ： 「**USBを選択する場合**」を参照してください。
- Bluetoothを選択 ： 「**Bluetoothを選択する場合**」を参照してください。
- LAN/WLANを選択 ： 「**LAN/WLANを選択する場合**」を参照してください。
- プリンタードライバーを選択 ： 「**プリンタードライバーを選択する場合**」を参照してください。

USB を選択する場合

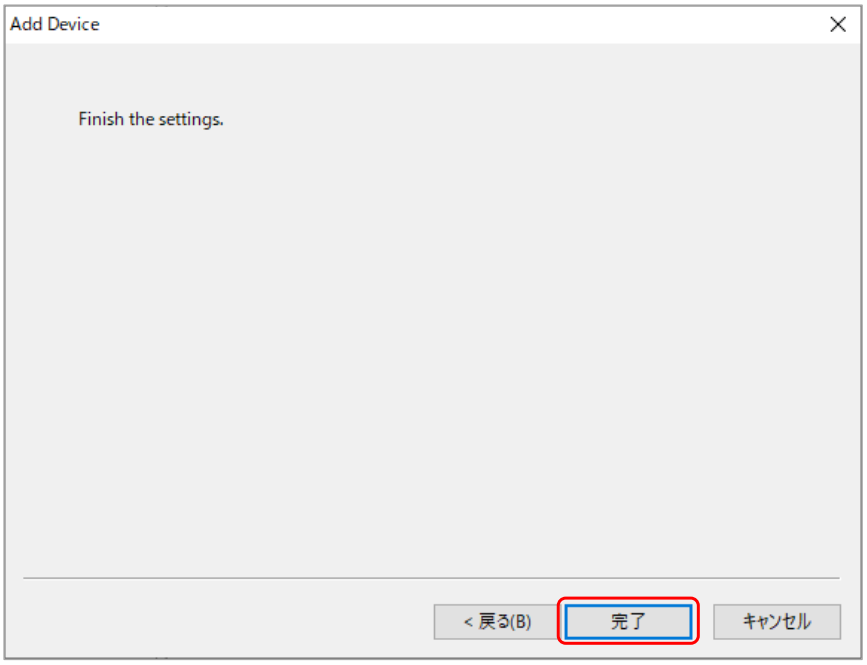
④ [USB Port]から利用するポートを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New Device Logical Name]は自動で設定されます。



⑤　プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。

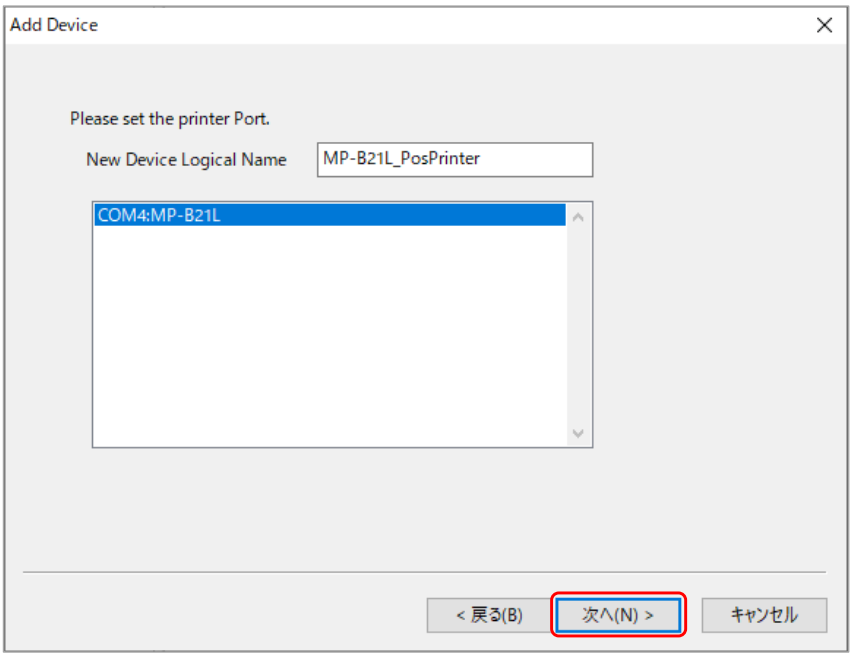


Bluetooth を選択する場合

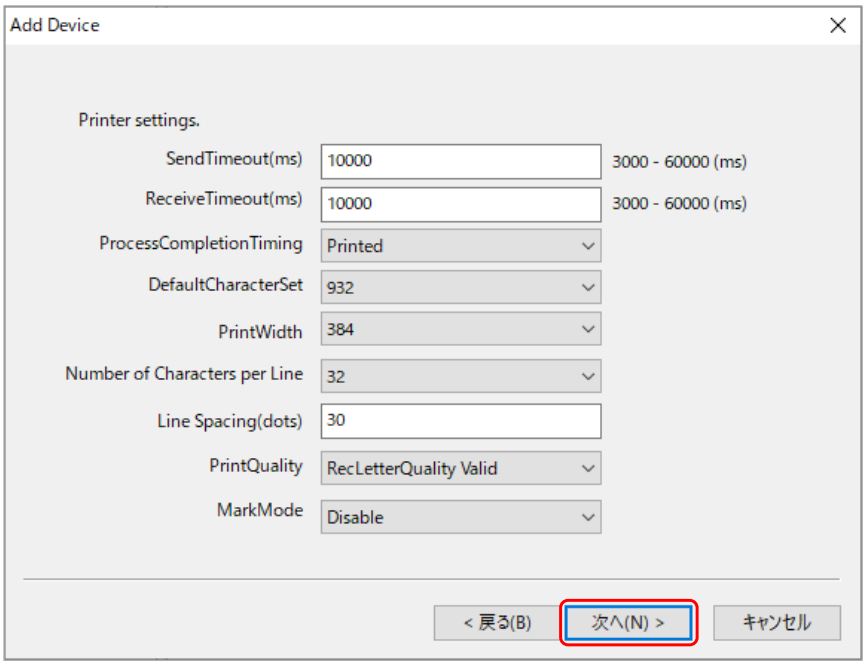
注意

◆ Bluetooth接続では、複数台のホストから同時に利用することは出来ません。

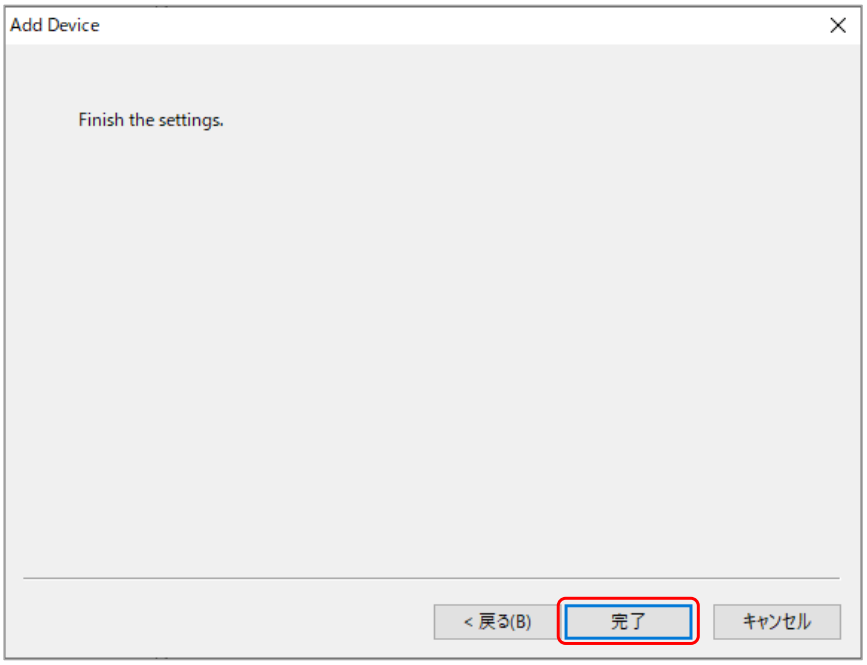
④ 一度でもペアリングしたことのあるプリンターが表示されるので、プリンターを選択後、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New Device Logical Name]は自動で設定されます。



⑤ プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。

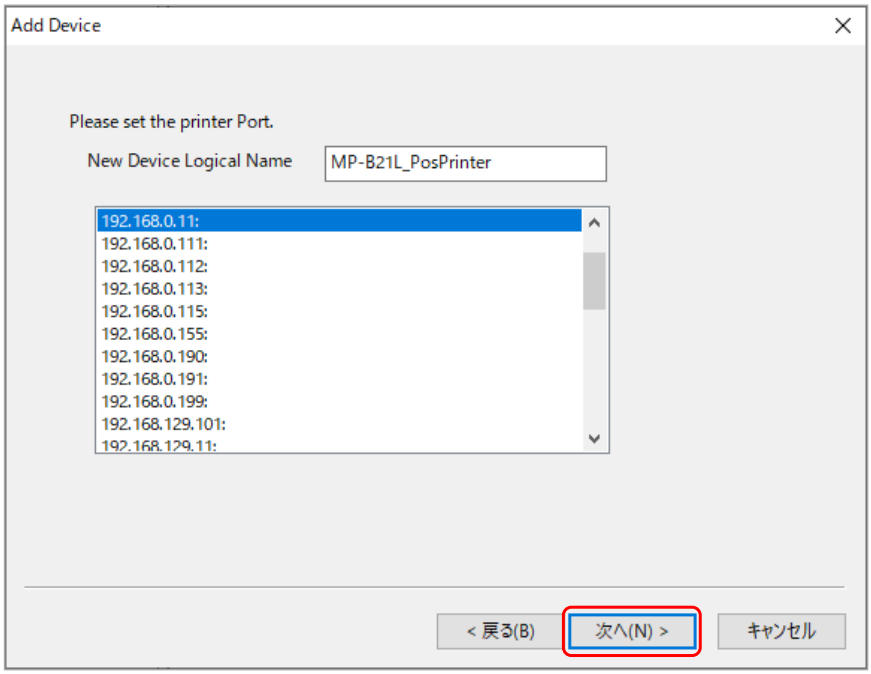


⑥ [完了]ボタンをクリックしてください。

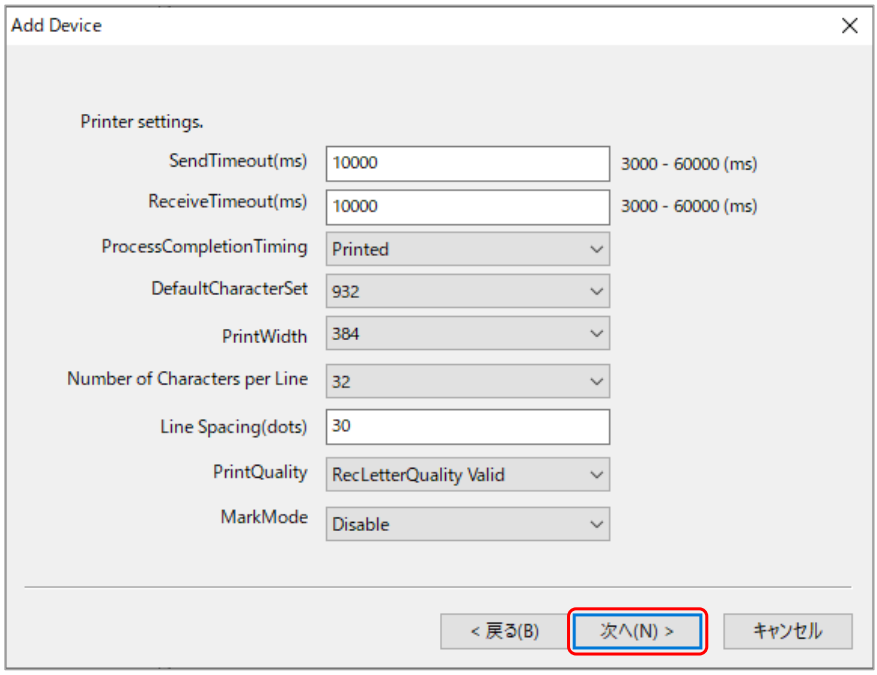


LAN/WLAN を選択する場合

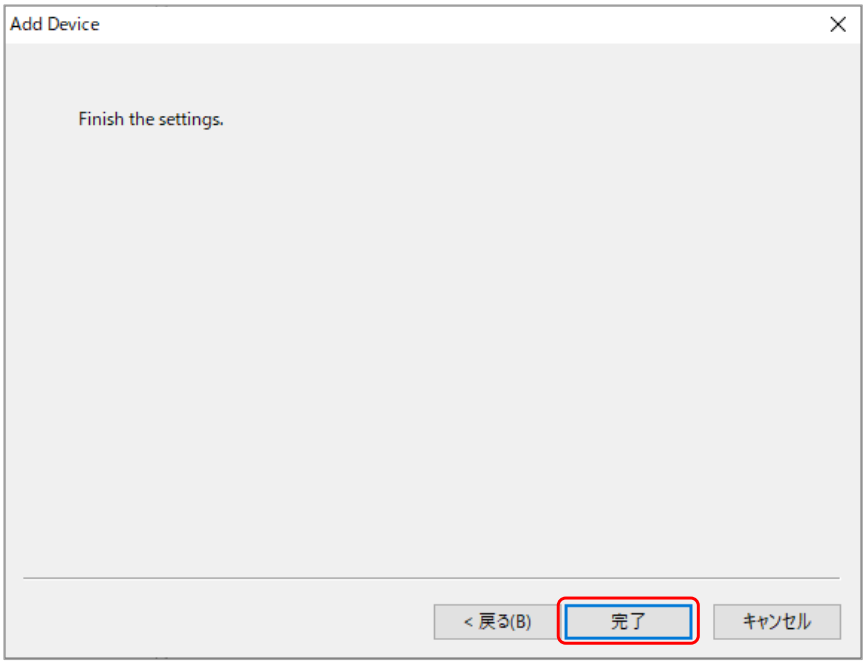
④ プリンターが表示されるので、プリンターを選択後、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。[New Device Logical Name]は自動で設定されます。



⑤　プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。

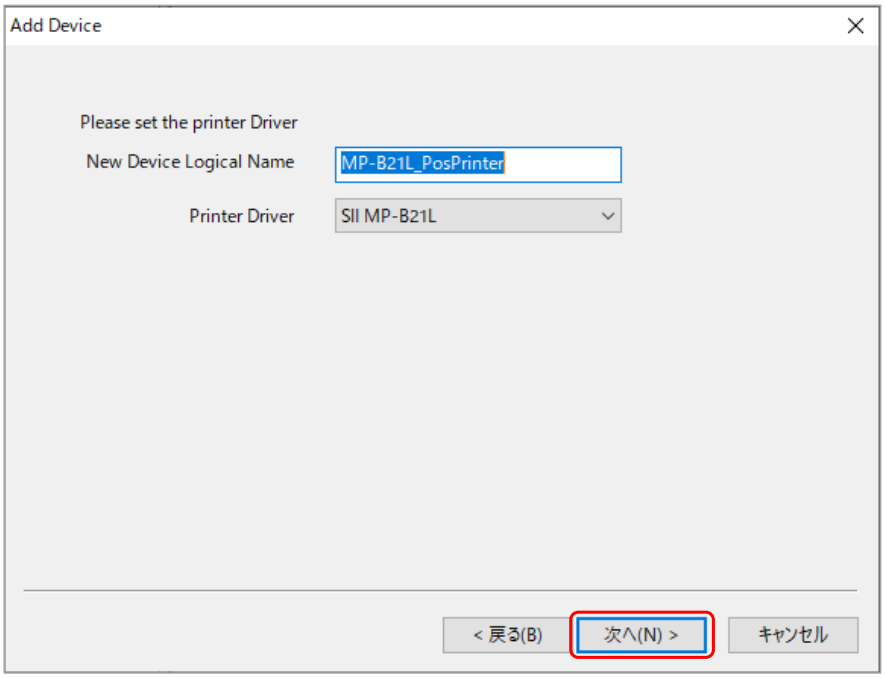


⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。

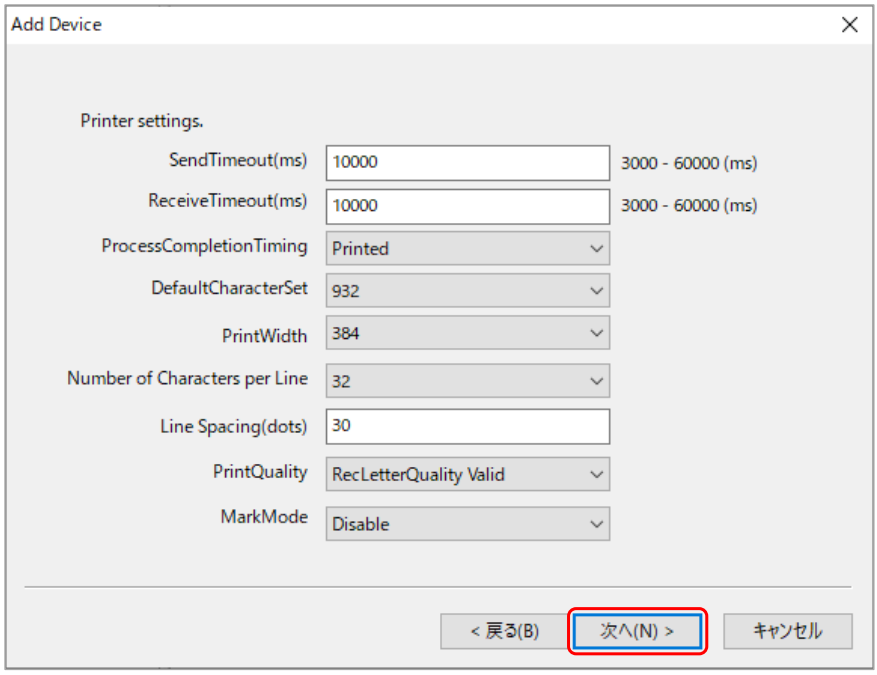


プリンタードライバーを選択する場合

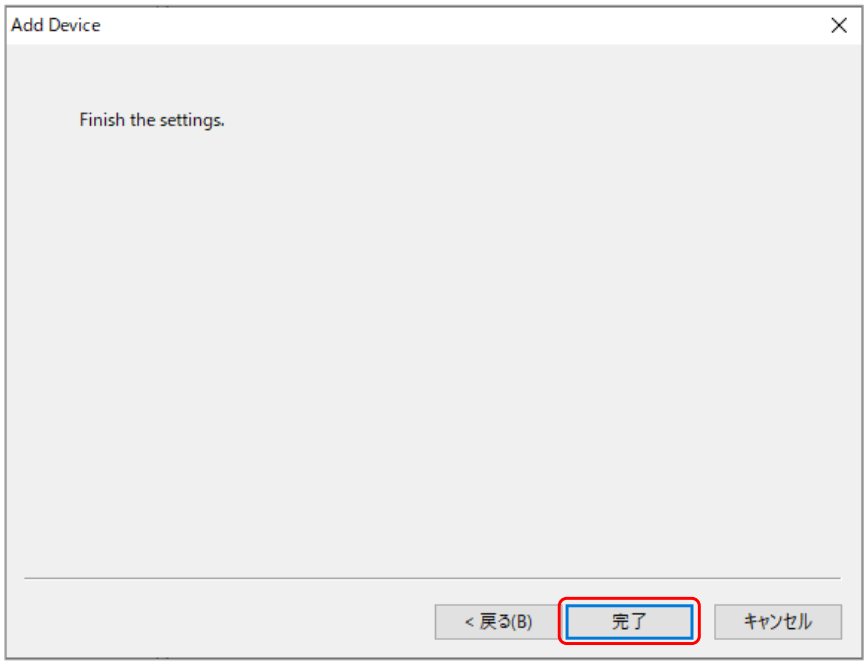
④ [Printer Driver]からプリンタードライバーを選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。
[New Device Logical Name]は自動で設定されます。



⑤ プリンターの設定内容を入力または選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックしてください。



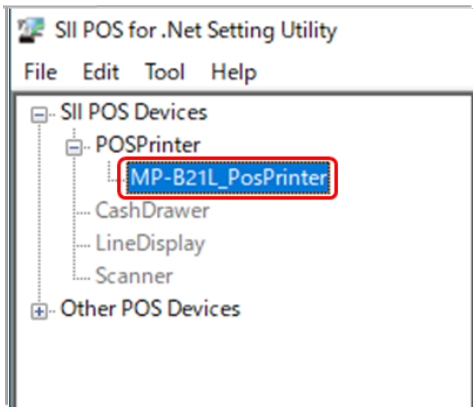
⑥　[完了]ボタンをクリックしてください。



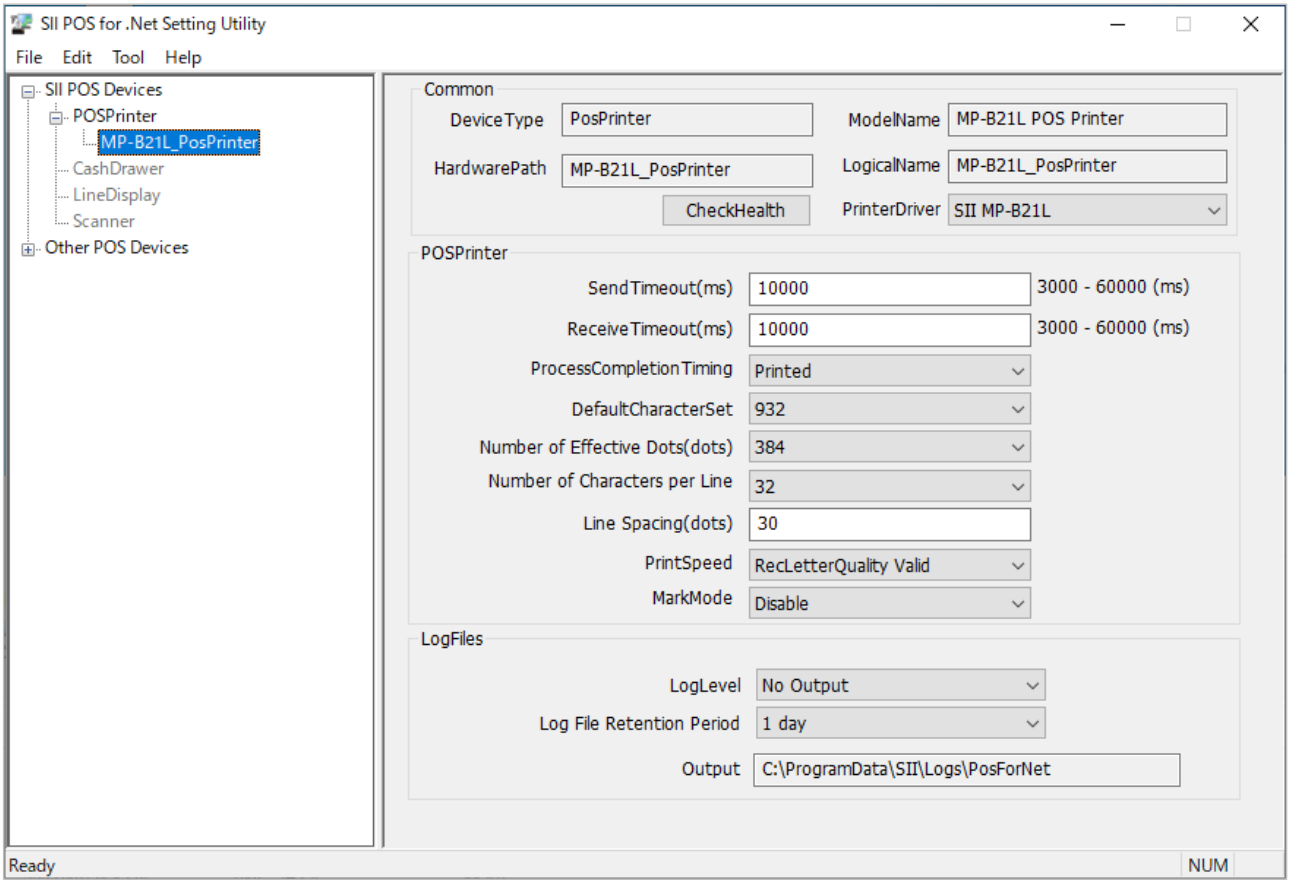
3.2.2　デバイスの設定変更

追加したデバイスの設定変更手順について説明します。

①　「デバイスビュー」から変更を行うデバイスのデバイス名を選択してください。



②　「設定ビュー」が編集可能状態で表示されます。内容を変更してください。



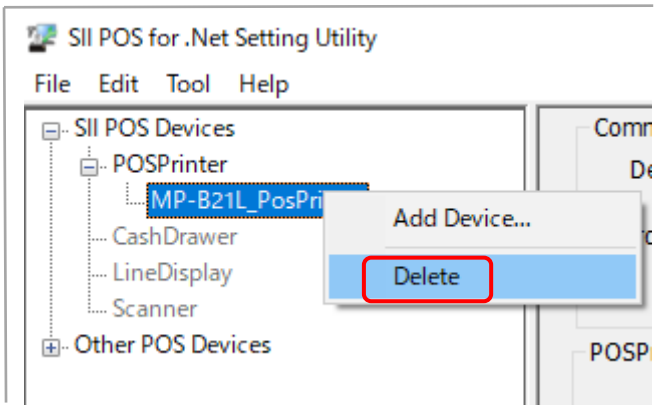
参考

- 設定した内容は他デバイスの選択または設定プログラムを終了した時点で保存されます。

3.2.3　デバイスの削除

追加したデバイスの削除手順について下記に説明します。

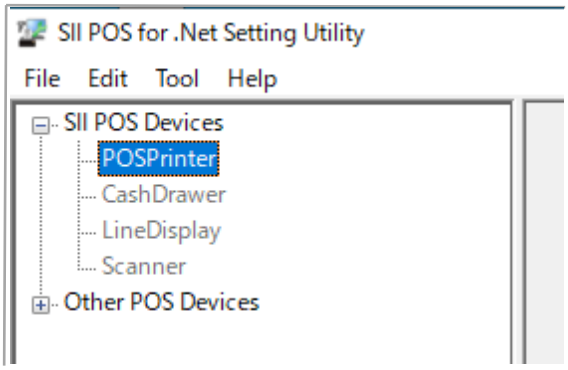
①　「デバイスビュー」から削除するデバイスを選択し、右クリックメニューから[Delete]を選択します。



②　デバイス名を確認して、[OK]ボタンをクリックします。



③　選択したデバイスが「デバイスビュー」から削除されたことを確認してください。



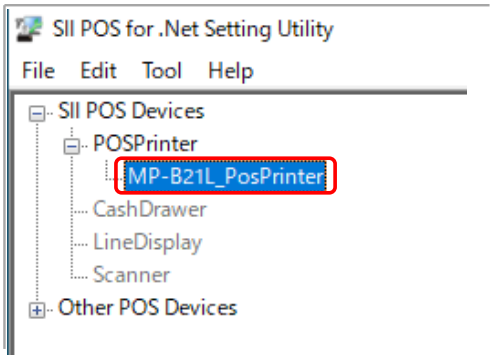
注意

◆ POSPrinterのデバイスを選択した場合は、選択したPOSPrinterのデバイス及び各論理デバイス名の全てが削除されます。

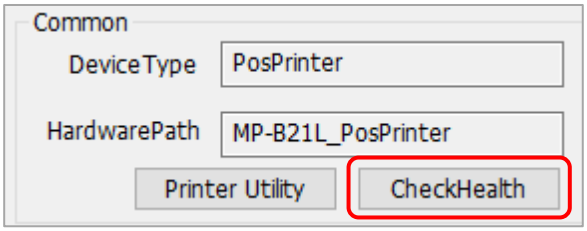
3.2.4　デバイスの対話テスト

設定プログラムでは「デバイスビュー」で選択したデバイスに対して、対話テストが実行できます。
対話テストの手順を下記に説明します。

①　「デバイスビュー」から対話テストを行うデバイスのデバイス名または論理デバイス名を選択してください。



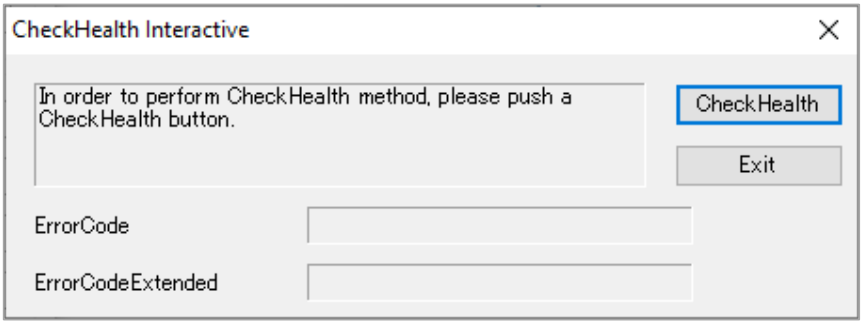
②　「設定ビュー」の[CheckHealth]ボタンをクリックしてください。



③　対話テストの準備を開始します。

【対話テストの準備に成功した場合】

④　対話テストを行うためのダイアログが表示されます。



対話テストを実行する場合は、[CheckHealth]ボタンをクリックしてください。
対話テストを終了する場合は、[Exit]ボタンをクリックしてください。

【対話テストの準備に失敗した場合】

④　ダイアログが表示されます。



ErrorCodeについては、「付録A 例外」を参照してください。
ErrorCodeの確認後は、[OK]ボタンをクリックしてください。

3.2.5　プリンターのメモリ設定（PrinterUtility）

設定プログラムでは、接続しているプリンターのメモリスイッチの設定を確認・変更ができます。

(1)　設定プログラムでポートを選択している場合

①「設定ビュー」の[Printer Utility]ボタンをクリックしてください。



②　SII Printer Setting Utilityが起動します。

(2)　設定プログラムでプリンタードライバーを選択している場合

プリンタードライバーを選択している場合は、プリンタードライバーのインストールが必要です。
インストール手順については、「SII ソフトウェアパッケージ for Windows インストールガイド」を参照してください。
プリンタードライバーのインストール後に、SII Printer Setting Utilityを下記の方法で起動してください。

- Windows 11の場合

  スタートメニューから、[すべてのアプリ]－[SII Printer Software]－[Printer Setting Utility]を選択してください。

- Windows 10の場合

  スタートメニューから、[SII Printer Software]－[Printer Setting Utility]を選択してください。

4章　プロパティ・メソッド・イベント

本章では本ソフトウェアに実装されているプロパティ・メソッド・イベントについて説明します。

4.1 PosPrinter

4.1.1 一覧

(1) 共通プロパティ

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapCompareFirmwareVersion	**bool**	R	Open	*false*
CapPowerReporting	**PowerReporting**	R	Open	*Standard*
CapStatisticsReporting	**bool**	R	Open	*true*
CapUpdateFirmware	**bool**	R	Open	*false*
CapUpdateStatistics	**bool**	R	Open	*true*
CheckHealthText	**string**	R	Open	""
Claimed	**bool**	R	Open	*false*
DeviceDescription	**string**	R	Open	"SII MP-Bxx POS Printer"
DeviceEnabled	**bool**	R/W	Open & Claim	*false*
DeviceName	**string**	R	Open	"MP-Bxx POS Printer"
FreezeEvents	**bool**	R/W	Open & Claim	*false*
OutputId	**int**	R	Open	0
PowerNotify	**PowerNotification**	R/W	Open	*Disabled*
PowerState	**PowerState**	R	Open	*Unknown*
ServiceObjectDescription	**string**	R	Open	"SII MP-Bxx POS Printer Service Object, Copyright(C) 20xx Seiko Instruments Inc."
ServiceObjectVersion	**Version**	R	Open	MP-B21L 1.14.x.x MP-B30L、MP-B30 1.12.x.x
State	**ControlState**	R	--	*Idle*
SynchronizingObject	**System.ComponentModel.ISynchronizeInvoke**	R/W	Open	アプリケーションに依存

(2) 専用プロパティ

（MP-B21L：**RecLineWidth**=384、**RecLineChars**=32、**RecLineSpacing**=30、**CharacterSet**=932 の場合）

（MP-B30L、MP-B30：**RecLineWidth**=576、**RecLineChars**=48、**RecLineSpacing**=30、**CharacterSet**=932 の場合）

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
AsyncMode	**bool**	R/W	Open	*false*
CapCharacterSet	**CharacterSetCapability**	R	Open	*Kanji*
CapCoverSensor	**bool**	R	Open	*true*
CapMapCharacterSet	**bool**	R	Open	*false*
CapRec2Color	**bool**	R	Open	*false*
CapRecBarCode	**bool**	R	Open	*true*
CapRecBitmap	**bool**	R	Open	*true*
CapRecBold	**bool**	R	Open	*true*
CapRecCartridgeSensor	**PrinterCartridgeSensors**	R	Open	*None*
CapRecColor	**PrinterColors**	R	Open	*Primary*
CapRecDHigh	**bool**	R	Open	*true*
CapRecDWide	**bool**	R	Open	*true*
CapRecDWideDHigh	**bool**	R	Open	*true*
CapRecEmptySensor	**bool**	R	Open	*true*
CapRecItalic	**bool**	R	Open	*false*
CapRecLeft90	**bool**	R	Open	*true*
CapRecMarkFeed	**PrinterMarkFeeds**	R	Open	*None*[*1]
CapRecNearEndSensor	**bool**	R	Open	*false*
CapRecPageMode	**bool**	R	Open	*true*
CapRecPaperCut	**bool**	R	Open	*false*
CapRecPresent	**bool**	R	Open	*true*
CapRecRight90	**bool**	R	Open	*true*
CapRecRotate180	**bool**	R	Open	*true*
CapRecStamp	**bool**	R	Open	*false*
CapRecUnderline	**bool**	R	Open	*true*
CapTransaction	**bool**	R	Open	*true*
CartridgeNotify	**PrinterCartridgeNotify**	R/W[*2]	Open	*Disabled*
CharacterSet	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	932[*1]
CharacterSetList	**int[]**	R	Open	{437, 737, 850, 852, 855, 857, 858, 860, 863, 865, 866, 932, 999, 1250, 1251, 1252, 1253, 1254}
CoverOpen	**bool**	R	Open, Claim, & Enable	プリンターの状態に依存
ErrorLevel	**PrinterErrorLevel**	R	Open	*None*
ErrorStation	**PrinterStation**	R	Open	*None*

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
ErrorString	**string**	R	Open	""
FlagWhenIdle	**bool**	R/W	Open	*false*
FontTypefaceList	**string[]**	R	Open	[0]
MapCharacterSet	**bool**	R/W*2	Open	*false*
MapMode	**MapMode**	R/W	Open	*Dots*
PageModeArea	**System.Drawing.Point**	R	Open	{0, 0}
PageModeDescriptor	**PageModeDescriptors**	R	Open	*None*
PageModeHorizontalPosition	**int**	R/W	Open	0
PageModePrintArea	**System.Drawing.Rectangle**	R/W	Open	{0, 0, 0, 0}
PageModePrintDirection	**PageModePrintDirection**	R/W	Open	*None*
PageModeStation	**PrinterStation**	R/W	Open	*None*
PageModeVerticalPosition	**int**	R/W	Open	0
RecBarCodeRotationList	**Rotation[]**	R	Open	{*Normal, Left90, Right90, Rotate180*}
RecBitmapRotationList	**Rotation[]**	R	Open	{*Normal, Left90, Right90, Rotate180*}
RecCartridgeState	**PrinterCartridgeStates**	R	Open, Claim, & Enable	*Unknown*
RecCurrentCartridge	**PrinterColors**	R/W*2	Open, Claim, & Enable	*Primary*
RecEmpty	**bool**	R	Open, Claim, & Enable	プリンターの状態に依存
RecLetterQuality	**bool**	R/W	Open, Claim, & Enable	*false*
RecLineChars	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	MP-B21L 32*1 MP-B30L、MP-B30 48*1
RecLineCharsList	**int[]**	R	Open	MP-B21L {24, 27, 29, 32, 38, 42, 48} MP-B30L、MP-B30 {36, 41, 44, 48, 57, 64, 72}
RecLineHeight	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	24*3
RecLineSpacing	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	30*1
RecLinesToPaperCut	**int**	R	Open, Claim, & Enable	2*3
RecLineWidth	**int**	R	Open, Claim, & Enable	MP-B21L 384*1 MP-B30L 576*1 MP-B30 576
RecNearEnd	**bool**	R	Open, Claim, & Enable	*false*
RecSidewaysMaxChars	**int**	R	Open, Claim, & Enable	200*3

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
RecSidewaysMaxLines	**int**	R	Open, Claim, & Enable	MP-B21L 13[*3] MP-B30L、MP-B30 19[*3]
RotateSpecial	**Rotation**	R/W	Open	*Normal*

*1：設定プログラムにより変更可能
*2：書き換え不可能
*3：設定プログラムにより自動的に変更

下記の専用プロパティは、提供されますが動作はサポートしていません。

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapConcurrentJrnRec	**bool**	R	Open	*false*
CapConcurrentJrnSlp	**bool**	R	Open	*false*
CapConcurrentPageMode	**bool**	R	Open	*false*
CapConcurrentRecSlp	**bool**	R	Open	*false*
CapJrn2Color	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnBold	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnCartridgeSensor	**PrinterCartridgeSensors**	R	Open	*None*
CapJrnColor	**PrinterColors**	R	Open	*None*
CapJrnDHigh	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnDWide	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnDWideDHigh	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnEmptySensor	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnItalic	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnNearEndSensor	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnPresent	**bool**	R	Open	*false*
CapJrnUnderline	**bool**	R	Open	*false*
CapSlp2Color	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpBarCode	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpBitmap	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpBold	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpBothSidesPrint	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpCartridgeSensor	**PrinterCartridgeSensors**	R	Open	*None*
CapSlpColor	**PrinterColors**	R	Open	*None*
CapSlpDHigh	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpDWide	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpDWideDHigh	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpEmptySensor	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpFullSlip	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpItalic	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpLeft90	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpNearEndSensor	**bool**	R	Open	*false*

プロパティ名	型	アクセス	使用可能条件	初期値
CapSlpPageMode	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpPresent	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpRight90	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpRotate180	**bool**	R	Open	*false*
CapSlpUnderline	**bool**	R	Open	*false*
JrnCartridgeState	**PrinterCartridgeStates**	R	Open, Claim, & Enable	*Unknown*
JrnCurrentCartridge	**PrinterColors**	R/W	Open, Claim, & Enable	*None*
JrnEmpty	**bool**	R	Open, Claim, & Enable	*false*
JrnLetterQuality	**bool**	R/W	Open, Claim, & Enable	*false*
JrnLineChars	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	0
JrnLineCharsList	**int[]**	R	Open	[0]
JrnLineHeight	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	0
JrnLineSpacing	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	0
JrnLineWidth	**int**	R	Open, Claim, & Enable	0
JrnNearEnd	**bool**	R	Open, Claim, & Enable	*false*
SlpBarCodeRotationList	**Rotation[]**	R	Open	[0]
SlpBitmapRotationList	**Rotation[]**	R	Open	[0]
SlpCartridgeState	**PrinterCartridgeStates**	R	Open, Claim, & Enable	*Unknown*
SlpCurrentCartridge	**PrinterColors**	R/W	Open, Claim, & Enable	*None*
SlpEmpty	**bool**	R	Open, Claim, & Enable	*false*
SlpLetterQuality	**bool**	R/W	Open, Claim, & Enable	*false*
SlpLineChars	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	0
SlpLineCharsList	**int[]**	R	Open	[0]
SlpLineHeight	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	0
SlpLinesNearEndToEnd	**int**	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpLineSpacing	**int**	R/W	Open, Claim, & Enable	0
SlpLineWidth	**int**	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpMaxLines	**int**	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpNearEnd	**bool**	R	Open, Claim, & Enable	*false*
SlpPrintSide	**PrinterSide**	R	Open, Claim, & Enable	*Unknown*
SlpSidewaysMaxChars	**int**	R	Open, Claim, & Enable	0
SlpSidewaysMaxLines	**int**	R	Open, Claim, & Enable	0

(3) 共通メソッド

メソッド名	使用可能条件
CheckHealth	Open, Claim, & Enable
Claim	Open
ClearOutput	Open & Claim
Close	Open
CompareFirmwareVersion	Open, Claim, & Enable
DirectIO	Open, Claim, & Enable
Open	–
Release	Open & Claim
ResetStatistic(string)	Open, Claim, & Enable
ResetStatistics()	Open, Claim, & Enable
ResetStatistics(StatisticCategories)	Open, Claim, & Enable
ResetStatistics(string[])	Open, Claim, & Enable
RetrieveStatistic(string)	Open, Claim, & Enable
RetrieveStatistics()	Open, Claim, & Enable
RetrieveStatistics(StatisticCategories)	Open, Claim, & Enable
RetrieveStatistics(string[])	Open, Claim, & Enable
UpdateFirmware	Open, Claim, & Enable
UpdateStatistic	Open, Claim, & Enable
UpdateStatistics(Statistic[])	Open, Claim, & Enable
UpdateStatistics(StatisticCategories, Object)	Open, Claim, & Enable

(4) 専用メソッド

メソッド名	使用可能条件
BeginInsertion	Open, Claim, & Enable
BeginRemoval	Open, Claim, & Enable
ChangePrintSide	Open, Claim, & Enable
ClearPrintArea	Open, Claim, & Enable
CutPaper	Open, Claim, & Enable
EndInsertion	Open, Claim, & Enable
EndRemoval	Open, Claim, & Enable
MarkFeed	Open, Claim, & Enable
PageModePrint	Open, Claim, & Enable
PrintBarCode	Open, Claim, & Enable
PrintBitmap	Open, Claim, & Enable
PrintImmediate	Open, Claim, & Enable
PrintMemoryBitmap	Open, Claim, & Enable
PrintNormal	Open, Claim, & Enable
PrintTwoNormal	Open, Claim, & Enable

メソッド名	使用可能条件
RotatePrint	Open, Claim, & Enable
SetBitmap	Open, Claim, & Enable
SetLogo	Open, Claim, & Enable
TransactionPrint	Open, Claim, & Enable
ValidateData	Open, Claim, & Enable

(5) イベント

イベント名	使用可能条件
DirectIOEvent	Open, Claim, & Enable*1
ErrorEvent	Open, Claim, & Enable
OutputCompleteEvent	Open, Claim, & Enable
StatusUpdateEvent	Open, Claim, & Enable

*1 : OPOS APG V1.14.1または1.12とは使用可能条件が異なります。

4.1.2 印字データとエスケープシーケンス

(1) 指定時のみ動作するエスケープシーケンス

名称	データ	内容
用紙カット	ESC|[#]P	サポートしていません。
フィードと 用紙カット	ESC|[#]fP	サポートしていません。
フィードとカット とスタンプ印刷	ESC|[#]sP	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ESC|#B	• 前もって保存されていたビットマップを印刷します。 代替文字'#'はビットマップ番号です。 '#'は1～20までの指定が可能です。 '#'に1～20以外の値が指定された場合は、無視されます。 文字'#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。
トップロゴ印刷	ESC|tL	• 前もって保存されていたトップロゴを印刷します。
ボトムロゴ印刷	ESC|bL	• 前もって保存されていたボトムロゴを印刷します。
スタンプ印刷	ESC|sL	サポートしていません。
複数行フィード	ESC|[#]lF	• 複数行のフィードをします。 代替文字'#'は、フィードする行数を示すASCII 10進数の文字列です。 '#'は0～255までの指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、サポートする最大値の255行フィードを実行します。 '#'が省略された場合は、1行分のフィードをします。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。
単位フィード	ESC|[#]uF	• **MapMode**で指定された単位でフィードをします。 **MapMode**が*MapMode.Dots*の場合、'#'は1～255の範囲で指定が可能です。 代替文字'#'は、フィード量を示すASCII 10進数の文字列です。 '#'が省略された場合は、1単位分のフィードをします。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、サポートする最大値の255単位分のフィードを実行します。 • **RotatePrint**による左右90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は無視されます。
逆フィード	ESC|[#]rF	サポートしていません。

名称	データ	内容
埋め込みデータの送信	ESC|[*]#E*1	• ″#E″に続く文字列は、一切変更されずにプリンターへ渡されます。 代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、このエスケープシーケンスに続く、そのままプリンターへ渡されるべき文字列のバイト数を指定します。 '#'は1～65535 までの指定が可能です。 '#'に範囲を超える値が指定された場合は、埋め込みデータの送信は実行されません。 '#'で指定されたバイト数の印字データがエスケープシーケンスの指定後に設定されていない場合は、送信可能な印字データのみを送信します。（例：ESC|2Ea が指定された場合、1バイトしか文字列が設定されてないため、″a″のみを送信します。） '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。 • **RotatePrint**による90度回転中は、埋め込みデータの送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。
バーコード印刷	ESC|[*]#R*1	• バーコードを印刷します。 代替文字'#'は、ASCII 10進数の文字列で、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとみなされます。 • '#'の指定範囲とRの後に続くデータのバイト数が一致していない場合は、'#'の指定範囲内のすべてデータを廃棄します。 • **RotatePrint**による90度回転中は、バーコード印刷の送信で指定されたデータ列は文字列としてカウントされないため、横幅が正確に計算できなくなりますので、空白等の挿入で調整を行ってください。

*1: [*]はMP-B21Lのみサポートします。

- **バーコード印刷**

アプリケーションは「バーコード印刷」エスケープシーケンス（ESC|[*]#R）を利用することにより、他の印刷データとともに、バーコードの印刷ができます。代替文字'#'は、Rに続く文字列（バーコードの特性を定義）の文字数を指定します。
Rに続く文字列では、小文字のアルファベットと数値を使用して、バーコードの特性を指定します。
数値には**PrintBarCode**のために定義された定数値が利用できます。
属性を示す文字は下記の通りです。

s：symbology（バーコードタイプ）
h：height（バーコードの高さ）
w：width（バーコードの幅）
a：alignment（バーコードの位置）
t：text position（HRI文字列の位置）
d：start of data（バーコードデータの開始位置）
e：end of data（バーコードデータの終了位置）

属性は上記のリストで示された順番で必ず記述する必要があります。
すべての属性は省略不可です。これら2つの条件のうち1つでも守られていない場合や、各属性に続く数値に範囲外の値を指定した場合は、期待した印字結果とならない場合があります。

UPC-Aを中央揃え、バーコードの下にHRI文字列を印字、200dot高さ、300dot幅の条件で印刷する場合の例を下記に示します。

ESC|33Rs101h200w300a-2t-13d123456789012e

バーコードのクワイエットゾーンについては、**PrintBarCode**の記載を参照してください。

(2) 変更されるまで有効となるエスケープシーケンス

名称	データ	内容
フォントタイプ指定	ESC|#fT	サポートしていません。

(3) 印刷メソッドの終了または「ノーマル」エスケープシーケンスによってリセットされるエスケープシーケンス

名称	データ	内容
ボールド	ESC|[!]bC	● ボールド体で印刷します。 '!'が指定された場合は、ボールドを無効にします。
アンダーライン	ESC|[!][#]uC	● アンダーラインと共に印刷します。 代替文字'#'は、アンダーラインの太さ(ドット)を示すASCII 10進数の文字列です。有効な太さは0～2です。 '#'が省略された場合は、太さ1のアンダーラインが使用されます。'#'が3以上の場合は太さ2が使用されます。 '!'が指定された場合は、アンダーラインを無効にします。
イタリック	ESC|[!]iC	サポートしていません。
カスタムカラー	ESC|[#]rC	サポートしていません。
赤色	ESC|rC	サポートしていません。
反転文字	ESC|[!]rvC	● 明暗を反対にして印刷します。 '!'が指定された場合は、反転文字を無効にします。
網掛け文字	ESC|[#]sC	サポートしていません。
縦横1倍角	ESC|1C	● 通常の大きさで印刷します。
横倍角	ESC|2C	● 横倍角文字で印刷します。
縦倍角	ESC|3C	● 縦倍角文字で印刷します。
縦横倍角	ESC|4C	● 縦横倍角文字で印刷します。
横倍率	ESC|#hC	● 代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。 '#'に1以下の値が指定された場合は、1倍率で印字します。 '#'に8以上の値が指定された場合は、8倍率で印字します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。
縦倍率	ESC|#vC	● 代替文字'#'が1～8までの値をサポートします。 '#'に1以下の値が指定された場合、1倍率で印字します。 '#'に8以上の値が指定された場合、8倍率で印字します。 '#'が省略された場合は、エスケープシーケンスとはみなされず、印字データとしてみなされます。
色指定	ESC|[#]fC	サポートしていません。

名称	データ	内容
中央揃え	ESC|cA	• ESC|cA以降のテキストを中央揃えにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も中央揃えが継続します。 • **RotatePrint**による90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は指定が無視されます。
右寄せ	ESC|rA	• ESC|rA以降のテキストを右寄せにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も右寄せが継続します。 • **RotatePrint**による90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は指定が無視されます。
左寄せ	ESC|lA	• ESC|lA以降のテキストを左寄せにします。行の先頭で指定しなければ有効となりません。また、印字データの中に改行があれば、改行後も左寄せが継続します。 • **RotatePrint**による90度回転中、及び**PageModePrint**によるページモード中は指定が無視されます。
ノーマル	ESC|N	• ノーマルが指定された以降の印字データは、すべての書式設定を解除し、デフォルトの状態に復元します。
サブ スクリプト	ESC|[!]tbC	サポートしていません。
スーパー スクリプト	ESC|[!]tpC	サポートしていません。
取り消し線	ESC|[!][#]stC	サポートしていません。

4.1.3　共通プロパティ

PosPrinterの共通プロパティの詳細について示します。
スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

CapCompareFirmwareVersion プロパティ

型　　**bool**

説明　　ファームウェアバージョンを比較する機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアバージョンを比較する機能はサポートしていません。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapPowerReporting プロパティ

型　　**PowerReporting**

説明　　デバイスの通知能力を識別します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PowerReporting.Standard	下記の2種類の電源状態の判断及び通知が可能です。 ・*PowerState.OffOffline*（電源オフまたはオフライン） ・*PowerState.Online*

本プロパティは**Open**により*PowerReporting.Standard*に初期化されます。

CapStatisticsReporting プロパティ

型　　**bool**

説明　　デバイスのスタティスティクス収集機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	デバイスは使用状態に関する様々なスタティスティクスを収集提供可能です。 収集され通知される情報はデバイスに固有であり、**RetrieveStatistic(s)**を使用して取得できます。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapUpdateFirmware プロパティ

型　　**bool**

説明　　ファームウェアのアップデート機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	ファームウェアのアップデートはサポートしていません。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapUpdateStatistics プロパティ

型　　**bool**

説明　　デバイスのスタティスティクスリセット機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	デバイスのスタティスティクスのいくつかは、**ResetStatistics(S)**を使用して0にリセットできます。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CheckHealthText プロパティ

型　　**string**

説明　　直前に呼び出した**CheckHealth**の結果を保持します。
下記に診断結果の例を示します。

メソッドパラメータ	メソッド結果	CheckHealthText
HealthCheckLevel.External	成功	"External HCheck: Successful"
	失敗	"External HCheck: Failure"
HealthCheckLevel.Interactive[*1]	成功	"Interactive HCheck: Successful"
	失敗	"Interactive HCheck: Failure"
HealthCheckLevel.Internal	成功	"Internal HCheck: Successful"
	失敗	"Internal HCheck: Failure"

*1：*HealthCheckLevel.Interactive*の場合、実行後一度もテストをせずにダイアログボックスを閉じた場合は、"Interactive HCheck: Canceled"が設定されます。

本プロパティは**Open**により空文字列に初期化されます。

Claimed プロパティ

型　　**bool**

説明　　デバイスの排他アクセス権の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスはほかのアプリケーションと共有できるよう解放されています。
true	デバイスの排他アクセス権が獲得されています。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

DeviceDescription プロパティ

型　　**string**

説明　　デバイスとそれに関連する情報を示します。
本プロパティは**DeviceName**に依存します。
本プロパティは**Open**により下記に示す値に初期化されます。

DeviceName	値
"MP-B21L POS Printer"	"SII MP-B21L POS Printer"
"MP-B30L POS Printer"	"SII MP-B30L POS Printer"
"MP-B30 POS Printer"	"SII MP-B30 POS Printer"

DeviceEnabled プロパティ R/W

型　　**bool**

説明　　デバイスの有効/無効を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	デバイスはディセーブルにされています。 *false*に変更すると、ディセーブルにされます。
true	デバイスはイネーブルにされています。（動作状態です。） *true*に変更するとイネーブルにされます。

デバイスを使用する前に、アプリケーションは本プロパティを*true*に設定する必要があります。
Stateが*ControlState.Idle*以外のとき**DeviceEnabled**を*true*から*false*にすることはできません。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

DeviceName プロパティ

型　　**string**

説明　　デバイスとそれに関連する情報を示します。
本プロパティは**Open**により下記に示す値に初期化されます。

プリンター	値
MP-B21L	"MP-B21L POS Printer"
MP-B30L	"MP-B30L POS Printer"
MP-B30	"MP-B30 POS Printer"

FreezeEvents プロパティ R/W

型　　**bool**

説明　　イベントの通知/非通知を選択します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	アプリケーションは、イベントの通知を許可しています。凍結中に保持されていたイベントがあり、イベントを通知するすべての条件が調った場合、**FreezeEvents**を*false*に変更すると、イベントが通知されます。
true	アプリケーションは、サービスオブジェクトがイベントを通知しないようにリクエストしています。アプリケーションが**FreezeEvents**を*false*に変更するまで、サービスオブジェクトは、イベントをキューイングしますが通知しません。

イベントによる割り込みが望ましくない状況で、アプリケーションはイベントの凍結を選択できます。

AsyncModeを*true*に設定した状態で、**PrintNormal**等の印字メソッドを実行中にエラーが発生した場合、**ErrorEvent**が凍結され、**State**が*ControlState.Busy*となります。この場合、サービスオブジェクトをクローズできなくなりますので、**ClearOutput**で凍結中のイベントを破棄するか、**FreezeEvents**を*false*に設定して、**ErrorEvent**を発生させた後、**Close**を実行してください。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

OutputId プロパティ

型　　**int**

説明　　非同期要求（**AsyncMode**が*true*に設定されている時の、非同期対応メソッドの呼び出し）を一意に識別するための識別子を保持しています。

メソッドが非同期出力の開始に成功すると、サービスオブジェクトはリクエストに識別子を割り当てます。出力が完了すると、**OutputCompleteEvent**を通知して、その出力IDをパラメータとして渡します。

OutputIdは**int**の範囲内で自動的に割り振られます。

本プロパティは**Open**により0に初期化されます。

PowerNotify プロパティ R/W

型　　**PowerNotification**

説明　　アプリケーションから設定された電源通知機能のタイプを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PowerNotification.Disabled	サービスオブジェクトはアプリケーションに対していかなる電源通知も提供しません。 電源通知に関する**StatusUpdateEvents**は通知されず、また、**PowerState**にも何も設定されません。
PowerNotification.Enabled	**DeviceEnabled**が*true*に設定されると、サービスオブジェクトは電源通知に関する**StatusUpdateEvents**の通知、**PowerState**の更新を行います。 機能レベルは、**CapPowerReporting**の値に依存します。

PowerNotifyはデバイスがディセーブルの間、すなわち**DeviceEnabled**が*false*の間のみ設定が可能です。

本プロパティは**Open**により*PowerNotification.Disabled*に初期化されます。

PowerState プロパティ

型　　**PowerState**

説明　　現在のデバイスの電源状態が設定されます。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PowerState.OffOffline	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。
PowerState.Online	デバイスは電源オン、かつレディ状態です。
PowerState.Unknown	下記の理由のいずれかにより、デバイスの電源状態の判断ができません。 ・**PowerNotify**が*PowerNotification.Disabled*です。 ・**DeviceEnabled**が*false*です。

本プロパティは**Open**により*PowerState.Unknown*に初期化されます。

ServiceObjectDescription プロパティ

型　　**string**

説明　　本プロパティはサービスオブジェクトを識別するための文字列が設定されています。
本プロパティは**Open**により下記に示す値に初期化されます。

DeviceName	値
"MP-B21L POS Printer"	"SII MP-B21L POS Printer Service Object, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
"MP-B30L POS Printer"	"SII MP-B30L POS Printer Service Object, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."
"MP-B30 POS Printer"	"SII MP-B30 POS Printer Service Object, Copyright (C) 20xx Seiko Instruments Inc."

ServiceObjectVersion プロパティ

型　　**Version**

説明　　サービスオブジェクトバージョン番号を示します。
バージョン番号は、メジャー、マイナ、ビルド、及びレビジョンの4つの整数値からなります。
メジャー及びマイナバージョン番号は、サービスオブジェクトが実装するUnifiedPOSのバージョンに相当します。
ビルドバージョンがA、レビジョンバージョンがBのとき、本プロパティは**Open**により
1.14.A.B（MP-B21L）または1.12.A.B（MP-B30L、MP-B30）に初期化されます。

State プロパティ

型　　**ControlState**

説明　　デバイスの現在の状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
ControlState.Busy	デバイスは正常な状態にあり、出力を実行しているためビジーです。
ControlState.Closed	デバイスはクローズしています。
ControlState.Error	エラーが報告され、通常のI/Oを再開するには、その前にアプリケーションがコントロールを正常な状態に戻す必要があります。この状態を取りうるのは、**ErrorEvent**イベントハンドラ内部のみとなります。
ControlState.Idle	デバイスは正常な状態にあり、ビジーではありません。

本プロパティはいつでも読取り可能です。
本プロパティは**Open**により*ControlState.Idle*に初期化されます。

SynchronizingObject プロパティ

型　**System.ComponentModel.ISynchronizeInvoke**

説明　**ISynchronizeInvoke**クラスのインスタンスを格納します。アプリケーションは、本プロパティを使用して、イベントが通知されるスレッドの指定ができます。
SynchronizingObjectが*null*にセットされている場合、イベントは、サービスオブジェクトが所有する内部スレッドに通知されます。
Windowsのフォームを使用するアプリケーションは、**SynchronizationObject**にメインフォームの**Form**クラスの*this*ポインタをセットして、**Form**クラスの要件どおり、イベントがメインのアプリケーションスレッドに通知されるようにします。

4.1.4　専用プロパティ

PosPrinterの専用プロパティの詳細について示します。
サポートしていない専用プロパティの例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

AsyncMode プロパティ R/W

型　　**bool**

説明　　特定の印刷メソッドの実行の同期/非同期を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、**PrintMemoryBitmap**、**MarkFeed**、**RotatePrint**、**TransactionPrint**及び**PageModePrint**の印刷メソッドが同期で実行されます。
true	上記の印刷メソッドが非同期で実行されます。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapCharacterSet プロパティ

型　　**CharacterSetCapability**

説明　　印刷可能な文字設定を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
CharacterSetCapability.Kanji	文字設定はCode Page 932をサポートします。 0xA1と0xDFの間の半角のカタカナ、0x20と0x7Fの間のすべてのASCII文字をサポートします。また、JIS第一水準、JIS第二水準レベルで定義される文字のシフトJISコード文字をサポートします。

本プロパティは**Open**により*CharacterSetCapability.Kanji*に初期化されます。

CapCoverSensor プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのカバーオープンセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	プリンターにはカバーオープンセンサがあります。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapMapCharacterSet プロパティ

型　　**bool**

説明　　印字の際にアプリケーションの文字を選択した文字セットにマップするサービスオブジェクトの機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	サービスオブジェクトは文字を**CharacterSetList**に定義された文字セットに対して正確にマッピングすることはできません。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapRec2Color プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの2色印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	2色印刷はできません。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapRecBarCode プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのバーコード印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	バーコード印刷が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecBitmap プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのビットマップ印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ビットマップ印刷が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecBold プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのボールド属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ボールド属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecCartridgeSensor プロパティ

型　　**PrinterCartridgeSensors**

説明　　レシートカートリッジセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PrinterCartridgeSensors.None	カートリッジセンサの機能はサポートしていません。

本プロパティは**Open**により*PrinterCartridgeSensors.None*に初期化されます。

CapRecColor プロパティ

型　　**PrinterColors**

説明　　レシートのカラー印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PrinterColors.Primary	プライマリカートリッジが搭載されています。

本プロパティは**Open**により*PrinterColors.Primary*に初期化されます。

CapRecDHigh プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの縦倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	縦倍角属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecDWide プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの横倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	横倍角属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecDWideDHigh プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの縦横倍角属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	縦横倍角属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecEmptySensor プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの紙無しセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	プリンターには紙無しセンサがあります。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecItalic プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのイタリック属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	イタリック属性が不可能です。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapRecLeft90 プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの左90度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	左90度回転属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecMarkFeed プロパティ

型　　**PrinterMarkFeeds**

説明　　マーク付き用紙の制御機能を示します。
本プロパティには下記のいずれかの値の論理和が設定されます。

値	意味
PrinterMarkFeeds.None	マーク付き用紙の制御機能は無効です。
PrinterMarkFeeds.Takeup	マークまたはギャップ検出後、用紙を取り出せる位置までフィードします。
PrinterMarkFeeds.Cutter	マークまたはギャップ検出後、用紙をカット位置までフィードします。 （*PrinterMarkFeeds.Takeup*と同じ位置までフィードします。）
PrinterMarkFeeds.CurrentTof	MP-B21Lのみサポートします。 マーク紙を印字位置までバックフィードします。
PrinterMarkFeeds.NextTof	MP-B21L及びMP-B30Lのみサポートします。 次のマークまたはギャップ検出後、用紙の印字位置までフィードします。

本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。
本プロパティは**Open**により*PrinterMarkFeeds.None*に初期化されます。

CapRecNearEndSensor プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのニアエンドセンサ機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	プリンターはニアエンドセンサを持ちません。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapRecPageMode プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートステーションのページモード印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	ページモード印刷が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecPaperCut プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートステーションの用紙カット機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	用紙カット機能が不可能です。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapRecPresent プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートステーションの存在を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	レシートステーションが存在します。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecRight90 プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの右90度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	右90度回転属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecRotate180 プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの180度回転属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	180度回転属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapRecStamp プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのスタンプ印刷機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	スタンプ印刷が不可能です。

本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

CapRecUnderline プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのアンダーライン属性機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	アンダーライン属性が可能です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CapTransaction プロパティ

型　　**bool**

説明　　一括処理機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
true	一括処理が有効です。

本プロパティは**Open**により*true*に初期化されます。

CartridgeNotify プロパティ R/W

型　　**PrinterCartridgeNotify**

説明　　プリンターのカートリッジの状態通知機能を設定します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PrinterCartridgeNotify.Disabled	カートリッジの状態通知を提供しません。

本プロパティは書き換えることができません。
また、本プロパティは**Open**により*PrinterCartridgeNotify.Disabled*に初期化されます。

CharacterSet プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　文字の印字に用いるキャラクタを設定します。
本プロパティには下記に示す値の内の1つが設定されます。

値	意味
437	Code Page 437文字セットを選択します。
737	Code Page 737文字セットを選択します。
850	Code Page 850文字セットを選択します。
852	Code Page 852文字セットを選択します。
855	Code Page 855文字セットを選択します。
857	Code Page 857文字セットを選択します。
858	Code Page 858文字セットを選択します。
860	Code Page 860文字セットを選択します。
863	Code Page 863文字セットを選択します。
865	Code Page 865文字セットを選択します。
866	Code Page 866文字セットを選択します。
932	Code Page 932文字セット(シフトJISコード)として、Katakanaを選択します。
999	Windows ANSI文字セットを選択します。 *1
1250	Code Page 1250文字セットを選択します。
1251	Code Page 1251文字セットを選択します。
1252	Code Page 1252文字セットを選択します。 *1
1253	Code Page 1253文字セットを選択します。
1254	Code Page 1254文字セットを選択します。

*1：Windows ANSI文字セットとCode Page 1252は等しい文字セットです

本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。
本プロパティは**Open**により、設定プログラムの[DefaultCharacterSet]で設定されている文字セットの値に初期化されます。

CharacterSetList プロパティ

型　　**int[]**

説明　　プリンターがサポートするキャラクタ設定を数値配列で示します。

本プロパティは**Open**により｛437, 737, 850, 852, 855, 857, 858, 860, 863, 865, 866, 932, 999, 1250, 1251, 1252, 1253, 1254｝に初期化されます。

CoverOpen プロパティ

型　　**bool**

説明　　プリンターカバーの状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	プリンターカバーが閉じています。
true	プリンターカバーが開いています。

本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に初期化され、現状を保持します。

ErrorLevel プロパティ

型　　**PrinterErrorLevel**

説明　　エラー状態からの復帰可能/不可能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PrinterErrorLevel.Fatal	復帰不可能エラーが発生しました。
PrinterErrorLevel.None	エラー状態ではありません。
PrinterErrorLevel.Recoverable	復帰可能エラーが発生しました。

本プロパティは**ErrorEvent**が通知される前に、サービスオブジェクトにより設定されます。
エラーが解除されれば、本プロパティは*PrinterErrorLevel.None*に変わります。
また、本プロパティは**Open**により*PrinterErrorLevel.None*に初期化されます。

ErrorStation プロパティ

型　　**PrinterStation**

説明　　エラーが発生しているステーションを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PrinterStation.None	エラーを検知していません。
PrinterStation.Receipt	レシートステーションでエラーを検知しました。

本プロパティは**ErrorEvent**が通知される前に、サービスオブジェクトにより設定されます。
エラーが解除されれば、本プロパティは*PrinterStation.None*に変わります。
また、本プロパティは**Open**により*PrinterStation.None*に初期化されます。

ErrorString プロパティ

型　　**string**

説明　　現在のエラー情報を保持します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

設定優先度	ErrorCode	ErrorCodeExtended	文字列
1	*ErrorCode.NoHardware*		The power supply of the device is off.
2	*ErrorCode.Extended*	*ExtendedErrorFatal*(1010)	Unrecoverable error occurred.
3	*ErrorCode.Extended*	*ExtendedErrorBattery*(1013)	Battery error occurred.
4	*ErrorCode.Extended*	*ExtendedErrorHeadTemp*(1005)	Head temperature error.
5	*ErrorCode.Extended*	*ExtendedErrorVpPower*(1001)	Vp power error occurred.
6	*ErrorCode.Extended*	*ExtendedErrorCoverOpen*(201)	The cover is open.
7	*ErrorCode.Extended*	*ExtendedErrorReceiptEmpty*(203)	Out of receipt form.
8	*ErrorCode.Extended*	*ExtendedErrorMarkPaperJam*(1014)	Mark paper jam error occurred.
9	*ErrorCode.Failure*		Communication error occurred.
			Windows system error occurred.
			Time out.

同時に複数のエラーが発生している時は、設定優先度の高いものを表示します。
本プロパティは**ErrorEvent**が通知される前に、サービスオブジェクトにより設定されます。
エラーが解除されれば、本プロパティは空文字列に変わります。
また、本プロパティは**Open**により空文字列に初期化されます。

FlagWhenIdle プロパティ R/W

型　　**bool**

説明　　**StatusUpdateEvent**の通知機能を示します。
本プロパティには下記に示す値の内の1つが設定できます。

値	意味
false	**StatusUpdateEvent**は通知されません。
true	**State**が*ControlState.Idle*であれば、**StatusUpdateEvent**を通知します。

FlagWhenIdleを*true*に設定した後、**StatusUpdateEvent**が通知されると、**FlagWhenIdle**は自動的に*false*にリセットされます。
FlagWhenIdleと**StatusUpdateEvent**を利用することにより、アプリケーションはすべての非同期出力が終了した時を知ることができます。出力が正常終了した時、または**ClearOutput**もしくは**ErrorEvent**を受け取ったイベントハンドラにより出力が削除された時に、イベントが通知されます。

FlagWhenIdleを*true*に設定する時に、**State**が*ControlState.Idle*の場合、**StatusUpdateEvent**は直ちに通知されます。したがって、非同期出力の終了とこのフラグの設定のすれ違いを気にせずに、アプリケーションは本イベントを使用できます。
本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

FontTypefaceList プロパティ

型　　**string[]**

説明　　プリンターがサポートするフォントやフォントタイプを指定する文字列の配列を保持します。
空文字列はデフォルトのフォントタイプだけがサポートされていることを示します。
本プロパティは**Open**により空文字列に初期化されます。

MapCharacterSet プロパティ R/W

型　　**bool**

説明　　文字のマッピング機能を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	マッピングはサポートしていません。

本プロパティは書き換えることができません。
また、本プロパティは**Open**により*false*に初期化されます。

MapMode プロパティ R/W

型　　**MapMode**

説明　　プリンターのマッピングモードを示します。
マッピングモードは他のプロパティで使用されるラインの高さや行間を示すような尺度の単位を定義します。

下記のマップモードをサポートしています。()内の値は、単位あたりをdot換算した値です。

パラメータ	意味
MapMode.Dots	プリンターのドット幅0.125mm（1 dot）
MapMode.English	0.001インチ（0.203 dots）
MapMode.Metric	0.01ミリメータ（0.08 dots）
MapMode.Twips	1インチの1/1440（0.1411 dots）

マッピングモード毎に下記の計算式によって単位の変換を行います。

パラメータ	変換
MapMode.Dots	変換しない
MapMode.English	k=1/1000 ■*MapMode.Dots->MapMode.English*変換 english=dot/(dpi×k) ■*MapMode English->MapMode.Dots*変換 dot=english×dpi×k
MapMode.Metric	k=1/100、mmpi=25.4 ■*MapMode.Dots->MapMode.Metric*変換 metric=(mmpi×dot)/(dpi×k) ■*MapMode.Metric->MapMode.Dots*変換 dot=(metric×dpi×k)/mmpi
MapMode.Twips	k=1/1440 ■*MapMode.Dots->MapMode.Twips*変換 twips=dot/(dpi×k) ■*MapMode.Twips->MapMode.Dots*変換 dot=twips×dpi×k

MapModeは各プロパティの表示上の単位だけを変更するので、内部処理は**MapMode**に関わらず、すべてドット単位で行われます。
このため、値の丸め誤差が累積することはありません。
ドット値からマップモード値に変換する場合は、小数点以下を切り上げます。また、マップモード値からドット値に変換する場合は、小数点以下を切り捨てます。

MapModeを設定すると、**RecLineSpacing**、**RecLineHeight**、**PageModeArea**、**PageModePrintArea**、**PageModeHorizontalPosition**及び**PageModeVerticalPosition**も変化します。

本プロパティは**Open**後、最初にデバイスをイネーブルにした時に*MapMode.Dots*に初期化されます。

PageModeArea プロパティ

型　　**System.Drawing.Point**

説明　　**PageModeStation**に指定したステーションのページモード領域を、**MapMode**で指定した単位で保持します。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。*PrinterStation.Receipt*を指定した場合、本プロパティには下記の値が設定されます。

MP-B21L

RecLineWidth	**MapMode=*MapMode.Dots* の時の値**
168	*Point.X*=168、*Point.Y*=2400
176	*Point.X*=176、*Point.Y*=2400
192	*Point.X*=192、*Point.Y*=2400
208	*Point.X*=208、*Point.Y*=2400
224	*Point.X*=224、*Point.Y*=2400
240	*Point.X*=240、*Point.Y*=2400
256	*Point.X*=256、*Point.Y*=2400
272	*Point.X*=272、*Point.Y*=2400
288	*Point.X*=288、*Point.Y*=2400
304	*Point.X*=304、*Point.Y*=2400
320	*Point.X*=320、*Point.Y*=2400
336	*Point.X*=336、*Point.Y*=2400
352	*Point.X*=352、*Point.Y*=2400
360	*Point.X*=360、*Point.Y*=2400
368	*Point.X*=368、*Point.Y*=2400
384	*Point.X*=384、*Point.Y*=2400

MP-B30L

RecLineWidth	**MapMode=*MapMode.Dots* の時の値**
360	*Point.X*=360、*Point.Y*=2400
368	*Point.X*=368、*Point.Y*=2400
384	*Point.X*=384、*Point.Y*=2400
400	*Point.X*=400、*Point.Y*=2400
416	*Point.X*=416、*Point.Y*=2400
432	*Point.X*=432、*Point.Y*=2400
448	*Point.X*=448、*Point.Y*=2400
464	*Point.X*=464、*Point.Y*=2400
480	*Point.X*=480、*Point.Y*=2400
496	*Point.X*=496、*Point.Y*=2400
512	*Point.X*=512、*Point.Y*=2400
528	*Point.X*=528、*Point.Y*=2400

RecLineWidth	MapMode=*MapMode.Dots* の時の値
544	*Point.X*=544、*Point.Y*=2400
560	*Point.X*=560、*Point.Y*=2400
576	*Point.X*=576、*Point.Y*=2400

MP-B30

RecLineWidth	MapMode=*MapMode.Dots* の時の値
576	*Point.X*=576、*Point.Y*=2400

本プロパティは**Open**により{*Point.X*=0、*Point.Y*=0}に初期化されます。

PageModeDescriptor プロパティ

型　**PageModeDescriptors**

説明　**PageModeStation**に指定したステーションで利用可能なページモード機能を下記の値の論理和で示します。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。*PrinterStation.Receipt*が指定された場合、本プロパティには*PageModeDescriptors.Bitmap*、*PageModeDescriptors.BitmapRotate*、*PageModeDescriptors.Barcode*及び*PageModeDescriptors.BarcodeRotate*の論理和が設定されます。

値	意味
PageModeDescriptors.Barcode	**PageModeStation**に指定したステーションで、バーコード印刷ができます。
PageModeDescriptors.BarcodeRotate	**PageModeStation**に指定したステーションで、バーコードの回転印刷ができます。
PageModeDescriptors.Bitmap	**PageModeStation**に指定したステーションで、ビットマップ印刷ができます。
PageModeDescriptors.BitmapRotate	**PageModeStation**に指定したステーションで、ビットマップの回転印刷ができます。

本プロパティは**Open**により*PageModeDescriptors.None*に初期化されます。

PageModeHorizontalPosition プロパティ R/W

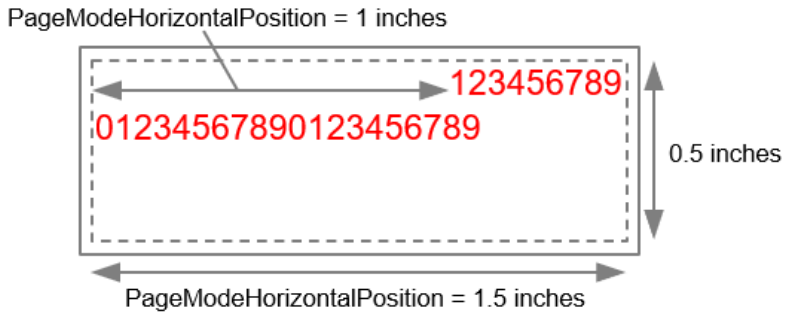
型　**int**

説明　ページモード印刷領域内の印刷開始位置を水平方向に補正するためのオフセット値です。
MapModeに指定した単位で表記します。
水平方向とは**PageModePrintDirection**で設定した印刷方向と同じ方向を指します。
本プロパティは現在位置ではなくて、最後に指定した水平方向のオフセット値を返します。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。指定しない場合、*PrinterStation.Receipt*を指定するまで0を返します。

PageModeHorizontalPositionの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.MapMode=MapMode.English;
myptr.PageModeStation=PrinterStation.Receipt;
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.PageMode);
// Set print area to 1.5 inches by 0.5 inches
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(0,0,1500,500);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.LeftToRight;
myptr.PageModeHorizontalPosition=1000;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"12345678901234567890123456789¥n");
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.Normal);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



本プロパティは**Open**により0に初期化されます。

PageModePrintArea プロパティ R/W

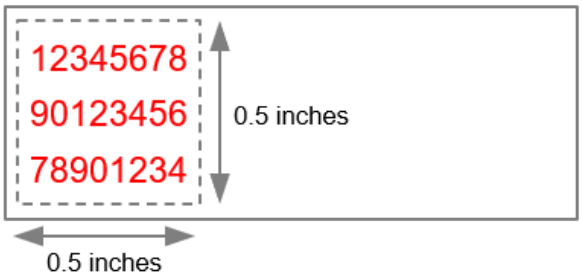
型　　**System.Drawing.Rectangle**

説明　　ページモード印刷領域を指定します。
MapModeで定義された単位で表記します。
PageModePrintAreaのサイズは、**PageModeArea**より大きく取ることはできません。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。指定しない場合、*PrinterStation.Receipt*を指定するまで*Rectangle.Empty*を返します。

PageModePrintAreaの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.MapMode=MapMode.English;
myptr.PageModeStation=PrinterStation.Receipt;
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.PageMode);
// Set print area to half inch square block
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(0,0,500,500);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.LeftToRight;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"12345678901234567890123456789¥n");
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.Normal);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



本プロパティは**Open**により｛*Rectangle.x*=0、*Rectangle.y*=0、*Rectangle.width*=0、*Rectangle.height*=0｝に初期化されます。

PageModePrintDirection プロパティ R/W

型　　**PageModePrintDirection**

説明　　ページモード印刷領域の印刷方向を指定します。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。指定しない場合、*PrinterStation.Receipt*を指定するまで*PageModePrintDirection.None*を返します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

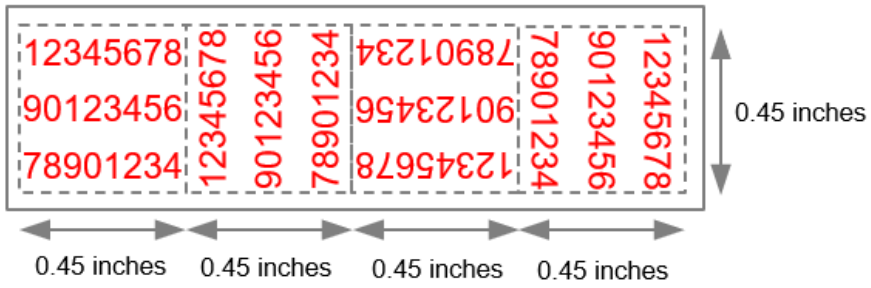
値	意味
PageModePrintDirection.BottomToTop	左90度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の左下隅を始点に、下から上方向へ印刷します。
PageModePrintDirection.LeftToRight	通常の印刷方向です。 ページモード印刷領域の左上隅を始点に、左から右方向へ印刷します。
PageModePrintDirection.None	印刷方向は指定されていません。
PageModePrintDirection.RightToLeft	180度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の右下隅を始点に、右から左方向へ印刷します。
PageModePrintDirection.TopToBottom	右90度の回転印刷です。 ページモード印刷領域の右上隅を始点に、上から下方向へ印刷します。

本プロパティを変更すると、**PageModeHorizontalPosition**と**PageModeVerticalPosition**で示される印刷開始点の補正方向も変化します。本プロパティの変更は、現在編集中のページモード印刷領域に対してのみ効果があります。ページモード印刷領域を切り替えることで、文字の回転方向を組み合わせたレシートの印刷ができます。

具体例を示します。

```
myptr.MapMode=MapMode.English;
myptr.PageModeStation=PrinterStation.Receipt;
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.PageMode);
// Set print area to half inch square block
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(0,0,450,450);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.LeftToRight;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"12345678901234567890123456789¥n");
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(450,0,450,450);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.BottomToTop;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"12345678901234567890123456789¥n");
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(900,0,450,450);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.RightToLeft;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"12345678901234567890123456789¥n");
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(1350,0,450,450);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.TopToBottom;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"12345678901234567890123456789¥n");
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.Normal);
```

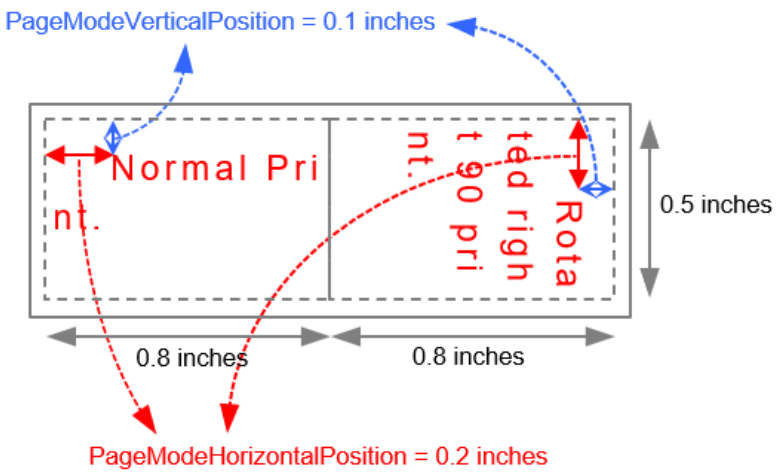
上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



同様に文字を回転させることもできます。

```
myptr.MapMode=MapMode.English;
myptr.PageModeStation=PrinterStation.Receipt;
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.PageMode);
myptr.PageMode VerticalPosition=100;
myptr.PageModeHorizontalPosition=200;
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(0,0,800,500);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.LeftToRight;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"Normal print.¥n");
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(800,0,800,500);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.TopToBottom;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"Rotated right 90 print.¥n");
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.Normal);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります。



本プロパティは**Open**により*PageModePrintDirection.None*に初期化されます。
また、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*が指定された場合、
*PageModePrintDirection.LeftToRight*が設定されます。

PageModeStation プロパティ R/W

型　　**PrinterStation**

説明　　ページモード機能の対象とするステーションを指定します。
ページモード機能のプロパティやメソッドにアクセスする前に、必ず本プロパティに*PrinterStation.Receipt*を指定してください。

本プロパティは**Open**により*PrinterStation.None*に初期化されます。

PageModeVerticalPosition プロパティ R/W

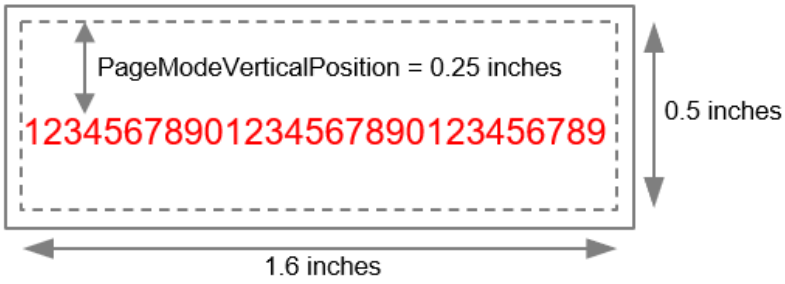
型　　**int**

説明　　**PageModeStation**に指定したステーションで、ページモード印刷領域内の印刷開始位置を垂直方向に補正するためのオフセット値です。
MapModeに指定した単位で表記します。
垂直方向とは**PageModePrintDirection**で設定した印刷方向に対して垂直な方向です。本プロパティは現在位置ではなく、最後に指定した垂直方向のオフセット値を返します。
本プロパティにアクセスする前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。指定しない場合、*PrinterStation.Receipt*を指定するまで0を返します。

PageModeVerticalPositionの使い方を、下記のコード記述例で示します。

```
myptr.MapMode=MapMode.English;
myptr.PageModeStation=PrinterStation.Receipt;
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.PageMode);
// Set print area to 1.6 inches by 0.5 inches
myptr.PageModePrintArea=new System.Drawing.Point(0,0,1600,500);
myptr.PageModePrintDirection=PageModePrintDirection.LeftToRight;
myptr.PageModeVerticalPosition=250;
myptr.PrintNormal(PrinterStation.Receipt,"12345678901234567890123456789¥n");
myptr.PageModePrint(PageModePrintControl.Normal);
```

上記のコードを記述した場合、下記のレシート印刷結果となります



本プロパティは**Open**により0に初期化されます。

RecBarCodeRotationList プロパティ

型　　**Rotation[]**

説明　　レシートのバーコードが回転できる方向を**Rotation**配列で示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
Rotation.Left90	バーコードは左90度に回転印刷できます。
Rotation.Normal	バーコードは通常の方向に印刷できます。
Rotation.Right90	バーコードは右90度に回転印刷できます。
Rotation.Rotate180	バーコードは180度(倒立)に回転印刷できます。

本プロパティは**Open**により｛*Rotation.Normal*，*Rotation.Right90*，*Rotation.Left90*，*Rotation.Rotate180*｝に初期化されます。

RecBitmapRotationList プロパティ

型　　**Rotation[]**

説明　　レシートのビットマップが回転できる方向を**Rotation**配列で示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
Rotation.Left90	ビットマップは左90度に回転印刷できます。
Rotation.Normal	ビットマップは通常の方向に印刷できます。
Rotation.Right90	ビットマップは右90度に回転印刷できます。
Rotation.Rotate180	ビットマップは180度(倒立)に回転印刷できます。

本プロパティは**Open**により｛*Rotation.Normal*，*Rotation.Right90*，*Rotation.Left90*，*Rotation.Rotate180*｝に初期化されます。

RecCartridgeState プロパティ

型　　**PrinterCartridgeStates**

説明　　現在選択されているレシートのカートリッジの状態を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
PrinterCartridgeStates.Unknown	カートリッジ状態通知機能をサポートしていません。

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に*PrinterCartridgeStates.Unknown*に初期化されます。

RecCurrentCartridge プロパティ R/W

型　　**PrinterColors**

説明　　現在選択されているレシートのカートリッジを指定します。
本プロパティには下記に示す値が設定されます。

値	意味
PrinterColors.Primary	プライマリカートリッジが選択されています。

本プロパティは書き換えることができません。本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に*PrinterColors.Primary*に初期化されます。

RecEmpty プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートの紙有り/無しを通知します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	紙有りです。
true	紙無しです。

本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に初期化され、現状を保持します。**CoverOpen**が*true*のとき**RecEmpty**は更新されません。

RecLetterQuality プロパティ R/W

型　　**bool**

説明　　プリンターの印字モードを示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。

値	意味
false	高速モードで印字されます。
true	高品質モードで印字されます。

設定プログラムの[PrintQuality]が「RecLetterQuality有効」に設定されている場合、本プロパティは有効となり、印字モードに従ってプリンターの印字速度設定を決定します。それ以外の設定プログラムの印字速度設定については、「取扱説明書」を参照してください。

本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に*false*に初期化されます。

RecLineChars プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　レシートの一行に印字される半角文字の文字数です。
指定された値により下記のフォントで印字されます。

MP-B21L

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
168	10	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	12		2ドット	
	12		1ドット	
	14（初期値）		0ドット	
	16	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	18		1ドット	
	21		0ドット	
176	11	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	12		2ドット	
	13		1ドット	
	14（初期値）		0ドット	
	17	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	19		1ドット	
	22		0ドット	
192	12	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	13		2ドット	
	14		1ドット	
	16（初期値）		0ドット	
	19	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	21		1ドット	
	24		0ドット	
208	13	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	14		2ドット	
	16		1ドット	
	17（初期値）		0ドット	
	20	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	23		1ドット	
	26		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
224	14	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	16		2ドット	
	17		1ドット	
	18（初期値）		0ドット	
	22	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	24		1ドット	
	28		0ドット	
240	15	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	17		2ドット	
	18		1ドット	
	20（初期値）		0ドット	
	24	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	26		1ドット	
	30		0ドット	
256	16	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	18		2ドット	
	19		1ドット	
	21（初期値）		0ドット	
	25	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	28		1ドット	
	32		0ドット	
272	17	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	19		2ドット	
	20		1ドット	
	22（初期値）		0ドット	
	27	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	30		1ドット	
	34		0ドット	
288	18	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	20		2ドット	
	22		1ドット	
	24（初期値）		0ドット	
	28	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	32		1ドット	
	36		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
304	19	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	21		2ドット	
	23		1ドット	
	25（初期値）		0ドット	
	30	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	33		1ドット	
	38		0ドット	
320	20	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	22		2ドット	
	24		1ドット	
	26（初期値）		0ドット	
	32	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	35		1ドット	
	40		0ドット	
336	21	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	24		2ドット	
	25		1ドット	
	28（初期値）		0ドット	
	33	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	37		1ドット	
	42		0ドット	
352	22	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	25		2ドット	
	27		1ドット	
	29（初期値）		0ドット	
	35	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	39		1ドット	
	44		0ドット	
360	22	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	25		2ドット	
	27		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	40		1ドット	
	45		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
368	23	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	26		2ドット	
	28		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	40		1ドット	
	45		0ドット	
384	24	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	27		2ドット	
	29		1ドット	
	32（初期値）		0ドット	
	38	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	42		1ドット	
	48		0ドット	

MP-B30L

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
360	22	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	25		2ドット	
	27		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	40		1ドット	
	45		0ドット	
368	23	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	26		2ドット	
	28		1ドット	
	30（初期値）		0ドット	
	36	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	40		1ドット	
	46		0ドット	
384	24	フォントA (24ドット×12ドット)	4ドット	24
	27		2ドット	
	29		1ドット	
	32（初期値）		0ドット	
	38	フォントB (16ドット×8ドット)	2ドット	16
	42		1ドット	
	48		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
400	25	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	28		2ドット	
	30		1ドット	
	33（初期値）		0ドット	
	40	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	44		1ドット	
	50		0ドット	
416	26	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	29		2ドット	
	32		1ドット	
	34（初期値）		0ドット	
	41	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	46		1ドット	
	52		0ドット	
432	27	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	30		2ドット	
	33		1ドット	
	36（初期値）		0ドット	
	43	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	48		1ドット	
	54		0ドット	
448	28	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	32		2ドット	
	34		1ドット	
	37（初期値）		0ドット	
	44	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	49		1ドット	
	56		0ドット	
464	29	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	33		2ドット	
	35		1ドット	
	38（初期値）		0ドット	
	46	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	51		1ドット	
	58		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
480	30	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	34		2ドット	
	36		1ドット	
	40（初期値）		0ドット	
	48	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	53		1ドット	
	60		0ドット	
496	31	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	35		2ドット	
	38		1ドット	
	41（初期値）		0ドット	
	49	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	55		1ドット	
	62		0ドット	
512	32	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	36		2ドット	
	39		1ドット	
	42（初期値）		0ドット	
	51	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	56		1ドット	
	64		0ドット	
528	33	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	37		2ドット	
	40		1ドット	
	44（初期値）		0ドット	
	52	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	58		1ドット	
	66		0ドット	
544	34	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	38		2ドット	
	41		1ドット	
	45（初期値）		0ドット	
	54	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	60		1ドット	
	68		0ドット	

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
560	35	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	40		2ドット	
	43		1ドット	
	46（初期値）		0ドット	
	56	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	62		1ドット	
	70		0ドット	
576	36	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	41		2ドット	
	44		1ドット	
	48（初期値）		0ドット	
	57	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	64		1ドット	
	72		0ドット	

MP-B30

RecLineWidth	RecLineChars	印字フォント （高さ×幅）	文字間 スペース	RecLineHeight
576	36	フォントA （24ドット×12ドット）	4ドット	24
	41		2ドット	
	44		1ドット	
	48（初期値）		0ドット	
	57	フォントB （16ドット×8ドット）	2ドット	16
	64		1ドット	
	72		0ドット	

この値がサポートされている行文字幅に変われば、文字幅はその指定された値に設定されます。正確な幅がサポートできない場合、サポートされている行文字幅の中で、指定された値より大きく、かつ最も近い値に設定されます。（例えば、紙幅：48mm/384dotsで40をセットした場合、サービスオブジェクトは**RecLineChars**=42を選択します）

文字幅がサポートできない場合は、エラーが通知されます。（例えば、紙幅：48mm/384dotsで60をセットするとエラーとなります。）

RecLineCharsを設定することにより、**RecLineHeight**、**RecLineSpacing**も更新されます。

本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。 本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に、設定プログラムの[Number of Characters per Line]で設定されている値に初期化されます。

RecLineCharsList プロパティ

型　　**int[]**

説明　　レシートの一行に印字される半角文字の文字数設定を数値配列で示します。

MP-B21L

RecLineWidth	値
168	10, 12, 14, 16, 18, 21
176	11, 12, 13, 14, 17, 19, 22
192	12, 13, 14, 16, 19, 21, 24
208	13, 14, 16, 17, 20, 23, 26
224	14, 16, 17, 18, 22, 24, 28
240	15, 17, 18, 20, 24, 26, 30
256	16, 18, 19, 21, 25, 28, 32
272	17, 19, 20, 22, 27, 30, 34
288	18, 20, 22, 24, 28, 32, 36
304	19, 21, 23, 25, 30, 33, 38
320	20, 22, 24, 26, 32, 35, 40
336	21, 24, 25, 28, 33, 37, 42
352	22, 25, 27, 29, 35, 39, 44
360	22, 25, 27, 30, 36, 40, 45
368	23, 26, 28, 30, 36, 40, 46
384	24, 27, 29, 32, 38, 42, 48

MP-B30L

RecLineWidth	値
360	22, 25, 27, 30, 36, 40, 45
368	23, 26, 28, 30, 36, 40, 46
384	24, 27, 29, 32, 38, 42, 48
400	25, 28, 30, 33, 40, 44, 50
416	26, 29, 32, 34, 41, 46, 52
432	27, 30, 33, 36, 43, 48, 54
448	28, 32, 34, 37, 44, 49, 56
464	29, 33, 35, 38, 46, 51, 58
480	30, 34, 36, 40, 48, 53, 60
496	31, 35, 38, 41, 49, 55, 62
512	32, 36, 39, 42, 51, 56, 64
528	33, 37, 40, 44, 52, 58, 66
544	34, 38, 41, 45, 54, 60, 68
560	35, 40, 43, 46, 56, 62, 70

RecLineWidth	値
576	36, 41, 44, 48, 57, 64, 72

MP-B30

RecLineWidth	値
576	36, 41, 44, 48, 57, 64, 72

本プロパティは**Open**により初期化されます。

RecLineHeight プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　レシートの印字行の高さです。
MapModeで定義された単位で表記します。
本プロパティは書き換えることができません。値は、**RecLineChars**により自動的に設定されます。

RecLineCharsが変わると、**RecLineHeight**は、設定された**RecLineChars**に対応する印字フォントの高さに更新されます。**RecLineChars**と印字フォントの関係は**RecLineChars**を参照してください。

RecLineHeightと印字フォントの関係は下記の通りです。
表中の値は**MapMode**=*MapMode.Dots*のときの値です。

印字フォント（高さ×幅）	RecLineHeight
フォントA（24ドット×12ドット）	24
フォントB（16ドット× 8ドット）	16

本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に、設定プログラムの[Number of Characters per Line]で設定されている値によって、上記に示す値の内の1つに初期化されます。

RecLineSpacing プロパティ R/W

型　　**int**

説明　　縦一倍角文字のレシートの改行量を示します。すなわち、印字行の高さと行間スペースの高さの両方を加えたものです。
MapModeで定義された単位で表記します。表中の値は**MapMode**=*MapMode.Dots*のときの値です。

RecLineHeightと**RecLineSpacing**との関係は下記の通りです。設定可能範囲外の値を指定した場合は、*ErrorCode.Illegal*がスローされ、プロパティは設定されません。

RecLineHeight	RecLineSpacing	初期値
24	24 ～ 255	30
16	16 ～ 255	

本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に、設定プログラムの[Number of Effective Dots(dots)]で設定されている改行量の値に初期化されます。

RecLinesToPaperCut プロパティ

型　　**int**

説明　　レシートをカットする前に、用紙を印刷方向に送る行数を示します。
プリンターの印字ヘッドとティアバーの距離を**RecLineSpacing**が示す改行量で割った値が設定されていますので、**RecLineSpacing**を変更すると本プロパティが変わります。

[計算式]
RecLinesToPaperCut = 43 / **RecLineSpacing**

例：
RecLineSpacingが31の場合（**MapMode** = *MapMode.Dots*のときの値）
RecLinesToPaperCut = 43 / 31 = 1.3 ･･･ = 2
（小数点以下切り上げ）

本プロパティは**Open**により設定プログラムの[Number of Characters per Line]を用いた上記の計算によって初期化されます。

RecLineWidth プロパティ

型　　**int**

説明　　**RecLineChars**の一行幅を示します。
MapModeで定義された単位で表記します。
表中の値は**MapMode**=*MapMode.Dots*のときの値です。

MP-B21L

有効ドット数（dots）
168
176
192
208
224
240

有効ドット数（dots）
256
272
288
304
320
336
352
360
368
384

MP-B30L

有効ドット数(dots)
360
368
384
400
416
432
448
464
480
496
512
528
544
560
576

MP-B30

有効ドット数(dots)
576

MP-B21L及びMP-B30Lは、本プロパティは設定プログラムの設定によって、初期値の変更が可能です。
本プロパティはデバイスをイネーブルにした際に、設定プログラムの[PrintWidth]で設定されている値によって、上記に示す値の内の1つに初期化されます。

RecNearEnd プロパティ

型　　**bool**

説明　　レシートのニアエンド状態を通知します。
本プロパティは常に*false*を示します。

RecSidewaysMaxChars プロパティ

型　　**int**

説明　　サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、各行に印刷される半角文字の最大文字数です。

［計算式］
RecSidewaysMaxChars
= **PageModeArea**の縦最大高さ / (印字フォント / 2 ＋ 文字間スペース)

例：
PageModeAreaが"384,2400"、**RecLineChars**が48の場合
RecSidewaysMaxChars = 2400 / ((24 / 2) + 0) = 200
（小数点以下切捨て）

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、**PageModeArea**と印字フォントにより、上記の計算によって初期化されます。

RecSidewaysMaxLines プロパティ

型　　**int**

説明　　サイドウェイモード（左90度または右90度回転印刷）において、印刷される最大行数です。

［計算式］
RecSidewaysMaxLines
= **(RecLineWidth** － **RecLineHeight)** / **RecLineSpacing** ＋ 1

例：
RecLineWidthが384、**RecLineHeight**が24、**RecLineSpacing**が30の場合
RecSidewaysMaxLines = (384 － 24) / 30 ＋ 1 = 13
（小数点以下切捨て）

本プロパティは**Open**により最初にデバイスをイネーブルにした際に、**RecLineWidth**、**RecLineSpacing**と**RecLineHeight**により、上記の計算によって初期化されます。

RotateSpecial プロパティ R/W

型　　**Rotation**

説明　　バーコードの回転方向を示します。
本プロパティの示す値は下記の通りです。
RotatePrintで*rotation*が*PrintRotation.Barcode*ならば、*rotation*の回転方向を優先します。

値	意味
Rotation.Left90	左に90度回転（時計と反対回りに）を指定します。
Rotation.Normal	次のバーコードを通常の印字方向で印刷します。
Rotation.Right90	右に90度回転（時計回りに）を指定します。
Rotation.Rotate180	180度回転印刷、つまり、倒立印字を指定します。

本プロパティは**Open**により*Rotation.Normal*に初期化されます。

4.1.5 共通メソッド

PosPrinterの共通メソッドの詳細について示します。
スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

CheckHealth メソッド

形式　**string CheckHealth**(**HealthCheckLevel** *level*);

パラメータ	意味
level	デバイスで実行するヘルスチェックのタイプを指定します。

・*level*の値

値	意味
HealthCheckLevel.External	デバイスを使用して完全なテストを実行します。 プリンターのROMバージョンID、**ServiceObjectVersion**、**DeviceName**を印字します。
HealthCheckLevel.Interactive	デバイスとの対話テストを実行します。 モーダルダイアログボックスを表示して、デバイスを使用した完全なテストの実行とテストの結果を表示します。
HealthCheckLevel.Internal	デバイスを物理的に使用しないヘルスチェックを実行します。

説明　デバイスの状態をテストします。
本メソッドの結果は**CheckHealthText**に格納されます。
CheckHealthは常に同期します。

Claim メソッド

形式　**void Claim**(**int** *timeout*);

パラメータ	意味
timeout	排他アクセス権を獲得するまでの最大待ち時間（ミリ秒）を指定します。 0の場合、メソッドはデバイスの排他アクセスが獲得できなかった場合でも、その結果を直ちに戻します。 *WaitForever*(-1)が設定されている場合は、メソッドは排他アクセス権が獲得できるまで必要なだけ待ちます。

説明　デバイスに対して排他アクセスを要求します。
PosPrinterデバイスは、排他アクセス権を獲得しなければ使用することはできません。
成功すると**Claimed**は*true*に設定されます。
電源オフまたはケーブル切断時は**Claim**できません。

ClearOutput メソッド

形式　**void ClearOutput**();

説明　バッファリングされているデバイス出力をすべてクリアします。
保留になっていた出力エラーイベント（**FreezeEvents**が*false*に設定されるのを待ち合わせている）もクリアされます。

Close メソッド

形式　**void Close**();

説明　デバイスとそのリソースを解放します。
DeviceEnabledが*true*の場合、まずデバイスがディセーブルにされます。
Claimedが*true*の場合、まずデバイスの排他アクセスが解除されます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

CompareFirmwareVersion メソッド

本メソッドはサポートしていません。スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

形式　**CompareFirmwareResult CompareFirmwareVersion**(**string** *firmwareFileName*);

DirectIO メソッド

形式　**DirectIOData DirectIO**(**int** *command*, **int** *data*, **object** *obj*);

パラメータ	意味
command	コマンド番号。サービスオブジェクトが割り当てた特定値です。
data	付加的な数値データ。 値はコマンド番号とサービスオブジェクトによって変化します。
obj	サービスオブジェクトが提供する付加的なデータ。 値はコマンド番号とサービスオブジェクトが何を送信するかによって変化します。

説明　下記の機能をサポートしています。
・残りメモリ容量応答取得
・国際文字の変更
・ステータス応答
DirectIOは常に同期します。

- **残りメモリ容量応答取得**

  プリンターコマンド「NVグラフィックスのメモリ残り容量の送信」を発行し、そのレスポンスを数値で返します。
  応答データは*DirectIOData.data*に格納されます。

パラメータ	説明
command	3
data	*null*
obj	*null*

- **国際文字の変更**

  国際文字を選択します。
  国際文字を変更する場合は、**CharacterSet**を設定後に本メソッドで国際文字を選択してください。
  国際文字を変更後に**CharacterSet**を932に変更すると、国際文字は日本に設定されます。
  国際文字を変更後に**CharacterSet**を932以外に変更すると、国際文字はアメリカに設定されます。

パラメータ	説明
command	201
data	国際文字番号*n* 0≦*n*≦12 *n*に対応する国名は下記の通りです。 0:アメリカ (USA) 1:フランス (France) 2:ドイツ (Germany) 3:イギリス (United Kingdom) 4:デンマークⅠ (Denmark I) 5:スウェーデン (Sweden) 6:イタリア (Italy) 7:スペインⅠ (Spain I) 8:日本 (Japan) 9:ノルウェー (Norway) 10:デンマークⅡ (Denmark II) 11:スペインⅡ (Spain II) 12:ラテンアメリカ (Latin America)
obj	*null*

- **ステータス応答**

  紙無しセンサのステータスを数値で返します。

パラメータ	説明
command	501
data	1
obj	*null*

応答データは*DirectIOData.data*に格納されます。

値	状態
0	紙有り
1	紙無し

Open メソッド

形式　**void Open**();

説明　デバイスをオープンします。
Openが成功すると共通プロパティ、その他のクラス固有プロパティが初期化されます。

Release メソッド

形式　**void Release**();

説明　デバイスの排他アクセスを解除します。
DeviceEnabledが*true*で排他デバイスならば、デバイスはディセーブルにされます。
イベント処理中（イベントハンドラ内）では実行しないでください。

ResetStatistic(string) メソッド

形式　**void ResetStatistic**(**string** *statistic*);

説明　指定されたスタティスティクスを0にリセットします。
リセット可能なスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
ResetStatisticは常に同期します。

ResetStatistics() メソッド

形式　**void ResetStatistics**();

説明　すべてのスタティスティクスを0にリセットします。
リセット可能なスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
ResetStatisticsは常に同期します。

ResetStatistics(StatisticCategories) メソッド

形式　**void ResetStatistics**(**StatisticCategories** *statistics*);

説明　指定されたカテゴリのすべてのスタティスティクスを0にリセットします。
リセット可能なスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
ResetStatisticsは常に同期します。

ResetStatistics(string[]) メソッド

形式　**void ResetStatistics**(**string[]** *statistics*);

説明　指定されたスタティスティクスを0にリセットします。
リセット可能なスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
ResetStatisticsは常に同期します。

RetrieveStatistic(string) メソッド

形式　**string RetrieveStatistic**(**string** *statistic*);

説明　指定されたデバイススタティスティクスを取得します。
*statistic*には取得するスタティスティクスを指定します。
RetrieveStatisticは成功すると、スタティスティクスのXML文字列を返します。
取得するスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
RetrieveStatisticは常に同期します。

RetrieveStatistics() メソッド

形式　**string RetrieveStatistics**();

説明　すべてのデバイススタティスティクスを取得します。
RetrieveStatisticsは成功すると、スタティスティクスのXML文字列を返します。
取得するスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
RetrieveStatisticsは常に同期します。

RetrieveStatistics(StatisticCategories) メソッド

形式　**string RetrieveStatistics**(**StatisticCategories** *statistics*);

説明　指定されたカテゴリのスタティスティクスを取得します。
*statistics*にはアプリケーションが取得したいスタティスティクスのカテゴリを格納します。
RetrieveStatisticsは成功すると、スタティスティクスのXML文字列を返します。
取得するスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
RetrieveStatisticsは常に同期します。

RetrieveStatistics(string[]) メソッド

形式　**string RetrieveStatistics**(**string[]** *statistics*);

説明　指定されたデバイススタティスティクスを取得します。
*statistic*には取得するスタティスティクスを指定します。
RetrieveStatisticsは成功すると、スタティスティクスのXML文字列を返します。
取得するスタティスティクスについては、「付録 B Statistics」を参照してください。
RetrieveStatisticsは常に同期します。

UpdateFirmware メソッド

本メソッドはサポートしていません。スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

形式　　**void UpdateFirmware**(**string** *firmwareFileName*);

UpdateStatistic メソッド

本メソッドはサポートしていません。スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

形式　　**void UpdateStatistic**(**string** *name*, **object** *value*);

UpdateStatistics(Statistic[]) メソッド

本メソッドはサポートしていません。スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

形式　　**void UpdateStatistics**(**Statistic[]** *statistics*);

UpdateStatistics(StatisticCategories, Object) メソッド

本メソッドはサポートしていません。スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

形式　　**void UpdateStatistics**(**StatisticCategories** *statistics*, **object** *value*);

4.1.6 専用メソッド

PosPrinterの専用メソッドの詳細について示します。
サポートしていない専用メソッドの例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

ClearPrintArea メソッド

形式　**void ClearPrintArea**();

説明　**PageModePrintArea**で定義したページモード印刷領域上の印刷データを消去します。ページモード領域全体を消去したい場合は、**PageModeArea**で示される領域と同等の領域を**PageModePrintArea**に指定し**ClearPrintArea**を呼び出します。本メソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。

MarkFeed メソッド

形式　**MarkFeed**(**MarkFeedType** *type*);

パラメータ	意味
type	マークを感知した用紙の制御の種類を示します。

・*type*の値

値	意味
PrinterMarkFeeds.Takeup	マークまたはギャップ検出後、用紙を取り出せる位置までフィードします。 紙送り長さはプリンターのメモリスイッチMS21～22（マーク検出カット位置補正）の長さになります。 紙送り長さの初期値は下記の通りです。 MP-B21Lは、122ドット（15.2 mm）です。 MP-B30Lは、125ドット（15.6 mm）です。 MP-B30は、160ドット（20 mm）です。
PrinterMarkFeeds.Cutter	マークまたはギャップ検出後、用紙をカット位置までフィードします。 （*PrinterMarkFeeds.Takeup*と同じ位置までフィードします。）
PrinterMarkFeeds.CurrentTof	MP-B21Lのみサポートします。 マーク紙を印字位置までバックフィードします。 *PrinterMarkFeeds.Cutter*でカット位置までマーク紙をフィードし、マーク紙をカットした後に*PrinterMarkFeeds.CurrentTof*でバックフィードすると、次の印字の際にマーク紙の上余白を少なくできます。 紙送り長さは現在の位置から逆方向に23ドット（2.88 mm）です。

値	意味
PrinterMarkFeeds.NextTof	MP-B21L及びMP-B30Lのみサポートします。 次のマークまたはギャップ検出後、用紙を印字位置までフィードします。 紙送り長さはプリンターのメモリスイッチMS26～27（マーク検出印字位置補正）の長さになります。 紙送り長さの初期値は下記の通りです。 MP-B21Lは、122ドット（15.2 mm）です。 MP-B30Lは、125ドット（15.6 mm）です。

説明　　マークまたはギャップ検出ができる用紙を利用するために使用します。

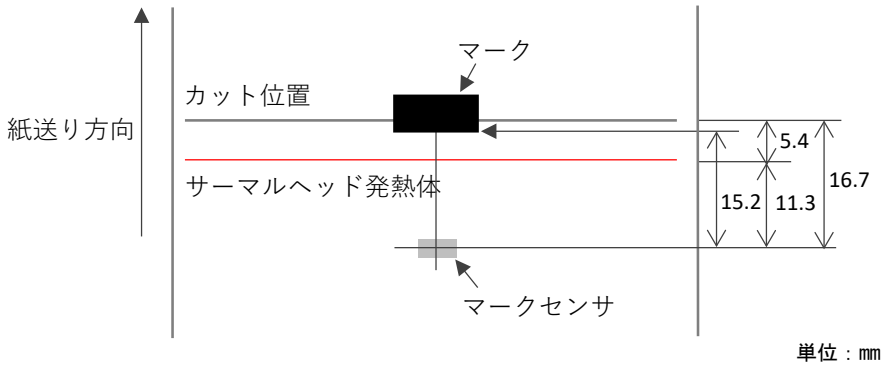
本メソッドは**AsyncMode**が*false*ならば、同期的に実行され、**AsyncMode**が*true*ならば、非同期的に実行されます。

本メソッドは設定プログラムの設定[MarkMode]が有効に設定された場合に利用できます。

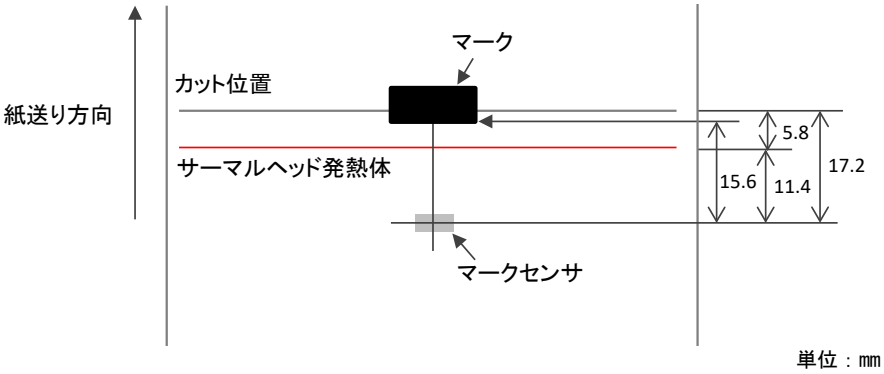
プリンターのメモリスイッチの詳細については、「取扱説明書」を参照してください。
プリンターのメモリスイッチは、「SII Printer Driver for Windows」のインストール時に展開される、「SII Printer Setting Utility for Windows」で変更できます。

センサ位置とプリンターのメモリスイッチMS21～22（マーク検出カット位置補正）、及びMS26～27（マーク検出印字位置補正）の初期値の関係を下図に示します。
プリンターのメモリスイッチが初期値の場合は、*PrinterMarkFeeds.Takeup*のフィード位置、*PrinterMarkFeeds.Cutter*のカット位置、及び*PrinterMarkFeeds.NextTof*の次の印字位置が同じ紙送り長さになります。

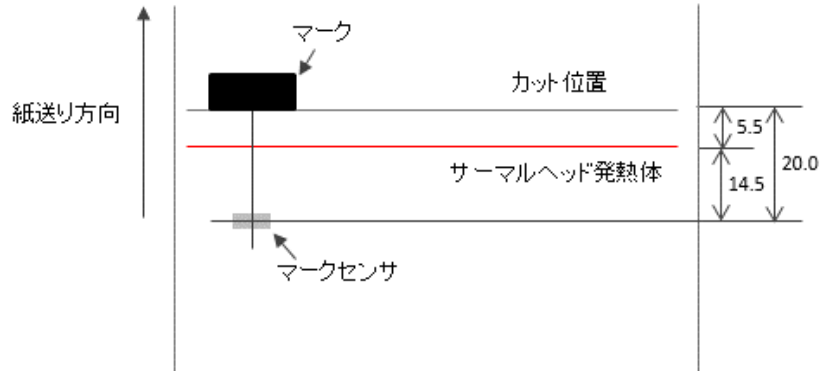
MP-B21L



MP-B30L



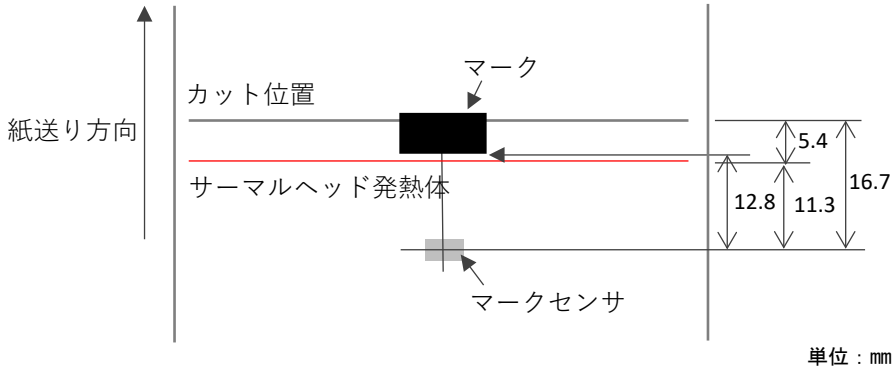
MP-B30



単位：mm

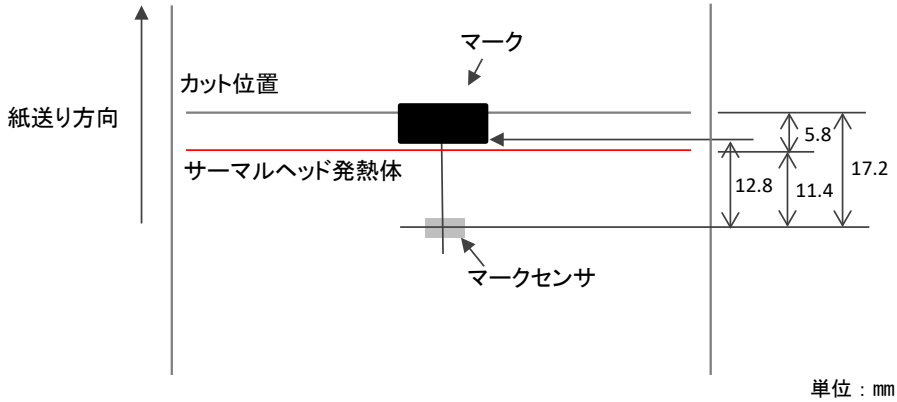
用紙の節約などで、次の印字位置をマークに対して短く設定したい場合は、プリンターのメモリスイッチMS26～27（マーク検出印字位置補正）の値を短く設定します。
例として、プリンターのメモリスイッチMS26～27の値を103ドット（12.8mm）に設定した場合のセンサ位置の関係を下図に示します。

MP-B21L



単位：mm

MP-B30L



単位：mm

注意　マーク付き用紙またはラベル紙の頭出し位置で本メソッドを実行しても、フィードは行いません。

ラベル紙を使用する場合は、印字位置がラベルの中になるようにプリンターのメモリスイッチMS26～27（マーク検出印字位置補正）の値を設定してください。

PageModePrint メソッド

形式　**PageModePrint**(**PageModePrintControl** *control*);

パラメータ	意味
control	ページモード制御の種類を指定します。

・*control*の値

値	意味
PageModePrintControl.Cancel	ページモード印刷領域の印刷データを消去し、何も印刷せずにページモードを終了します。
PageModePrintControl.Normal	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを消去し、ページモードを終了します。
PageModePrintControl.PageMode	ページモードを開始します。
PageModePrintControl.PrintSave	ページモード印刷領域の印刷データを印刷し、その印刷データを保存します。繰り返し印刷する場合に用います。

説明　**PageModeStation**に指定したステーションを対象として、ページモードを開始/終了します。

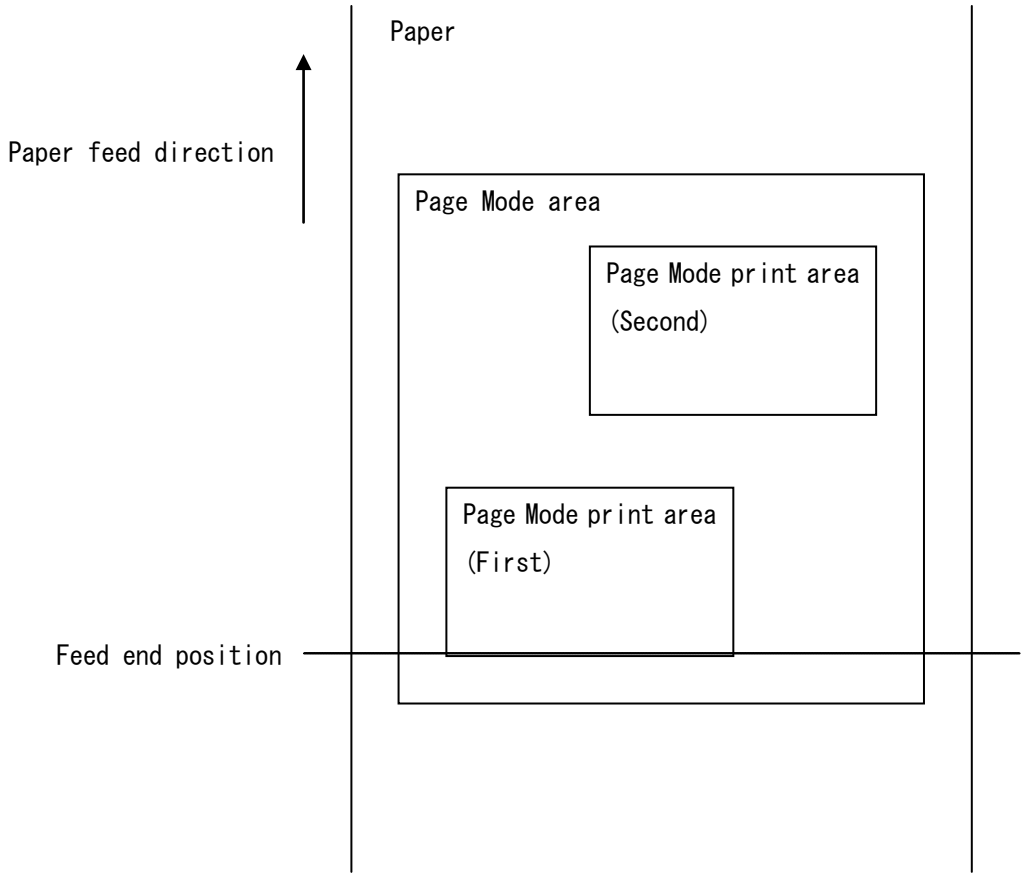
*control*に*PageModePrintControl.PageMode*を指定した場合、ページモードを開始します。
その後、*PageModePrintControl.PrintSave*、*PageModePrintControl.Normal*、*PageModePrintControl.Cancel*を指定して**PageModePrint**が呼び出されるまでの間、**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、または**PrintMemoryBitmap**で印刷データのバッファリングができます。（この間に呼び出されたメソッドは、印刷データをバッファリングするだけで、印刷を開始することはありません。また、**AsyncMode**の設定は、ページモード機能に影響を与えません。それぞれの操作に対して、**OutputId**が割り当てられることも、**OutputCompleteEvent**が通知されることもありません。）

*control*に*PageModePrintControl.PrintSave*を指定した場合、ページモードが継続します。**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、または**PrintMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあれば、それを保存して、印刷します。ページモード領域内に印刷データを追加して、同じレイアウトで印刷したい場合に用います。

*control*に*PageModePrintControl.Normal*を指定した場合、ページモードを終了し、通常の状態へ遷移します。**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、または**PrintMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあれば、それを印刷します。バッファリングした印刷データは保存されません。

*control*に*PageModePrintControl.Cancel*を指定した場合、ページモードを終了し通常の状態へ遷移します。**PrintNormal**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**、または**PrintMemoryBitmap**でバッファリングした印刷データがあっても、それらは印刷されず、保存もされません。

*control*に*PageModePrintControl.Normal* または*PageModePrintControl.PrintSave*を指定して**PageModePrint**が呼び出された時、**PageModePrintArea**で定義されたページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、ページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。複数のページモード印刷領域が定義されていた場合は、それぞれのページモード印刷領域上のすべての印刷データが印刷され、最も下方に配置されているページモード印刷領域の下端まで紙送りされます。（下図を参照してください。）



AsyncModeが*true*であれば非同期的に、*false*であれば同期的に処理されます。
ClearOutputが呼び出されると、ページモードを終了し通常の状態へ遷移します。このとき、バッファリングした印刷データも消去されます。ページモード機能は、トランザクション印刷の中で利用することはできますが、回転印刷の中で利用することはできません。

本メソッドを呼び出す前に、**PageModeStation**に*PrinterStation.Receipt*を指定してください。

PrintBarCode メソッド

形式　**void PrintBarCode**(**PrinterStation** *station*,
string *data*,
BarCodeSymbology *symbology*,
int *height*,
int *width*,
int *alignment*,
BarCodeTextPosition *textPosition*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
data	バーコードの文字列を指定します。
symbology	使用されるバーコードタイプを指定します。 下記の値を参照してください。
height	バーコードの高さを指定します。 **MapMode**で定義された単位で表記します。*MapMode.Dots*の場合、1～255の間で指定してください。 下記のバーコードの*height*は無視され、*width*により自動で設定されます。1～255の間で指定してください。 ・QRコード ・Aztec Code*1 ・GS1 Databar Omni-directional ・GS1 Databar Expanded ・GS1 Databar Expanded Stacked ・GS1 Databar Limited ・GS1 Databar Truncated 下記のバーコードの*height*は無視され、固定値で設定されます。同様に1～255の間で指定してください。 ・GS1 Databar Stacked Omni-directional ・GS1 Databar Stacked **PageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeVerticalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。
width	バーコードの幅を指定します。 **MapMode**で定義された単位で表記します。 実際に印刷されるバーコードの幅は、*width*で指定された幅に収まる最適なものとなります。 *MapMode.Dots*の場合、正立時は1～**RecLineWidth**の間で指定してください。 また**RotateSpecial**や、**RotatePrint**によるバーコードの左右90度回転を行う場合、プリンターの最大値を超えない範囲内で指定してください（プリンターの最大値は**PageModeArea**を参照してください）。 **PageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeHorizontalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。
alignment	バーコードの位置を指定します。 下記の値を参照してください。
textPosition	バーコードに印字するテキストの位置を指定します。 下記の値を参照してください。

*1: MP-B30はサポートしていません。

・*symbology*の値

値	意味
BarCodeSymbology.Codabar	Codabar (NW-7)
BarCodeSymbology.Code128	Code128
BarCodeSymbology.Code128Parsed	Code128 Parsed
BarCodeSymbology.Code39	Code39
BarCodeSymbology.Code93	Code93
BarCodeSymbology.Ean13S	EAN13 (JAN13)補足バーコード付き
BarCodeSymbology.EanJan13	EAN13 (JAN13)
BarCodeSymbology.EanJan8	EAN8 (JAN8)
BarCodeSymbology.Gs1DataBar	GS1 Databar Omni-directional
BarCodeSymbology.Gs1DataBarExpanded	GS1 Databar Expanded
BarCodeSymbology.Gs1DataBarStackedOmnidirectional または *BarCodeSymbology.Other* + 8	GS1 Databar Stacked Omni-directional
BarCodeSymbology.Gs1DataBarExpandedStacked または *BarCodeSymbology.Other* + 9	GS1 Databar Expanded Stacked
BarCodeSymbology.Itf	Interleaved 2 of 5
BarCodeSymbology.Other + 5	QRコード (混在モード)
BarCodeSymbology.Aztec	Aztec Code
BarCodeSymbology.Other + 6	GS1 Databar Limited
BarCodeSymbology.Other + 7	GS1 Databar Stacked
BarCodeSymbology.Other + 10	GS1 Databar Truncated
BarCodeSymbology.Pdf417	PDF417
BarCodeSymbology.Upca	UPC-A
BarCodeSymbology.Upce	UPC-E

・*alignment*の値

値	意味
PrinterBarCodeCenter	中央揃えで印刷されます。
PrinterBarCodeLeft	左寄せで印刷されます。
PrinterBarCodeRight	右寄せ印刷されます。
その他	左端から設定された値分のマージンをとって印刷されます。 **MapMode**で定義された単位で表記します。

RotateSpecial、**RotatePrint**による左右90度回転中、**PageModePrint**によるページモード中は*alignment*の設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

・*textPosition*の値

値	意味
BarCodeTextPosition.Above	バーコードの上にテキストを印字します。
BarCodeTextPosition.Below	バーコードの下にテキストを印字します。
BarCodeTextPosition.None	テキストを印字しません。

指定したプリンターにバーコードを印刷する時に本メソッドを呼び出します。
本メソッドは**AsyncMode**が*false*ならば、同期的に実行され、**AsyncMode**が*true*ならば、非同期的に実行されます。

RotateSpecialがバーコードを回転することを示していれば、バーコードは回転印刷されます。*height*、*width*、*textPosition*は回転前にバーコードに適用されます。例えば、**RotateSpecial**に*Rotation.Left90*を指定して、本メソッドの*textPosition*に*BarCodeTextPosition.Below*を指定して本メソッドを呼び出すと、テキストがバーコードの下に配置され、テキストとバーコードが一緒に左に90度回転して印字されます。

バーコードのクワイエットゾーンは確保されません。バーコードが読み取れることを、実機にて事前に確認してください。
ただし、下記のバーコードのクワイエットゾーンは不要、または確保されます。

- Aztec Code
- GS1 Databar Omni-directional
- GS1 Databar Expanded
- GS1 Databar Stacked Omni-directional
- GS1 Databar Expanded Stacked
- GS1 Databar Limited
- GS1 Databar Stacked
- GS1 Databar Truncated

下記、各バーコードの制限事項について示します。

【Codabar (NW-7)】

パラメータ	制限事項
data	先頭と後尾は'A'～'D'のいずれかを指定してください。 それ以外のデータは、'0'～'9'、'$'、'+'、':'、'-'、'.'、'/'のいずれかを１文字以上指定する必要があります。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=(((6×X)+(2×X×N))×D)+((X×N-X)×D')+(-1×X) 20×D+2×D'-2≦*width*≦72×D+12×D'-6 D：バーコードキャラクタ数 D'：データキャラクタ数(バーコードデータに含まれる'A'～'D'、'+'、'.'、'/'、':'の数) X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X,Nは*width*に応じて自動で設定されます。

【Code128】

パラメータ	制限事項
data	10進数0～105の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。 先頭の1文字は10進数103、104、105で、その後1文字以上のバーコードデータを指定する必要があります。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=X×(((D+2)×11)+2) 22×D+48≦*width*≦66×D+144 D：バーコードキャラクタ数(スタートコード含む) X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

・Code128のキャラクタ構成

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	Code A	Code B	Code C		Code A	Code B	Code C
0	SPACE[*1]	SPACE[*1]	00	53	U	U	53
1	!	!	01	54	V	V	54
2	″	″	02	55	W	W	55
3	#	#	03	56	X	X	56
4	$	$	04	57	Y	Y	57
5	%	%	05	58	Z	Z	58
6	&	&	06	59	[	[	59
7	’	’	07	60	\	\	60
8	(	(	08	61	]	]	61
9	)	)	09	62	^	^	62
10	*	*	10	63	_	_	63
11	+	+	11	64	NULL	`	64
12	,	,	12	65	SOH	a	65
13	-	-	13	66	STX	b	66
14	.	.	14	67	ETX	c	67
15	/	/	15	68	EOT	d	68
16	0	0	16	69	ENG	e	69
17	1	1	17	70	ACK	f	70
18	2	2	18	71	BEL	g	71
19	3	3	19	72	BS	h	72
20	4	4	20	73	HT	i	73
21	5	5	21	74	LF	j	74
22	6	6	22	75	VT	k	75

数値	キャラクタ			数値	キャラクタ		
	Code A	Code B	Code C		Code A	Code B	Code C
23	7	7	23	76	FF	l	76
24	8	8	24	77	CR	m	77
25	9	9	25	78	SO	n	78
26	:	:	26	79	SI	o	79
27	;	;	27	80	DLE	p	80
28	<	<	28	81	DC1	q	81
29	=	=	29	82	DC2	r	82
30	>	>	30	83	DC3	s	83
31	?	?	31	84	DC4	t	84
32	@	@	32	85	NAK	u	85
33	A	A	33	86	SYN	v	86
34	B	B	34	87	ETB	w	87
35	C	C	35	88	CAN	x	88
36	D	D	36	89	EM	y	89
37	E	E	37	90	SUB	z	90
38	F	F	38	91	ESC	{	91
39	G	G	39	92	FS	|	92
40	H	H	40	93	GS	}	93
41	I	I	41	94	RS	~	94
42	J	J	42	95	US	DEL	95
43	K	K	43	96	FNC3	FNC3	96
44	L	L	44	97	FNC2	FNC2	97
45	M	M	45	98	SHIFT	SHIFT	98
46	N	N	46	99	CODE C	CODE C	99
47	O	O	47	100	CODE B	FNC4	CODE B
48	P	P	48	101	FNC4	CODE A	CODE A
49	Q	Q	49	102	FNC1	FNC1	FNC1
50	R	R	50	103	START(CODE A)		
51	S	S	51	104	START(CODE B)		
52	T	T	52	105	START(CODE C)		

*1: スペースを入力してください。

【Code128 Parsed】

パラメータ	制限事項
data	先頭は使用するコードセットを特殊コード（CODE A、CODE BまたはCODE C）で指定し、その後1文字以上のバーコードデータを指定する必要があります。 特殊コードについては、「Code128特殊コード表」を参照してください。*data*の入力については、「*data*の入力例」を参照してください。 *data*の有効範囲はコードセットにより異なります。 ・Code A： 0x00 ～ 0x5f、FNC1、FNC2、FNC3、FNC4、SHIFT、CODE B、CODE C ・Code B： 0x20 ～ 0x7f、FNC1、FNC2、FNC3、FNC4、SHIFT、CODE A、CODE C ・Code C： 0x30 ～ 0x39、FNC1、CODE A、CODE B
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=X×(((D+2)×11)+2) 1[*1]≦*width*≦66×D+144 D：バーコードキャラクタ数(スタートコード含む) X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～22×D+48を設定した場合、*width*は22×D+48に設定されます。

・Code128特殊コード表

data	特殊コード
″{S″	SHIFT
″{A″	CODE A
″{B″	CODE B
″{C″	CODE C
″{1″	FNC1
″{2″	FNC2
″{3″	FNC3
″{4″	FNC4
″{{″	’{’

*data*の入力例

*data*は選択されたコードセットに対応する値をサービスがマップするASCII文字により構成されます。Code AとCode Bでは、1対1にマッピングされます。Code Cでは各一対の数字が0x00から0x63の範囲のひとつのCode Cの文字に変換されます。（Code Cのデータが奇数桁の数字の場合、変換の前にサービスによって先頭にゼロの数字が付加されます。）識別子である中括弧″{″の制御文字が特殊文字を示すために使用されます。

バーコードキャラクタ"0123"のバーコードを作成する場合、選択するコードセットにより *data*の入力は下記のようになります。

Code Aの場合　：　*data*="{A0123"
Code Bの場合　：　*data*="{B0123"
Code Cの場合　：　*data*="{C0123" または *data*="{C123"

【Code39】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'、'A'～'Z'、''、'$'、'%'、'+'、'-'、'.'、'/' のいずれかを1文字以上指定する必要があります。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=(((X×7)+(X×N×3))×(D+2))+(-1×X) 26×D+50≦*width*≦96×D+186 D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X,N は*width*に応じて自動で設定されます。

【Code93】

パラメータ	制限事項
data	10進数0～46の数値を任意の値で指定してください。 数値はそれぞれ下記の表に対応したキャラクタとして扱われます。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=X×((D+2+2)×9)+1) 18×D+74≦*width*≦54×D+222 D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

・Code93のキャラクタ構成

数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ
0	0	12	C	24	O	36	-
1	1	13	D	25	P	37	.
2	2	14	E	26	Q	38	SPACE[*1]
3	3	15	F	27	R	39	$
4	4	16	G	28	S	40	/
5	5	17	H	29	T	41	+

数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ	数値	キャラクタ
6	6	18	I	30	U	42	%
7	7	19	J	31	V	43	($)
8	8	20	K	32	W	44	(%)
9	9	21	L	33	X	45	(/)
10	A	22	M	34	Y	46	(+)
11	B	23	N	35	Z		

*1: スペースを入力してください。

【EAN13 (JAN13)補足バーコード付】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を14文字、15文字、17文字、18文字のいずれかで指定してください。 15文字の入力、または18文字で入力した場合は、13番値の文字データは、印字データに影響しません。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 ・14文字または15文字の場合 *width*=122×X 244≦*width*≦732 ・17文字または18文字の場合 *width*=149×X 298≦*width*≦894 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

【EAN13 (JAN13)】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を12文字あるいは13文字で指定してください。 13文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=95×X 190≦*width*≦570 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

【EAN8 (JAN8)】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を7文字あるいは8文字で指定してください。 8文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=67×X 134≦*width*≦402 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

【GS1 Databar Omni-directional】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=96×X 1[*1]≦*width*≦576 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～287を設定した場合、*width*は192に設定されます。

【GS1 Databar Expanded】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z'、空白、'!'、'"'、'%'、'&'、''、'('、')'、'*'、'+'、','、'-'、'.'、'/'、':'、';'、'<'、'>'、'='、'?'、'_'を2文字以上で指定してください。 FNC1は"{1"を入力します。 チェックデジットはプリンターにより自動計算されませんので、必ず入力してください。
width	0以外の値を入力してください。

【GS1 Databar Stacked Omni-directional】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
height	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*height*=138に設定されます。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*width*=100に設定されます。

モジュール幅は2固定となります。

【GS1 Databar Expanded Stacked】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'、'A'～'Z'、'a'～'z'、空白、'!'、'″'、'%'、'&'、''、'('、')'、'*'、'+'、','、'-'、'.'、'/'、':'、';'、'<'、'>'、'='、'?'、'_'を2文字以上指定する必要があります。 FNC1は″{1″を入力します。 チェックデジットはプリンターにより自動計算されませんので、必ず入力してください。
width	0以外の値を入力してください。

モジュール幅は2固定となります。

【Interleaved 2 of 5】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を任意の値で指定してください。ただし、指定する文字数は0を除く偶数である必要があります。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=((D×2+1)×X×N)+((D×3+6)×X) 14×D+16≦*width*≦54×D+54 D：バーコードキャラクタ数 X：細エレメント幅 2≦X≦6 N：太エレメント幅と細エレメント幅との比率 (2, 2.5, 3のいずれかに設定) X,Nは*width*に応じて自動で設定されます。

【QRコード】

パラメータ	制限事項
data	下記の範囲の文字で指定してください。 ASCII文字 JIS X 0201に基づく8ビットラテン/カナ文字 JIS X 0208に基づくシフトJISコード
width	*width*=(4V+17)×M 42≦*width* V：QRコードのバージョン（1～40） M：モジュールサイズ（2～16） バージョンは入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。 またモジュールサイズは、バージョンが決まった後、*width*を超えない最大サイズが選択されます。

QRコードのモデルは2固定、エラー訂正レベルはM固定とします。QRコードは正方形なので、印字サイズは*width*に従うものとし、*height*は無視します。
印字可能キャラクタ以外のデータが指定された場合、*ErrorCode.Illegal*がスローされます。

【Aztec Code】*1

パラメータ	制限事項
data	下記の範囲の文字で指定してください。 ASCII文字 JIS X 0201に基づく8ビットラテン/カナ文字 JIS X 0208に基づくシフトJISコード FNC1は1BH、30Hを入力します。 1BHは1BH、1BHを入力します。
width	*width*=V×X V：モジュール数（15 ～ 151） X：モジュールサイズ（2 ～ 16） V及びXは*data*と*width*に応じて自動で設定されます。

*1: MP-B30はサポートしていません。

Aztec Codeのモデルは自動設定されます。エラー訂正レベルは23%固定とします。Aztec Codeは正方形なので、印字サイズは*width*に従うものとし、*height*は無視します。

【GS1 Databar Limited】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *height*の有効範囲は*width*により異なります。 *width*=79×X 1*1≦*width*≦474 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～236を設定した場合、*width*は158に設定されます。

【GS1 Databar Stacked】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
height	0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*height*=26に設定されます。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 0以外の値を入力してください。 入力された値にかかわらず*width*=100に設定されます。

モジュール幅は2固定となります。

【GS1 Databar Truncated】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を13文字で指定してください。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *height*の有効範囲は*width*により異なります。 *width*=96×X 1[*1]≦*width*≦576 X：モジュール幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

*1: 1～287を設定した場合、*width*は192に設定されます。

【PDF417】

パラメータ	制限事項
data	0x00～0x7FまではASCIIコードに従い、0x80～0xFFまではPC437の英語表の拡張キャラクタセットに従う文字列である必要があります。
width *height*	*width*=(17×C+69)×X 180≦*width* *height*=R×Y 14≦*height*≦255 X：モジュール幅(2～4) Y：モジュール高さ(2～127) C：縦列数(1～30) R：行数(3～90) 行数・縦列数は、入力データがバーコードとして変換できる最小の値が選択されます。モジュール幅・モジュール高さは、行数・縦列数が決まった後、*width*、*height*を越えない最大サイズが選択されます。

印字モードは通常モード、エラー訂正レベルは4固定となります。

【UPC-A】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=95×X 190≦*width*≦570 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

【UPC-E】

パラメータ	制限事項
data	'0'～'9'を11文字あるいは12文字で指定してください。 12文字目はバーコードの印字データに影響しません。
width	**MapMode**=*MapMode.Dots*の場合について記載します。 *width*=51×X 102≦*width*≦306 X：細エレメント幅 2≦X≦6 Xは*width*に応じて自動で設定されます。

許容キャラクタは更に下記の規則に沿う必要があります。

1. 先頭文字が'0'
2. UPC-A レフトコードは、先頭2～6キャラクタ、UPC-Aライトコードは、先頭7～11キャラクタ目を示し、短縮されるコードが実際にUPC-Eとして印字されます。UPC-A先頭キャラクタが0以外か、下記の表に基づかないキャラクタが指定された場合、*ErrorCode.Illegal*がスローされます。

メーカーコード UPC-A のレフトコード					アイテムコード UPC-A のライトコード					短縮コード					
F1	F2	F3	F4	F5	A1	A2	A3	A4	A5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6
0-9	0-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	0
0-9	0-9	1	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	1
0-9	0-9	2	0	0	0	0	0-9	0-9	0-9	F1	F2	A3	A4	A5	2
0-9	0-9	3-9	0	0	0	0	0	0-9	0-9	F1	F2	F3	A4	A5	3
0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	0	0-9	F1	F2	F3	F4	A5	4
0-9	0-9	0-9	0-9	1-9	0	0	0	0	5-9	F1	F2	F3	F4	F5	A5

PrintBitmap メソッド

形式　**void PrintBitmap**(**PrinterStation** *station*, **string** *fileName*, **int** *width*, **int** *alignment*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
fileName	ビットマップファイル名を指定します。 対応イメージファイルは下記を参照してください。
width	ビットマップの印刷幅を指定します。 下記の値を参照してください。
alignment	ビットマップの印刷位置を指定します。 下記の値を参照してください。

・対応ビットマップファイル

項目	仕様
拡張子	bmp
型式	Windows Bitmap
カラー	1、4、8、24、32ビット
圧縮形式	非圧縮型のみ

・*width*の値

値	意味
PrinterBitmapAsIs(-11)	プリンターのドット当たり1ピクセルで、ビットマップを印刷します。
その他	ビットマップ幅を**MapMode**で定義された単位で表記します。 **MapMode**が*MapMode.Dots*の場合、1～**RecLineWidth**の範囲で指定してください。また、**RotatePrint**によるビットマップの左右90度回転を行う場合、1～2400の範囲で指定してください。 **PageModePrint**によるページモード中は、**PageModePrintArea**及び**PageModeHorizontalPosition**で指定される印刷領域を超えない範囲で指定してください。

値はサービスオブジェクト内部で8の倍数に切り上げられます。

・*alignment*の値

値	意味
PrinterBitmapCenter	中央揃えで印刷されます。
PrinterBitmapLeft	左寄せで印刷されます。
PrinterBitmapRight	右寄せ印刷されます。
その他	左端から設定された値分のマージンをとって印刷されます。 **MapMode**で定義された単位で表記します。

RotatePrintによる左右90度回転中、**PageModePrint**によるページモード中は*alignment*の設定は無効となり、常に左寄せで印字されます。

説明　指定したステーションにビットマップを印刷します。

PrintBitmapは呼び出された時点でビットマップデータをプリンターに送信するため、良好なパフォーマンスが得られません。**SetBitmap**とエスケープシーケンスによるビットマップの印刷を推奨します。

送信済みかつ未印字の文字データがあった場合、文字データを印刷し自動的に改行された後、次の行にビットマップが印刷されます。**PrintBitmap**より後に送信された文字データは、ビットマップの次の行から印字されます。

本メソッドは**AsyncMode**が*false*ならば、同期的に実行され、**AsyncMode**が*true*ならば、非同期的に実行されます。

*width*はビットマップの変換をコントロールします。*width*が*PrinterBitmapAsIs*の場合、変換は実行されません。ビットマップはプリンタードット当たり1ピクセルで印刷されます。

*width*が0ではない場合、ビットマップは、その幅が指定された幅でそのアスペクト比が変化しないように、拡大されたり圧縮されたりすることにより、変換されます。

PrintImmediate メソッド

形式　**void PrintImmediate**(**PrinterStation** *station*, **string** *data*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
data	印刷される文字を指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）から成ります。

説明　本メソッドは非同期出力中に直ちに印刷するために使用します。
非同期出力中に本メソッドを指定すると、現在処理中の非同期出力後、次の非同期出力の前に本メソッドの処理を実行します。
PrintImmediateはエラーイベントハンドラ内のような、非同期出力が未解決の時の例外状況で利用することを意図しています。
最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。
印刷されずに残っているデータがプリンターバッファに存在する場合、バッファリングされたデータをすべて印刷した後に印刷を実行します。

*data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

記号	動作
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

PrintMemoryBitmap メソッド

形式　**void PrintMemoryBitmap**(**PrinterStation** *station*,
Bitmap *data*,
int *width*,
int *alignment*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
data	ビットマップデータを保持しているバイト配列を指定します。 対応イメージファイルは**PrintBitmap**を参照してください。

パラメータ	意味
width	ビットマップの印刷幅を指定します。 値は**PrintBitmap**を参照してください。
alignment	ビットマップの印刷位置を指定します。 値は**PrintBitmap**を参照してください。

説明　指定したステーションにビットマップを印刷します。
動作仕様は**PrintBitmap**を参照してください。
本メソッドは**AsyncMode**が*false*ならば、同時期に実行され、**AsyncMode**が*true*ならば、非同期的に実行されます。

PrintNormal メソッド

形式　**void PrintNormal**(**PrinterStation** *station*, **string** *data*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
data	印刷される文字を指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン(CR)、ラインフィード(LF)から成ります。

説明　プリンターに*data*のデータを印刷します。
最大桁数を越える分の印刷データは次の行に折り返して印刷します。
印刷されずに残っているデータがプリンターバッファに存在する場合、バッファリングされたデータをすべて印刷した後に印刷を実行します。
本メソッドは**AsyncMode**が*false*ならば、同期的に実行され、**AsyncMode**が*true*ならば、非同期的に実行されます。

*data*内の特別なキャラクタの値と意味は、下記の通りです。

記号	動作
LF	バッファ内のデータを印字後、次の行へ進みます。
CR	ラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。
LF & CR	キャリッジリターン（CR）はラインフィード（LF）と同じ動作に置き換えられます。よって、ラインフィード（LF）の動作を2回行います。
CR & LF	キャリッジリターン（CR）は無視されます。ラインフィード（LF）の動作を1回行います。

RotatePrint メソッド

形式　**void RotatePrint**(**PrinterStation** *station*, **PrintRotation** *rotation*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
rotation	回転方向を指定します。下記の値を参照してください。

・*rotation*の値

値	意味
PrintRotation.Right90	右に90度回転（時計回りに）印刷を開始します。
PrintRotation.Left90	左に90度回転（時計と反対回りに）印刷を開始します。
PrintRotation.Rotate180	180度回転印刷、つまり、倒立印字を開始します。
PrintRotation.Barcode	回転バーコード印刷を開始します。 この値は上記の回転印刷開始の値の１つとの論理和です。
PrintRotation.Bitmap	回転ビットマップ印刷を開始します。 この値は上記の回転印刷開始の値の１つとの論理和です。
PrintRotation.Normal	回転印刷を終了します。

説明　回転印刷を行います。
本メソッドは**AsyncMode**が*false*ならば、同期的に実行され、**AsyncMode**が*true*ならば、非同期的に実行されます。

*rotation*が*PrintRotation.Rotate180*ならば、倒立印刷モードが開始されます。**RotatePrint**が*rotation*を*PrintRotation.Normal*に設定して呼ばれるまで、**PrintNormal**と**PrintImmediate**の呼び出しによるデータは倒立して印刷されます。行はサービスオブジェクトに送られた順に印刷され、各行の先頭はプリンターの右マージンに合わされます。
*rotation*が*PrintRotation.Barcode*または*PrintRotation.Bitmap*でないならば、**PrintNormal**と**PrintImmediate**の印刷メソッドのみが、倒立印刷モード中で使用されます。

*rotation*が*PrintRotation.Right90*または*PrintRotation.Left90*ならば、横書きモードが開始されます。**RotatePrint**が*rotation*を*PrintRotation.Normal*に設定して呼ばれるまで、**PrintNormal**の呼び出しによるデータはバッファリングされます。また、**AsyncMode**の値は、そのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に**OutputId**は割り当てられませんし、**OutputCompleteEvent**も通知しません。
各印刷行は、90度に回転されます。行がすべて同じ長さではない場合、各行の先頭位置が揃います。*rotation*が*PrintRotation.Barcode*または*PrintRotation.Bitmap*でないならば、**PrintNormal**のみが、横書きモード中で使用されます。

*rotation*が*PrintRotation.Normal*ならば、回転印刷モードは終了します。横向き回転印刷モードが有効な時に、あるデータが**PrintNormal**によってバッファリングされていた場合は、そのバッファリングされたデータは印刷されます。全体の回転した行のブロックは、一つのメッセージとして扱われます。

*rotation*が*PrintRotation.Barcode*または*PrintRotation.Bitmap*ならば、(**PrintBarCode**、または「バーコード印刷」エスケープシーケンス（ESC|[*]#R）で印刷される）バーコード、あるいは（**PrintBitmap**または「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）で印刷される）ビットマップはすべて、**RotatePrint**で回転印刷できます。回転方向は、それぞれ**RecBarCodeRotationList**、**RecBitmapRotationList**で制限されます。
*rotation*が*PrintRotation.Barcode*ならば、**RotateSpecial**の内容は無視されます。
ClearOutputを呼ぶことにより、回転印刷モードは中止されます。
いかなるバッファリングされた横向き回転印刷行も削除されます。

横書きモードにおける横幅は最適なサイズとなるようにサービスオブジェクトが計算を行います。横書きモードにおける最大幅は2400dotです。１行あたりの印字データがこの領域を超える場合は、次行へ改行されて印字されます。回転モード中に**PrintNormal**に対して、「バーコード印刷」エスケープシーケンス（ESC|[*]#R）、または「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）によるビットマップ印刷及びバーコード印刷を指定した場合、*rotation*に*PrintRotation.Bitmap*及び*PrintRotation.Barcode*が論理和として指定されているいないにかかわらず回転します。

SetBitmap メソッド

形式　**void SetBitmap**(**int** *bitmapNumber*,
PrinterStation *station*,
string *fileName*,
int *width*,
int *alignment*);

パラメータ	意味
bitmapNumber	このビットマップに割り当てられる番号を指定します。 有効な値は、1～20です。
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
fileName	ビットマップファイル名を指定します。 空文字列が設定された場合､ビットマップの設定は解除されます。 対応イメージファイルは**PrintBitmap**を参照してください。
width	ビットマップの印刷幅を指定します。 値は**PrintBitmap**を参照してください。
alignment	ビットマップの印刷位置を指定します。 値は**PrintBitmap**を参照してください。

説明　印刷するビットマップに関する情報を保存します。
ビットマップは、印刷データ内に「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）をもつ**PrintNormal**あるいは**PrintImmediate**を呼ぶことで印刷されます。「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）は、初めと終わりの処理ヘッダーを印刷するための文字列を通常含んでいます。

「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）より前に送信された未印字の文字データがあった場合、文字データを印字し自動的に改行した後、ビットマップを印刷します。「ビットマップ印刷」エスケープシーケンス（ESC|#B）より後に送信された文字データは、ビットマップの次の行に印刷します。
サービスオブジェクトはプリンターのNVグラフィックス領域にビットマップデータをダウンロードして、印刷に備えます。エスケープシーケンスによりビットマップの印刷が指定された時には印刷を指示するコマンドだけが送信されるので、最適なパフォーマンスが得られます。

SetLogo メソッド

形式　**void SetLogo**(**PrinterLogoLocation** *location*, **string** *data*);

パラメータ	意味
location	設定するロゴを指定します。
data	ロゴを作る文字を指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス､キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）から成ります。

・*location*の値

値	意味
PrinterLogoLocation.Bottom	ボトムロゴを作成します。
PrinterLogoLocation.Top	トップロゴを作成します。

説明　データ文字列を上端あるいは下端のロゴとして保存します。
プリントデータ内に、「トップロゴ印刷」エスケープシーケンス（ESC|tL）あるいは「ボトムロゴ印刷」エスケープシーケンス（ESC|bL）を含んだ**PrintNormal**または**PrintImmediate**を呼ぶことによって、ロゴの印刷ができます。

TransactionPrint メソッド

形式　**void TransactionPrint**(**PrinterStation** *station*, **PrinterTransactionControl** *control*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
control	一括処理の種類を指定します。値は下記を参照してください。

・*control*の値

値	意味
PrinterTransactionControl.Normal	バッファデータを印刷して一括処理を終了します。
PrinterTransactionControl.Transaction	一括処理を開始します。

説明　一括処理モードを行います。
*control*が*PrinterTransactionControl.Transaction*ならば、一括処理モードに入ります。その後の**PrintNormal**、**RotatePrint**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**または**PageModePrint**への呼び出しは、*control*に*PrinterTransactionControl.Normal*をセットして**TransactionPrint**が呼び出されるまで、印刷データをバッファリングします。
AsyncModeの値はそのオペレーションに影響しません。つまり、その要求に**OutputId**は割り当てられませんし、**OutputCompleteEvent**も通知しません。

*control*が*PrinterTransactionControl.Normal*ならば、一括処理モードを抜けます。
PrintNormal、**RotatePrint**、**PrintBarCode**、**PrintBitmap**または**PageModePrint**によりデータがバッファされていたならば、そのデータは印刷されます。一括処理全体は、一つのメッセージとして処理されます。

本メソッドは**AsyncMode**が*false*ならば、同期的に実行され、**AsyncMode**が*true*ならば、非同期的に実行されます。

ClearOutputを呼び出すことによって、一括処理モードは取り消されます。バッファされた印刷行も削除されます。

ValidateData メソッド

形式　**void ValidateData**(**PrinterStation** *station*, **string** *data*);

パラメータ	意味
station	使用するステーションを指定します。 *PrinterStation.Receipt*を指定してください。
data	判定されるデータを指定します。 印刷可能な文字とエスケープシーケンス、キャリッジリターン（CR）、ラインフィード（LF）から成ります。

説明　**PrintNormal**または**PrintImmediate**を呼び出す前に呼び出し、指定したステーションにとって、一つ以上のエスケープシーケンスを含むデータシーケンスが、有効か否かを判定します。本メソッドは、印刷は行いませんが、そのステーションの能力を判定するために使用されます。
有効ではない場合、例外エラーがスローされます。スローされる例外エラーについては、「付録 A 例外」を参照してください。

4.1.7 イベント

PosPrinterイベントの詳細について示します。

DirectIOEvent イベント

本イベントはサポートしていません。

形式　　**DirectIOEventHandler DirectIOEvent**;

ErrorEvent イベント

形式　　**DeviceErrorEventHandler ErrorEvent**;

説明　　エラーが検出され、サービスオブジェクトの**State**がエラー状態に遷移したときに通知します。
*DeviceErrorEventArgs.ErrorCode*が*ErrorCode.Extended*の場合、
*DeviceErrorEventArgs.ErrorCodeExtended*は下記の値の内の1つにセットされます。

値	意味
ExtendedErrorCoverOpen(201)	プリンターカバーが開いています。
ExtendedErrorRecEmpty(203)	レシートがありません。
ExtendedErrorVpPower(1001)	Vp電圧エラーが発生しました。
ExtendedErrorHeadTemp(1005)	ヘッド温度エラーが発生しました。
ExtendedErrorFatal(1010)	復帰不可能エラーが発生しました。
ExtendedErrorBattery(1013)	バッテリーエラーが発生しました。
ExtendedErrorMarkPaperJam(1014)	マークまたはギャップ検出時に紙ジャムエラーが発生しました。

*DeviceErrorEventArgs.ErrorResponse*はアプリケーションにより、下記の値のいずれかに設定できます。初期値は*ErrorResponse.Retry*です。

値	意味
ErrorResponse.Clear	エラー状態から抜け、非同期出力を削除します。
ErrorResponse.Retry	エラー状態から抜け、非同期出力を再び試みます。

OutputCompleteEvent イベント

形式　　**OutputCompleteEventHandler OutputCompleteEvent**;

説明　　前に開始された非同期出力のリクエストが正常に終了したときに通知します。
OutputIdは完了した非同期出力のリクエストのID番号を示します。

StatusUpdateEvent イベント

形式　　**StatusUpdateEventHandler StatusUpdateEvent**;

説明　　デバイス側に重要な状態の変化が起こった時にデバイスの状態を通知します。
デバイスがイネーブルになったとき、サービスオブジェクトは最初の**StatusUpdateEvent**を通知します。

*StatusUpdateEventArgs.Status*は下記の値の内の1つにセットされます。

値	意味
StatusCoverOpen(11)	プリンターカバーが開いています。
StatusCoverOK(12)	プリンターカバーが閉じています。
StatusReceiptEmpty(24)	レシートがありません。
StatusReceiptPaperOK(26)	レシートが用意できました。
StatusIdle(1001)	すべての非同期出力が、成功するか、または削除されることによって終了しました。 **State**は現在*ControlState.Idle*です。 **FlagWhenIdle**は、本イベントが通知するために*true*である必要があります。 そして、サービスオブジェクト、イベントが通知する前に、そのプロパティを*false*へ自動的にリセットします。
StatusPowerOnline(2001)*1	デバイスは電源オンかつレディ状態です。
StatusPowerOffOffline(2004)*1	デバイスは電源オフ、またはオフライン状態です。

*1：**PowerNotify**=*PowerNotification.Enabled*の場合に通知されます。

付録 A　例外

A.1 PosPrinter 例外エラー一覧

(1) プロパティ

ErrorCode	ErrorCode Extended	意味
Disabled	0	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**を*true*に設定後に実行してください。
Illegal	0	本プロパティはサポートしていません。 パラメータに誤りがあります。
NotClaimed	0	排他アクセスされていません。**Claim**を実行してください。

(2) メソッド

メソッド	ErrorCode	ErrorCode Extended	意味
BeginInsertion **BeginRemoval** **ChangePrintSide** **CutPaper** **CompareFirmwareVersion** **EndInsertion** **EndRemoval** **PrintTwoNormal** **UpdateFirmware** **UpdateStatistic(s)**	Illegal	0	本メソッドはサポートしていません。
CheckHealth	Busy	0	出力が進行中かエラー中のため実行できません。
	Disabled	0	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**を*true*に設定後に実行してください。
	Illegal	0	パラメータに誤りがあります。
	NotClaimed	0	排他アクセスされていません。**Claim**を実行してください。

メソッド	ErrorCode	ErrorCode Extended	意味
Claim	Claimed	0	別のプロセスが排他アクセスしているデバイスにアクセスしようとしました。
	Failure	0	プリンターとの通信に失敗しました。
	Illegal	0	パラメータに誤りがあります。
	NoHardware	0	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
	Timeout	0	別のアプリケーションがデバイスに排他アクセスしていて、解放されるのを待っていましたが*timeout*時間（ミリ秒）が過ぎました。 または、*timeout*時間（ミリ秒）経過しても、デバイスが処理可能な状態になりませんでした。
ClearOutput	NotClaimed	0	排他アクセスされていません。**Claim**を実行してください。
ClearPrintArea	Disabled	0	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**を*true*に設定後に実行してください。
	NotClaimed	0	排他アクセスされていません。**Claim**を実行してください。
Close	Busy	0	**State**が*ControlState.Busy*に設定されています。これは、デバイスが使用中で、停止できないことを示します。
	Closed	0	デバイスは既にクローズされています。
Open	Illegal	0	デバイスはすでにオープンしています。
DirectIO **MarkFeed** **PageModePrint** **PrintBarCode** **PrintBitmap** **PrintMemoryBitmap** **PrintNormal** **PrintImmediate** **RotatePrint** **SetBitmap** **TransactionPrint**	Busy	0	出力が進行中かエラー中のため実行できません。
	Disabled	0	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**を*true*に設定後に実行してください。
	Extended	201	プリンターカバーが開いています。
	Extended	203	レシート用紙がありません。
	Extended	1001	Vp電圧エラーが発生しました。
	Extended	1005	ヘッド温度エラーが発生しました。
	Extended	1010	復帰不可能エラーが発生しました。
	Extended	1013	バッテリーエラーが発生しました。
	Extended	1014	マークまたはギャップ検出時に紙ジャムエラーが発生しました。
	Failure	0	プリンターとの通信に失敗しました。
	Illegal	0	パラメータに誤りがあります。 **PageModeStation**が指定されていません。 （**PageModePrint**）
	NoHardware	0	プリンターの電源がオフかケーブルが未接続です。
	NotClaimed	0	排他アクセスされていません。**Claim**を実行してください。
	Timeout	0	データ送信タイムアウト、またはデータ受信タイムアウトが発生しました。

メソッド	ErrorCode	ErrorCode Extended	意味
Release	NotClaimed	0	デバイスが排他されていません。
ValidateData	Disabled	0	イネーブルされていません。**DeviceEnabled**を*true*に設定後に実行してください。
	Failure	0	一つ以上のエスケープシーケンスがサポートされていません。選ぶことのできる選択肢はありません。
	Illegal	0	一つ以上のエスケープシーケンスが範囲外です。しかし、サービスオブジェクトは有効な選択肢を選ぶことができます。また、エスケープシーケンスが、ページモードや、右90度または左90度の回転印刷モードでサポートされていない場合も、この値が格納されます。
	Illegal	0	パラメータに誤りがあります。
	NotClaimed	0	排他アクセスされていません。**Claim**を実行してください。

ValidateData において *ErrorCode.Illegal* がスローされるケースは下記の通りです。

エスケープシーケンス	状況
ビットマップ印刷	印字できるビットマップがありません。
複数行フィード	下記のいずれかの状態です。 ・行数'#'が正しくありません。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
単位フィード	下記のいずれかの状態です。 ・フィード量'#'は**MapMode**の設定によっては1ドット分の丸め誤差が発生するため正確にはサポートされていません。 ・フィード量'#'が正しくありません。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
埋め込みデータの送信	埋め込みデータのバイト数'#'が正しくありません。
バーコード印刷	ESC|[*]#Rに続く文字列に不正な値が含まれています。
アンダーライン	太さ'#'が正しくありません。
縦倍率	倍率'#'が正しくありません。
横倍率	倍率'#'が正しくありません。
左寄せ	下記のいずれかの状態です。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
中央揃え	下記のいずれかの状態です。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。
右寄せ	下記のいずれかの状態です。 ・**RotatePrint**による左右90度回転中はサポートしていません。 ・**PageModePrint**によるページモード中はサポートしていません。

ValidateData において *ErrorCode.Failure* がスローされるケースは次の通りです。

エスケープシーケンス	状況
用紙カット	サポートしていません。
フィードと用紙カット	サポートしていません。
フィードとカットとスタンプ印刷	サポートしていません。
ビットマップ印刷	ビットマップ番号'#'が正しくありません。
スタンプ印刷	サポートしていません。
逆フィード	サポートしていません。
フォントタイプ指定	サポートしていません。
イタリック	サポートしていません。
カスタムカラー	サポートしていません。
赤色	サポートしていません。
網掛け文字	サポートしていません。
色指定	サポートしていません。
サブ スクリプト	サポートしていません。
スーパー スクリプト	サポートしていません。
取り消し線	サポートしていません。

付録 B Statistics

(1) StatisticCategories.Upos

XML 定義名	応答内容	リセット可否
JournalCoverOpenCount	0	-
ReceiptLineFeedCount	レシート紙送り行数 （単位：100 ドットライン）	✓
PrintSideChangeCount	0	-
ReceiptCharacterPrintedCount	0	-
ReceiptCoverOpenCount	0	-
ManufactureDate	Unknown	-
PaperCutCount	0	-
UnifiedPOSVersion	MP-B21L： 1.14.1 MP-B30L、MP-B30：1.12	-
SlipCoverOpenCount	0	-
HoursPoweredCount	製品の駆動時間（単位：時間）	✓
FirmwareRevision	ファームウェアバージョン	-
SerialNumber	Unknown	-
ReceiptLinePrintedCount	0	-
InstallationDate	Unknown	-
MechanicalRevision	MP-B21L： 2A MP-B30L、MP-B30：24	-
FailedPaperCutCount	0	-
StampFiredCount	0	-
FailedPrintSideChangeCount	0	-
JournalCharacterPrintedCount	0	-
SlipCharacterPrintedCount	0	-
ManufacturerName	Seiko Instruments Inc.	-
PrinterFaultCount	0	-

XML 定義名	応答内容	リセット可否
MaximumTempReachedCount	0	-
ModelName	MP-B21L MP-B30L MP-B30	-
CommunicationErrorCount	0	-
JournalLinePrintedCount	0	-
SlipLineFeedCount	0	-
HomeErrorCount	0	-
FormInsertionCount	0	-
Interface	Unknown	-
DeviceCategory	POSPrinter	-
BarcodePrintedCount	0	-
NVRAMWriteCount	0	-
SlipLinePrintedCount	0	-

(2) StatisticCategories.Manufacturer

XML 定義名	応答内容	リセット可否
HoursPoweredCount_Accumulated	製品の駆動時間 （単位：時間）（積算）	-
ReceiptLineFeedCount_Accumulated	レシート紙送り行数 （単位：100 ドットライン）（積算）	-